



ハイパーインバータシリーズ

技術資料

室外ユニット

FDCVP804HAG/A

804HKAG/A

本資料は室外ユニットに関する事項を記載しております。
記載事項以外および室内ユニットについては、下記をご覧ください。

- ・2014年冷熱ハンドブック・設計施工編およびサービス編
- ・FDEシリーズ 4-462-1-D '15-1発行
- ・FDESシリーズ 4-463-1-D '15-2発行

目 次

1. 仕 様	2
2. 使用範囲	36
3. 外形図	36
4. 塗装色	36
5. 能力特性	37
6. 運 転 音	37
7. 電気配線図	38
8. 電源・配線仕様	40
9. 防振設計用参考資料	42
10. 冷媒配管系統図	42
11. 据付関連事項	43
12. マイコン運転制御機能	62
13. 電装品故障診断要領	63
14. 耐重塩害仕様室外ユニット	73
15. 旧室外ユニット基板交換要領	75

・形式記号説明（例）		
セット形式	室内ユニット形式	室外ユニット形式
FD T ⁽¹⁾ V P80 4 H P AG 4 AG	FD T ⁽¹⁾ V P40 4 AG	FD C V P80 4 H AG /A
シリーズ記号 室内シリーズNo. シリーズ記号 ツインタイプ □ ヒートポンプ機 □ ヒートポンプ単相機 室外シリーズNo. 冷房最大能力を示す (8.0kW) ハイパーインバータ タイプ ファンコイル ダイレクト	シリーズ記号 シリーズNo. 冷房最大能力を示す (4.0kW) VX：共通機の場合 V：ハイパーインバータ タイプ ファンコイル ダイレクト	サービスコード シリーズ記号 □ ヒートポンプ機 □ ヒートポンプ単相機 シリーズNo. 冷房最大能力を示す (8.0kW) ハイパーインバータ 室外ユニット ファンコイル ダイレクト

注（１） T…天井埋込形4方向吹出し、TW…天井埋込形2方向吹出し、TS…天井埋込形1方向吹出し、R…天埋力セテリア、U…高静圧ダクト形、E…天吊形、ES…天吊耐油形、K…壁掛形、KN…壁掛ワイヤレス形、F…床置形

1. 仕様

(1) 天井埋込形 4 方向吹出し (FDT)

冷暖房兼用機 (ヒータレス単相電源形) [FDTVP-HK]

セット形式			FDTV804HKAG4AG	
形式			室内：FDTV804AG 室外：FDCVP804HKAG/A	
パネ ル 形 式 (別 売 品)			T-PSA-3BW, 3BSB, 3BC・T-PSCL-3BW, 3BSB, 3BC・T-PSCLS-3BW	
リ モ ー ト コ ン ト ロ ー ラ			RC-DX2, RC-D4G	
電			単相 200V 50/60Hz	
(1) 能 力	冷 房 能 力	定 格	7.1[3.2～8.0]	
		中 間	3.2	
	暖 房 能 力	定 格 標 準	8.0[3.6～10.0]	
		中 間	3.6	
		定 格 低 温	8.0	
定 格 冷 房 時 の 顕 熱 比			0.93	
(1) 運 転 特 性	運 転 電 流	冷 房	9.5	
		暖 房	9.4	
	始 動 電 流 (最 大 電 流)		5(19)	
	消 費 電 力	冷房	定 格	1.87
			中 間	0.558
		暖房	定 格 標 準	1.77
			中 間	0.589
			定 格 低 温	2.82
	力 率		%	冷：98, 暖：94
	工 ネ ル ギ ー	冷 房	定 格：3.80, 中 間：5.73	
暖 房		定 格：4.52, 中 間：6.11		
消 費 効 率				
通 年 工 ネ ル ギ ー 消 費 効 率		5.7		
運 転 音	室 内 ユ ニ ッ ト	dB(A)	P 急：46, 急：39, 強：35, 弱：31	
	室 外 ユ ニ ッ ト		冷：51, 暖：48	
室 内 ユ ニ ッ ト	外形寸法 (高さ×幅×奥行)		mm	
	製 品 質 量		kg	
	空 気 熱 交 換 器			
	形 式 ・ 台 数			
	送 風 装 置	風 量	m³/min	
		機外静圧 (標準風量時)	Pa	
	電 動 機	定 格 出 力	W	
		エ ア フ ィ ル タ		
	吹 出 ダ ク ト 接 続 口			
	新 鮮 空 気 取 入 口			
	運 転 調 整			
	遠 方 発 停 用 機 能			
	加 熱 器	補 助 電 気 ヒ ー タ		
		加 湿 器		
	防 振 装 置 ・ 防 音 ・ 断 熱 材			
室 外 ユ ニ ッ ト	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	
	製 品 質 量		kg	
	冷 却 装 置	圧縮機		
		電 動 機 出 力	kW	
	空 気 熱 交 換 器			
	冷 媒 制 御 器			
	冷 媒 封 入 量		kg	
	冷 凍 機 油 封 入 量		ℓ	
	送 風 装 置	形 式 ・ 台 数		
		風 量	m³/min	
	電 動 機	定 格 出 力	W	
		ク ラ ン ク ケ ー ス ヒ ー タ	W	
	低 外 気 温 時 冷 房 運 転 制 御 機 能			
	除 霜			
	防 振 ・ 防 音 装 置			
配 管 寸 法	冷 媒 配 管	液 管	mm	
	(外 径)	ガ ス 管		
	排 水 口			
	電 源 配 線 サ イ ズ		mm²	
	漏 電 し ゃ 断 器 (高 調 波 対 応 品)		A	
電 気 配 線	開 閉 器 ま た は 配 線 用 し ゃ 断 器			
	ア ー ス 線 サ イ ズ		φmm	
	室 内 外 ユ ニ ッ ト 接 続 配 線		φmm	
	計 圧 力		MPa	
	法 定 冷 凍 能 力		トン	
I P コ ー ド				
保 護 装 置				

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速 (急・強・弱) となります。P 急モードをご使用の場合は高天井設定 (P 急・急・強) としてください。
 (3) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード (別売品) を取付けてください。
 (4) お掃除ラクリーナパネル使用時、外形寸法の本体高さはプラス 100mm 高くなります。
 (5) お掃除ラクリーナパネル使用時、騒音は弱でプラス 1dB (A) 高くなります。
 (6) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.14kW

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTVP-H〕

セット形式				FDTVP804HAG4AG		
形式				室内：FDTVP804AG 室外：FDCVP804HAG/A		
パネル形式（別売品）				T-PSA-3BW, 3BSB, 3BC・T-PSCL-3BW, 3BSB, 3BC・T-PSCLS-3BW		
リモートコントローラ				RC-DX2, RC-D4G		
電源				三相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格	kW	7.1[3.2～8.0]		
		中間		3.2		
	暖房能力	定格標準		8.0[3.6～10.0]		
		中間		3.6		
		定格低温		8.1		
定格冷房時の顕熱比				0.93		
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	5.9		
		暖房		5.6		
	始動電流（最大電流）		5(13)			
	消費電力	冷房	定格	kW	1.85	
			中間		0.549	
		暖房	定格標準		1.74	
			中間		0.573	
			定格低温	2.68		
	力率				%	
	エネルギー消費効率		冷房	冷：91, 暖：90		
		暖房	定格：3.84, 中間：5.83			
通年エネルギー消費効率				定格：4.60, 中間：6.28		
運転音	室内ユニット		dB(A)	5.8		
	室外ユニット			P急：46, 急：39, 強：35, 弱：31 冷：51, 暖：48		
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm	本体：298×840×840 ⁽⁴⁾ , パネル：35×950×950		
	製品質量		kg	本体：30, 標準パネル：5.5, ラクリーナパネル：6.5, お掃除パネル：12		
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
	形式・台数			ターボ式（モータ直結）×1		
	送風装置	風量	m³/min	P急：30, 急：22, 強：18, 弱：15		
		機外静圧（標準風量時）	Pa	0		
	電動機	定格出力	W	120		
		エアフィルタ		プラスチックネット（洗浄可能）		
	吹出ダクト接続口			側板を利用して可能(□100ダクト接続)		
	新鮮空気取入口			側板を利用して可能(65×112ダクト接続)		
	運転調整			操作（運転切換, 風量調整, タイマ, 換気, グリル昇降）		
	遠方発停用機能			室温調節（電子サーモスタット）表示（運転・点検用・LED, 液晶表示）		
	加湿器	補助電気ヒータ		遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
		加湿器		一（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材			一（気化式加湿器取付可能）		
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付		
	製品質量		kg	750×880(+88)×340		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		64	
			電動機出力	kW	RMT5118MCE1×1	
		空気熱交換器		1.8		
		冷媒制御器		アルミフィン&銅チューブ式		
	冷媒封入量	kg	電子膨張弁			
	冷凍機油封入量	ℓ	3.3(R410A)[配管30m分封入済]			
	送風装置	形式・台数		0.675(M-MA68)		
		風量	m³/min	軸流式（モータ直結）×1		
	電動機	定格出力	W	冷：60, 暖：50		
		クラックケースヒータ	W	86		
	低外気温時冷房運転制御機能			20		
	霜除			室外送風用電動機制御により外気温温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾		
	防振・防音装置			マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管	mm	圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付		
		ガス管		φ9.52(フレア接続)		
	排水口		φ15.88(フレア接続)			
	電源配線サイズ	φmm	〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個			
	漏電しゃ断器（高調波対応品）	A	φ2.0×3本			
	開閉器または配線用しゃ断器		30			
	アース線サイズ	φmm	20			
	室内外ユニット接続配線	φmm	φ1.6			
	設計圧力	MPa	φ1.6×3本			
	法定冷凍能力	トン	高圧部：4.15, 低圧部：2.21			
		0.73(届出不要)				
IPコード		室内：IPX0, 室外：IP24				
	保護装置		冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護			

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。〔 ～ 〕は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
 (3) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。
 (4) お掃除ラクリーナパネル使用時、外形寸法の本体高さはプラス100mm高くなります。
 (5) お掃除ラクリーナパネル使用時、騒音は弱でプラス1dB（A）高くなります。
 (6) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.14kW

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台、室外ユニット：1台）〔FDTVP-HKP〕

セット形式			形式		FDTV804HKPAG4AG
項目			形式		室内：FDTV804AG 室外：FDCVP804HKAG/A
パネル形式（別売品）					T-PSA-3BW, 3BSB, 3BC・T-PSCL-3BW, 3BSB, 3BC・T-PSCLS-3BW
リモートコントローラ					RC-DX2, RC-D4G
電源					単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格	kW	7.1[3.2～8.0]	
		中間		3.2	
	暖房能力	定格標準		8.0[3.6～10.0]	
		中間		3.6	
力		定格低温	8.0		
			0.97		
	定格冷房時の顕熱比				8.8
	(1)運転	運転電流	冷房	A	9.0
始動電流（最大電流）		暖房	5(19)		
転	消費電力	冷房	kW	1.73	
		中間		0.525	
	暖房	定格標準		1.70	
		中間		0.601	
性	力	定格低温	3.23		
		率	%		
	エネルギー消費効率	冷房	冷：98, 暖：94		
	通年エネルギー消費効率	暖房	定格：4.10, 中間：6.10		
		定格：4.71, 中間：5.99			
運転音	室内ユニット	dB(A)		5.8	
	室外ユニット			P急：39, 急：33, 強：31, 弱：30	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm	冷：51, 暖：48	
	製品質量		kg	本体：246×840×840 ⁽⁶⁾ , パネル：35×950×950	
	空気熱交換器形式・台数			本体：24, 標準パネル：5.5, ラクリーナパネル：6.5, お掃除ラクリーナパネル：12	
	送風装置	風量	m³/min	アルミフィン&銅チューブ式	
		機外静圧（標準風量時）	Pa	ターボ式（モータ直結）×1	
	電動機	定格出力	W	P急：20, 急：18, 強：16, 弱：14	
		エアフィルタ		0	
	吹出ダクト接続口			58	
	新鮮空気取入口			プラスチックネット（洗浄可能）	
	運転調整			側板を利用して可能(□100ダクト接続)	
	遠方発停用機能			側板を利用して可能(65×112ダクト接続)	
	加湿器			操作（運転切換、風量調整、タイマ、換気、グリル昇降）	
	加湿器			室温調節（電子サーモスタット）表示（運転・点検用・LED、液晶表示）	
	加湿器			遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器			一（組込不可能）	
加湿器			一（気化式加湿器取付可能）		
加湿器			送風用電動機：防振ゴム、外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	750×880(+88)×340	
	製品質量		kg	64	
	冷卻装置	圧縮機形式・台数		RMT5118MCE1×1	
		電動機出力	kW	1.8	
	空気熱交換器	冷媒制御器		アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒封入量	kg	電子膨張弁	
	冷凍機油封入量	冷媒封入量	ℓ	3.3(R410A)[配管30m分封入済]	
		形式・台数		0.675(M-MA68)	
	送風装置	風量	m³/min	軸流式（モータ直結）×1	
		電動機 定格出力	W	冷：60, 暖：50	
	クランクケースヒータ	W	86		
	低外気温時冷房運転制御機能			20	
	除霜			室外送風用電動機制御により外気温－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁵⁾	
	防振・防音装置			マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式	
	配管寸法	冷媒配管（外径）	液管	mm	圧縮機：防振ゴム、吸音断熱材巻付
ガス管		室内分岐管：φ9.52(フレア接続), 室外主管：φ9.52(フレア接続)			
排水口				室内分岐管：φ12.7(フレア接続), 室外主管：φ15.88(フレア接続)	
電源配線サイズ		mm²		〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
漏電しゃ断器（高調波対応品）		A		□5.5×2本	
開閉器または配線用しゃ断器				30	
アース線サイズ		φmm		30	
室内外ユニット接続配線		φmm		φ1.6	
設計圧力		MPa		φ1.6×3本	
法定冷凍能力		トン		高圧部：4.15, 低圧部：2.21	
IPコード			0.73(届出不要)		
			室内：IPX0, 室外：IP24		
保護装置			冷房時フロスト防止、過負荷保護、吐出温度保護		

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。〔 ～ 〕は最小最大範囲幅を示します。
(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
(3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
(4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G(別売品)を使用して接続してください。
(5) 外気温が－5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
(6) お掃除ラクリーナパネル使用時、外形寸法の本体高さはプラス100mm高くなります。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時、騒音は弱でプラス1dB(A)高くなります。
(8) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.03kW×2台

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台、室外ユニット：1台）〔FDTVP-HP〕

セット形式				FDTVP804HPAG4AG		
形式				室内：FDTVP404AG 室外：FDCVP804HAG/A		
パネ ル 形 式（別 売 品）				T-PSA-3BW, 3BSB, 3BC・T-PSCL-3BW, 3BSB, 3BC・T-PSCLS-3BW		
リ モ ー ト コ ン ト ロ ー ラ				RC-DX2, RC-D4G		
電 源				三相 200V 50/60Hz		
(1) 能 力	冷 房 能 力	定 格	kW	7.1[3.2～8.0]		
		中 間		3.2		
	暖 房 能 力	定 格 標 準		8.0[3.6～10.0]		
		中 間		3.6		
		定 格 低 温		9.0		
定 格 冷 房 時 の 顕 熱 比				0.97		
(1) 運 転 特 性	運 転 電 流	冷 房	A	5.6		
		暖 房		5.5		
	始 動 電 流（最 大 電 流）		5(13)			
	消 費 電 力	冷房	定 格	1.75		
			中 間	0.529		
		暖房	定 格 標 準	1.70		
	中 間		0.60			
	定 格 低 温	3.23				
	性	力 率		%	冷：90, 暖：89	
		エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率	冷 房		定格：4.06, 中間：6.05	
暖 房				定格：4.71, 中間：6.00		
通 年 エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率			5.8			
運 転 音	室 内 ユ ニ ッ ト	dB(A)	P急：39, 急：33, 強：31, 弱：30			
	室 外 ユ ニ ッ ト		冷：51, 暖：48			
室 内 ユ ニ ッ ト	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm	本体：246×840×840 ⁽⁶⁾ , パネル：35×950×950		
	製 品 質 量		kg	本体：24, 標準パネル：5.5, ラクリーナパネル：6.5, お掃除ラクリーナパネル：12		
	空 気 熱 交 換 器			アルミフィン&銅チューブ式		
	送 風 装 置	形 式 ・ 台 数		ターボ式（モータ直結）×1		
		風 量	m³/min	P急：20, 急：18, 強：16, 弱：14		
		機外静圧（標準風量時）	Pa	0		
		電動機 定 格 出 力	W	58		
	エ ア フ ィ ル タ			プラスチックネット(洗浄可能)		
	吹 出 ダ ク ト 接 続 口			側板を利用して可能(□100ダクト接続)		
	新 鮮 空 気 取 入 口			側板を利用して可能(65×112ダクト接続)		
	運 転 調 整			操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気, グリル昇降)		
	遠 方 発 停 用 機 能			室温調節(電子サーモスタット) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)		
	ト	加 湿 器	補 助 電 気 ヒ ー タ	遠方発停入力用コネクタ(CnT：6P, CnTA：2P)を保有(室内基板上)		
		加 湿 器	加 湿 器	一(組込不可能)		
	防 振 装 置・防 音・断 熱 材			一(気化式加湿器取付可能)		
	防 振 装 置・防 音・断 熱 材			送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付		
室 外 ユ ニ ッ ト	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	750×880(+88)×340		
	製 品 質 量		kg	64		
	冷 却 装 置	圧縮機	形 式 ・ 台 数	RMT5118MCE1×1		
			電 動 機 出 力	1.8		
		空 気 熱 交 換 器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷 媒 制 御 器			電子膨張弁	
	冷 媒 封 入 量		kg	3.3(R410A)[配管30m分封入済]		
	冷 凍 機 油 封 入 量		ℓ	0.675(M-MA68)		
	送 風 装 置	形 式 ・ 台 数		軸流式(モータ直結)×1		
		風 量	m³/min	冷：60, 暖：50		
	電動機 定 格 出 力		W	86		
	ク ラ ン ク ケ ー ス ヒ ー タ		W	20		
	低 外 気 温 時 冷 房 運 転 制 御 機 能			室外送風用電動機制御により外気温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁵⁾		
除 霜			マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式			
防 振 ・ 防 音 装 置			圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付			
配 管 寸 法	冷 媒 配 管	液 管	mm	室内分岐管：φ9.52(フレア接続), 室外主管：φ9.52(フレア接続)		
	(外 径)	ガ ス 管		室内分岐管：φ12.7(フレア接続), 室外主管：φ15.88(フレア接続)		
電 気 配 線	排 水 口			〔室内〕 VP25の排水管の接続可能〔室外〕 内径φ20mmの排水穴×3個		
	電 源 配 線 サ イ ズ		φmm	φ2.0×3本		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			30		
	開閉器または配線用しゃ断器		A	20		
	ア ー ス 線 サ イ ズ		φmm	φ1.6		
	室 内 外 ユ ニ ッ ト 接 続 配 線		φmm	φ1.6×3本		
設 計 圧 力	力		MPa	高压部：4.15, 低压部：2.21		
	法 定 冷 凍 能 力		トン	0.73(届出不要)		
I P コ ー ド				室内：IPX0, 室外：IP24		
保 護 装 置				冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護		

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。〔 ～ 〕は最小最大範囲幅を示します。
(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
(3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
(4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G(別売品)を使用して接続してください。
(5) 外気温度が－5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフロアアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
(6) お掃除ラクリーナパネル使用時、外形寸法の本体高さはプラス100mm高くなります。
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時、騒音は弱でプラス1dB (A) 高くなります。
(8) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.03kW×2台

(2) 天井埋込形 2 方向吹出し (FDTW)

冷暖房兼用機 (ヒータレス単相電源形) [FDTWVP-HK]

セット形式			形式		
項目			FDTWVP804HKAG4AG 室内：FDTWVXP804AG 室外：FDCVP804HKAG/A		
パネル形式（別売品）			TW-PSA-26W, TW-PSL-26W		
リモートコントローラ			RC-DX2, RC-D4G		
電源			単相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格中間	7.1[3.2～8.0]		
		定格標準	3.2		
	暖房能力	定格中間	8.0[3.6～10.0]		
		定格低温	3.6		
		定格冷房時の顕熱比	7.8		
(1)運転特性	運転電流	冷房	0.68		
		暖房	12.2		
	始動電流（最大電流）		12.2		
	消費電力	冷房	定格中間	5(19)	
			定格標準	2.38	
		暖房	中間	0.660	
			定格低温	2.29	
	エネルギー消費効率	率		0.665	
		冷房	率	3.14	
			暖房	率	冷：98, 暖：94
運転音	室内ユニット		定格：2.98, 中間：4.85		
	室外ユニット		定格：3.49, 中間：5.41		
	dB(A)		4.8		
			P急：45, 急：40, 強：38, 弱：34		
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm		
	製品質量		kg		
	空気熱交換器形式・台数				
	送風装置	風量	m³/min		
		機外静圧（標準風量時）	Pa		
	電動機	定格出力	W		
		エアフィルター			
	吹出ダクト接続口		φ200mmフレキシブルダクト×1.接続可能〔ユニット側面〕（片側直吹と併設可能） ⁽³⁾		
	新鮮空気取入口		側板を利用して可能(φ125フレキシブルダクト接続可能・天井内)		
	運転調整		操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気, グリル昇降)		
	遠方発停用機能		室温調節(電子サーモスタート) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)		
	加湿補助電気ヒータ		遠方発停入力用コネクタ(CnT：6P, CnTA：2P)を保有(室内基板上)		
	加湿器		一(組込不可能)		
	防振装置・防音・断熱材		一(気化式加湿器取付可能)		
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm		
	製品質量		kg		
	圧縮機	形式・台数	750×880(+88)×340		
		電動機出力	64		
	冷媒制御器	空気熱交換器	RM5118MCE1×1		
		冷媒封入量	1.8		
	冷凍機油封入量	冷凍機油封入量	kg		
		冷凍機油封入量	ℓ		
	送風装置	風量	m³/min		
		電動機	軸流式(モータ直結)×1		
	電動機		冷：60, 暖：50		
	電動機		86		
	電動機		20		
	低外気温時冷房運転制御機能		W		
除霜		室外送風用電動機制御により外気温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁴⁾			
防振・防音装置		マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
配管寸法	冷媒配管（外径）		mm		
	液管		φ9.52(フレア接続)		
	ガス管		φ15.88(フレア接続)		
	排水口		〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ		mm²		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A		
	開閉器または配線用しゃ断器		30		
	アース線サイズ		φmm		
設計法	室内外ユニット接続配線		φmm		
	設計圧力		MPa		
	法定冷凍能力		トン		
	IPコード		室内：IPX0, 室外：IP24		
保護装置		冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護			

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。

(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。

(3) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(4) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。

(5) BEST 計算用 室内送風機消費電力: 0.06kW

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTWVP-H〕

セット形式			FDTWVP804HAG4AG	
形式			室内：FDTWVP804AG 室外：FDCVP804HAG/A	
パネル形式（別売品）			TW-PSA-26W, TW-PSL-26W	
リモートコントローラ			RC-DX2, RC-D4G	
電源			三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格	7.1[3.2～8.0]	
		中間	3.2	
	暖房能力	定格標準	8.0[3.6～10.0]	
		中間	3.6	
		定格低温	7.8	
定格冷房時の顕熱比			0.68	
(1)運転特性	運転電流	冷房	7.6	
		暖房	7.4	
	始動電流（最大電流）		5(13)	
	消費電力	冷房	定格	2.38
			中間	0.660
		暖房	定格標準	2.29
			中間	0.665
			定格低温	3.14
	力率		%	冷：90, 暖：89
	エネルギー消費効率		冷房	定格：2.98, 中間：4.85
		暖房	定格：3.49, 中間：5.41	
通年エネルギー消費効率			4.8	
運転音	室内ユニット	dB(A)	P急：45, 急：40, 強：38, 弱：34	
	室外ユニット		冷：51, 暖：48	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm 本体：325×820×620, パネル：20×1120×680	
	製品質量		kg 本体：23, 標準パネル：8.5, ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数	ターボ式（モータ直結）×1	
		風量	P急：16.5, 急：13, 強：12, 弱：10	
	機外静圧（標準風量時）		Pa 0	
	電動機	定格出力	W 50	
		エアフィルタ	プラスチックネット（洗浄可能）	
	吹出ダクト接続口		φ200mmフレキシブルダクト×1.接続可能〔ユニット側面〕（片側直吹と併設可能） ⁽³⁾	
	新鮮空気取入口		側板を利用して可能（φ125フレキシブルダクト接続可能・天井内）	
ト	運転調整		操作（運転切換, 風量調整, タイマ, 換気, グリル昇降）	
	遠方発停用機能		室温調節（電子サーモスタット）表示（運転・点検用・LED, 液晶表示）	
	加湿補助電気ヒータ		遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器		—（組込不可能）	
	加湿器		—（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材		送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm 750×880(+88)×340	
	製品質量		kg 64	
	冷却装置	圧縮機形式・台数	RMT5118MCE1×1	
		電動機出力	1.8	
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式	
	冷媒制御器		電子膨張弁	
	冷媒封入量		3.3(R410A)[配管30m分封入済]	
	冷凍機油封入量		0.675(M-MA68)	
	送風装置	形式・台数	軸流式（モータ直結）×1	
		風量	冷：60, 暖：50	
ニット	電動機	定格出力	W 86	
		クラックケースヒータ	20	
	低外気温時冷房運転制御機能		室外送風用電動機制御により外気温温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁴⁾	
	除霜		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式	
防振・防音装置		圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管	φ9.52（フレア接続）	
	ガス管		φ15.88（フレア接続）	
電気配線	排水口		〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
	電源配線サイズ		φ2.0×3本	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		30	
	開閉器または配線用しゃ断器		20	
	アース線サイズ		φ1.6	
	室内外ユニット接続配線		φ1.6×3本	
設計圧力	MPa		高圧部：4.15, 低圧部：2.21	
法定冷凍能力	トン		0.73(届出不要)	
IPコード			室内：IPX0, 室外：IP24	
保護装置			冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護	

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。〔 ～ 〕は最小最大範囲幅を示します。
(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
(3) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(4) 外気温が－5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。
(5) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.06kW

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形） ツイン形（室内ユニット：2台、室外ユニット：1台）（FDTWVP-HKP）

セット形式			FDTWVP804HKPAG4AG	
形式			室内：FDTWVXP404AG 室外：FDCVP804HKAG/A	
パネル形式（別売品）			TW-PSA-26W, TW-PSL-26W	
リモートコントローラ			RC-DX2, RC-D4G	
電源			三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格	7.1[3.2～8.0]	
		中間	3.2	
	暖房能力	定格標準	8.0[3.6～10.0]	
		中間	3.6	
		定格低温	8.0	
定格冷房時の顕熱比			0.86	
(1)運転特性	運転電流	冷房	11.4	
		暖房	11.1	
	始動電流（最大電流）		5(19)	
	消費電力	冷房	定格	2.22
			中間	0.631
		暖房	定格標準	2.08
			中間	0.725
			定格低温	3.35
			率	%
	エネルギー消費効率		冷：97, 暖：94	
通年エネルギー消費効率		定格：3.20, 中間：5.07		
		定格：3.85, 中間：4.97		
運転音	室内ユニット		4.8	
	室外ユニット		P急：42, 急：38, 強：34, 弱：31	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）		冷：51, 暖：48	
	製品質量		本体：325×820×620, パネル：20×1120×620	
	空気熱交換器		本体：21, 標準パネル：8.5, ラクリーナパネル：10	
	形式・台数		アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	風量	ターボ式（モータ直結）×1	
		機外静圧（標準風量時）	P急：14.5, 急：12, 強：10, 弱：9	
		電動機定格出力	0	
	エアフィルタ		35	
	吹出ダクト接続口		プラスチックネット（洗浄可能）	
	新鮮空気取入口		φ200mmフレキシブルダクト×1.接続可能〔ユニット側面〕（片側直吹と併設可能） ^⑤	
	運転調整		側板を利用して可能（φ125フレキシブルダクト接続可能・天井内）	
	遠方発停用機能		操作（運転切換, 風量調整, タイマ, 換気, グリル昇降）	
	加湿補助電気ヒータ		室温調節（電子サーモスタット）表示（運転・点検用・LED, 液晶表示）	
	加湿器		遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	防振装置・防音・断熱材		—（組込不可能）	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）		—（気化式加湿器取付可能）	
	製品質量		送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付	
	圧縮機	形式・台数	750×880(+88)×340	
		電動機出力	64	
	空気熱交換器	電機出力	RMT5118MCE1×1	
		冷媒制御器	1.8	
	冷媒封入量	アルミフィン&銅チューブ式	電子膨張弁	
		冷凍機油封入量	3.3(R410A)[配管30m分封入済]	
	送風装置	形式・台数	0.675(M-MA68)	
		風量	軸流式（モータ直結）×1	
	電動機	機外静圧（標準風量時）	冷：60, 暖：50	
		定格出力	86	
	クランクケースヒータ		20	
	低外気温度時冷房運転制御機能		室外送風用電動機制御により外気温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ^⑥	
	除霜		マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
防振・防音装置		圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	室内分岐管：φ9.52（フレア接続）, 室外主管：φ9.52（フレア接続）		
	ガス管	室内分岐管：φ12.7（フレア接続）, 室外主管：φ15.88（フレア接続）		
	排水口	〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ		□5.5×2本	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		30	
	開閉器または配線用しゃ断器		30	
	アース線サイズ		φ1.6	
	室内外ユニット接続配線		φ1.6×3本	
設計圧力			φ1.6×3本	
法定冷凍能力	MPa		高压部：4.15, 低压部：2.21	
	トン		0.73（届出不要）	
IPコード			室内：IPX0, 室外：IP24	
	保護装置		冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護	

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。〔 ～ 〕は最小最大範囲幅を示します。
(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
(3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
(4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。
(5) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(6) 外気温度が－5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。
(7) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.04kW×2台

冷暖房兼用機（ヒータレス形） ツイン形（室内ユニット：2 台、室外ユニット：1 台）〔FDTWVP-HP〕

セット形式			FDTWVP804HPAG4AG	
形式			室内：FDTWVP404AG 室外：FDCVP804HAG/A	
パネル形式（別売品）			TW-PSA-26W, TW-PSL-26W	
リモートコントローラ			RC-DX2, RC-D4G	
電源			三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格	7.1[3.2～8.0]	
		中間	3.2	
	暖房能力	定格標準	8.0[3.6～10.0]	
		中間	3.6	
		定格低温	9.2	
定格冷房時の顕熱比			0.86	
(1)運転特性	運転電流	冷房	7.0	
		暖房	6.6	
	始動電流（最大電流）		5(13)	
	消費電力	冷房	定格	2.20
			中間	0.634
		暖房	定格標準	2.05
	中間		0.719	
		定格低温	3.85	
		率		%
	エネルギー消費効率	冷房	冷	91, 暖：90
暖房			定格：3.23, 中間：5.05	
通年エネルギー消費効率		定格：3.90, 中間：5.01		
運転音	室内ユニット	4.8		
	室外ユニット	P急：42, 急：38, 強：34, 弱：31 冷：51, 暖：48		
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm	
	製品質量		kg	
	空気熱交換器			
	形式・台数			
	送風装置	風量	m³/min	
		機外静圧（標準風量時）	Pa	
	電動機	定格出力	W	
		エアフィルタ		
	吹出ダクト接続口			
	新鮮空気取入口			
運転調整	運転調整			
	遠方発停用機能			
	加湿器補助電気ヒータ	加湿器		
		加湿器		
	防振装置・防音・断熱材			
	送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	
	製品質量		kg	
	圧縮機	形式・台数		
		電動機出力	kW	
	空気熱交換器	冷媒制御器		
		冷媒封入量	kg	
	冷凍機油封入量		ℓ	
		形式・台数		
	送風装置	風量	m³/min	
		電動機 定格出力	W	
クラックケースヒータ		W		
	低外気温時冷房運転制御機能			
除霜				
	防振・防音装置			
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管	mm	
	ガス管			
電気配線	電源配線サイズ	φ mm		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			
	開閉器または配線用しゃ断器	A		
	アース線サイズ	φ mm		
	室内外ユニット接続配線	φ mm		
	設計圧力	MPa		
法定冷凍能力			トン	
	IPコード			
保護装置				

室内：FDTWVP404AG 室外：FDCVP804HAG/A		
TW-PSA-26W, TW-PSL-26W		
RC-DX2, RC-D4G		
三相 200V 50/60Hz		
7.1[3.2～8.0]		
3.2		
8.0[3.6～10.0]		
3.6		
9.2		
0.86		
7.0		
6.6		
5(13)		
2.20		
0.634		
2.05		
0.719		
3.85		
冷：91, 暖：90		
定格：3.23, 中間：5.05		
定格：3.90, 中間：5.01		
4.8		
P急：42, 急：38, 強：34, 弱：31		
冷：51, 暖：48		
本体：325×820×620, パネル：20×1120×680		
本体：21, 標準パネル：8.5, ラクリーナパネル：10		
アルミフィン&銅チューブ式		
ターボ式（モータ直結）×1		
P急：14.5, 急：12, 強：10, 弱：9		
0		
35		
プラスチックネット(洗浄可能)		
φ200mmフレキシブルダクト×1.接続可能〔ユニット側面〕(片側直吹と併設可能)⑤		
側板を利用して可能(φ125フレキシブルダクト接続可能・天井内)		
操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気, グリル昇降)		
室温調節(電子サーモスタット) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)		
遠方発停入力用コネクタ(CnT：6P, CnTA：2P)を保有(室内基板上)		
—(組込不可能)		
—(気化式加湿器取付可能)		
送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付		
750×880(+88)×340		
64		
RMT5118MCE1×1		
1.8		
アルミフィン&銅チューブ式		
電子膨張弁		
3.3(R410A)[配管30m分封入済]		
0.675(M-MA68)		
軸流式(モータ直結)×1		
冷：60, 暖：50		
86		
20		
室外送風用電動機制御により外気温度－15℃～43℃で冷房運転可能⑥		
マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式		
圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付		
室内分岐管：φ9.52(フレア接続), 室外主管：φ9.52(フレア接続)		
室内分岐管：φ12.7(フレア接続), 室外主管：φ15.88(フレア接続)		
〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
φ2.0×3本		
30		
20		
φ1.6		
φ1.6×3本		
高圧部：4.15, 低圧部：2.21		
0.73(届出不要)		
室内：IPX0, 室外：IP24		
冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護		

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。〔 ～ 〕は最小最大範囲幅を示します。
(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
(3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
(4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。
(5) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(6) 外気温度が－5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。
(7) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.04kW×2 台

(3) 天井埋込形 1 方向吹出し (FDTS)
 冷暖房兼用機 (ヒータレス単相電源形) (FDTSVP-HK)

セット形式			FDTSPV804HKAG4AG
項 目			形式
パネ	パネル形式	標準仕様 (直吹き)・オートスイング付	TS-PSA-3AW
	(別売品)	下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PNA-3AW
リモートコントローラ			RC-DX2, RC-D4G
電源			単相 200V 50/60Hz
(1) 能力	冷房能力	定格	7.1[3.2~8.0]
		中間	3.2
	暖房能力	定格標準	8.0[3.6~10.0]
		中間	3.6
(1) 運	運転電流	冷房	7.8
		暖房	0.70
	始動電流 (最大電流)	冷房	13.6
		暖房	12.3
特	消費電力	冷房	5(19)
		暖房	2.60
	力	冷房	0.635
		暖房	2.35
性	エネルギー消費効率	冷房	0.673
		暖房	3.03
	年間エネルギー消費効率	冷房	冷: 96, 暖: 96
		暖房	定格: 2.73, 中間: 5.04
運	室内ユニット	冷房	定格: 3.40, 中間: 5.35
		暖房	4.8
	室外ユニット	冷房	P急: 50, 急: 46, 強: 41, 弱: 36
		暖房	冷: 51, 暖: 48
室内ユニット	外形寸法 (高さ×幅×奥行)		本体: 220×1150×565, パネル: 35×1460×650
	製品質量		本体: 28, 標準パネル: 6, 下がり天井パネル: 6
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数	両吸込多翼遠心式 (モータ直結) × 4
		風量	P急: 18, 急: 15, 強: 12, 弱: 10
	電動機	定格出力	0
		電圧	70
	吹出ダクト接続口		プラスチックネット (洗浄可能)
	新鮮空気取入口		不可能
	運転調整		背面を利用して可能
	遠方発停用機能		操作 (運転切換, 風量調整, タイマ, 換気)
	加湿補助電気ヒータ		室温調節 (電子サーモスタット) 表示 (運転・点検用・LED, 液晶表示)
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		750×880(+88)×340
	製品質量		64
	圧縮機	形式・台数	RMT5118MCE1×1
		電動機出力	1.8
	空気熱交換器	冷媒制御器	アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒封入量	電子膨張弁
	冷凍機油封入量	kg	3.3(R410A) [配管30m分封入済]
		ℓ	0.675(M-MA68)
	送風装置	形式・台数	軸流式 (モータ直結) × 1
		風量	冷: 60, 暖: 50
	電動機	定格出力	86
		電圧	20
配管寸法	低外気温時冷房運転制御機能		室外送風用電動機制御により外気温 -15℃~43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾
	除霜		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式
	防振・防音装置		圧縮機: 防振ゴム, 吸音断熱材巻付
	冷媒配管 (外径)	液管	φ9.52 (フレア接続)
		ガス管	φ15.88 (フレア接続)
	排水口		〔室内〕 VP25の排水管の接続可能 〔室外〕 内径φ20mmの排水穴×3個
	電源配線サイズ		□5.5×2本
	漏電しゃ断器 (高調波対応品)	A	30
		A	30
	アース線サイズ	φmm	φ1.6
		φmm	φ1.6×3本
電気配線	室内外ユニット接続配線		φ1.6×3本
	設計圧力	MPa	高圧部: 4.15, 低圧部: 2.21
		トン	0.73 (届出不要)
	法定冷凍能力		室内: IPX0, 室外: IP24
	IPコード		
	保護装置		冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (4) BEST 計算用 室内送風機消費電力: 0.09kW

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTSPV-H〕

セット形式				FDTSPV804HAG4AG		
形式				室内：FDTSVXP804AG 室外：FDCVP804HAG/A		
項目				TS-PSA-3AW		
パネル形式 (別売品)				TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ				RC-DX2, RC-D4G		
電源				三相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		7.1[3.2～8.0]		
		中間		3.2		
	暖房能力	定格標準		8.0[3.6～10.0]		
		中間		3.6		
		定格低温		7.8		
定格冷房時の顕熱比				0.70		
(1)運転特性	運転電流	冷房		8.3		
		暖房		7.5		
	始動電流(最大電流)		5(13)			
	消費電力	冷房	定格	2.59		
			中間	0.630		
暖房		定格標準	2.34			
	中間	0.670				
		定格低温	3.03			
性能	力		率		%	
	エネルギー消費効率	冷房	冷：90, 暖：90			
		暖房	定格：2.74, 中間：5.08			
	通年エネルギー消費効率		定格：3.42, 中間：5.37			
運転音	室内ユニット		4.8		P急：50, 急：46, 強：41, 弱：36	
	室外ユニット		冷：51, 暖：48			
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)		mm		本体：220×1150×565, パネル：35×1460×650	
	製品質量		kg		本体：28, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4	
		風量	m³/min		P急：18, 急：15, 強：12, 弱：10	
	機外静圧(標準風量時)		Pa		0	
	電動機定格出力		W		70	
	エアフィルタ				プラスチックネット(洗浄可能)	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能	
	運転調整				操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気)	
	ト	遠方発停用機能				室温調節(電子サーモスタット) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)
加湿器補助電気ヒータ				遠方発停入力用コネクタ(CnT：6P, CnTA：2P)を保有(室内基板上)		
加湿器				—(組込不可能)		
加湿器				—(組込不可能)		
室外ユニット	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付	
	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm		750×880(+88)×340	
	製品質量		kg		64	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数	RMT5118MCE1×1		
			電動機出力	1.8		
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量	kg		3.3(R410A)[配管30m分封入済]	
		冷凍機油封入量	ℓ		0.675(M-MA68)	
	ニット	形式・台数			軸流式(モータ直結)×1	
			風量	m³/min		冷：60, 暖：50
		電動機	定格出力	W		86
クランクケースヒータ		W		20		
防	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御により外気温温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾	
	除霜				マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付	
					φ9.52(フレア接続)	
配管寸法	冷媒配管(外径)	液管	mm		φ15.88(フレア接続)	
	ガス管				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ		φmm		φ2.0×3本	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)		A		30	
	開閉器または配線用しゃ断器				20	
	アース線サイズ		φmm		φ1.6	
	室内外ユニット接続配線		φmm		φ1.6×3本	
設計	圧力		MPa		高圧部：4.15, 低圧部：2.21	
	法定冷凍能力		トン		0.73(届出不要)	
I	Pコード				室内：IPX0, 室外：IP24	
	保護装置				冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護	

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
(3) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
(4) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.09kW

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台、室外ユニット：1台）（FDTSVP-HKP）

セット形式			形式		FDTSVP804HKPAG4AG		
項 目					室内：FDTSVXP404AG 室外：FDCVP804HKAG/A		
パネル形式 （別売品）		標準仕様（直吹き）・オートスイング付 下がり天井仕様・オートスイングなし		TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW			
リモートコントロール					RC-DX2, RC-D4G		
電 源					単相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格中間		kW	7.1[3.2～8.0]		
		定格標準			3.2		
	暖房能力	定格低温			8.0[3.6～10.0]		
		定格低温			3.6		
定格冷房時の顕熱比					8.0		
					0.77		
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	11.2		
		暖房			11.5		
	始動電流（最大電流）		5(19)		2.16		
	消費電力	冷房	定格中間	kW	0.600		
		暖房	定格標準中間		2.12		
			定格低温	0.700			
				3.23			
	力率				冷：96, 暖：92		
	エネルギー消費効率		冷房			定格：3.29, 中間：5.33	
	通年エネルギー消費効率		暖房			定格：3.77, 中間：5.14	
					4.9		
	運転音	室内ユニット		dB(A)		P急：42, 急：40, 強：38, 弱：35	
室外ユニット				冷：51, 暖：48			
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm		本体：220×1150×565, パネル：35×1460×650		
	製品質量		kg		本体：27, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			両吸込多翼遠心式（モータ直結）×4		
		風量	m³/min		P急：13, 急：12, 強：11, 弱：9.5		
	機外静圧（標準風量時）		Pa		0		
	電動機	定格出力	W		35		
		エアフィルタ			プラスチックネット（洗浄可能）		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能		
	運転調整				操作（運転切換, 風量調整, タイマ, 換気）		
	ト	遠方発停用機能				室温調節（電子サーモスタット）表示（運転・点検用・LED, 液晶表示）	
加湿器補助電気ヒータ				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）			
加湿器補助電気ヒータ				—（組込不可能）			
加湿器補助電気ヒータ				—（組込不可能）			
防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm		750×880(+88)×340		
	製品質量		kg		64		
	冷房装置	圧縮機形式・台数			RMT5118MCE1×1		
		電動機出力	kW		1.8		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	冷媒制御器				電子膨張弁		
	冷媒封入量		kg		3.3(R410A)[配管30m分封入済]		
	冷凍機油封入量		ℓ		0.675(M-MA68)		
	送風装置	形式・台数			軸流式（モータ直結）×1		
		風量	m³/min		冷：60, 暖：50		
	電動機		W		86		
	クランクケースヒータ		W		20		
低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御により外気温－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁵⁾			
霜除				マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式			
防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管	mm	室内分岐管：φ9.52（フレア接続）, 室外主管：φ9.52（フレア接続）			
	ガス管			室内分岐管：φ12.7（フレア接続）, 室外主管：φ15.88（フレア接続）			
排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個			
電源配線サイズ		mm²		□5.5×2本			
電気配線	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A		30		
	開閉器または配線用しゃ断器				30		
	アース線サイズ		φmm		φ1.6		
	室内外ユニット接続配線		φmm		φ1.6×3本		
設計圧力		MPa		高圧部：4.15, 低圧部：2.21			
法定冷凍能力		トン		0.73(届出不要)			
IPコード				室内：IPX0, 室外：IP24			
保護装置				冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護			

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。〔 ～ 〕は最小最大範囲幅を示します。

(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。

(3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。

(4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。

(5) 外気温度が－5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。

(6) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.04kW×2台

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2 台，室外ユニット：1 台）〔FDTSPV-HP〕

セット形式			FDTSPV804HPAG4AG	
形式			室内：FDTSVXP404AG 室外：FDCVP804HAG/A	
項目				
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付		TS-PSA-3AW	
	下がり天井仕様・オートスイングなし		TS-PNA-3AW	
リモートコントローラ			RC-DX2, RC-D4G	
電源			三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格	7.1[3.2～8.0]	
		中間	3.2	
	暖房能力	定格標準	8.0[3.6～10.0]	
		中間	3.6	
定格冷房時の顕熱比			9.0	
			0.77	
	(1)運転	運転電流	冷房	6.5
		始動電流(最大電流)	暖房	6.7
特	消費電力	冷房	5(13)	
		暖房	2.16	
			0.600	
			2.12	
性			0.700	
			3.63	
	力率		冷：96, 暖：91	
	エネルギー消費効率	冷房	定格：3.29, 中間：5.33	
運	通年エネルギー消費効率		定格：3.77, 中間：5.14	
			4.9	
	室内ユニット		P急：42, 急：40, 強：38, 弱：35	
	室外ユニット		冷：51, 暖：48	
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)		mm	
	製品質量		kg	
	空気熱交換器			
	形式・台数			
	送風機		m³/min	
	機外静圧(標準風量時)		Pa	
	電動機定格出力		W	
	エアフィルタ			
	吹出ダクト接続口			
	新鮮空気取入口			
	運転調整			
	ト	遠方発停用機能		
加湿器補助電気ヒータ				
加湿器				
防振装置・防音・断熱材				
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	
	製品質量		kg	
	圧縮機	形式・台数	750×880(+88)×340	
		電動機出力	64	
	冷媒制御器	電機出力	RMT5118MCE1×1	
		冷媒封入量	1.8	
	冷凍機油封入量		アルミフィン&銅チューブ式	
			電子膨張弁	
	送風機	形式・台数	3.3(R410A)[配管30m分封入済]	
		風量	0.675(M-MA68)	
	電動機	定格出力	軸流式(モータ直結)×1	
			冷：60, 暖：50	
クランクケースヒータ		86		
低外気温時冷房運転制御機能		20		
除霜		室外送風用電動機制御により外気温-15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁵⁾		
防振・防音装置		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式		
配管寸法	冷媒配管(外径)	液管	圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付	
	排水口	ガス管	室内分岐管：φ9.52(フレア接続), 室外主管：φ9.52(フレア接続)	
			室内分岐管：φ12.7(フレア接続), 室外主管：φ15.88(フレア接続)	
	電気配線	電源配線サイズ		〔室内〕 VP25の排水管の接続可能〔室外〕 内径φ20mmの排水穴×3個
漏電しゃ断器(高調波対応品)		φ2.0×3本		
開閉器または配線用しゃ断器		30		
アース線サイズ		20		
設計	室内外ユニット接続配線		φ1.6	
			φ1.6×3本	
	計画圧力		MPa	
			高圧部：4.15, 低圧部：2.21	
法定冷凍能力			0.73(届出不要)	
	IPコード			
保護装置			室内：IPX0, 室外：IP24	
			冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護	

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[～] は最小最大範囲幅を示します。

(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。

(3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。

(4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G(別売品)を使用して接続してください。

(5) 外気温度が－5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。

(6) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.04kW×2 台

(4) 天埋カセテリア (FDR)

冷暖房兼用機 (ヒータレス単相電源形) [FDRV-P-HK]

セット形式			FDRV-P804HKAG4AG	
形式			室内：FDRVXP804AG 室外：FDCVP804HKAG/A	
項目				
吸込パネル形式(別売品)	バネール		サイレントパネル	キャンバスパネル
			R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ			RC-DX2	
電源			単相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格中間	7.1 [3.2~8.0]	
		定格標準	3.2	
	暖房能力	定格中間	8.0 [3.6~10.0]	
		定格低温	3.6	
	定格冷房時の顕熱比		8.0	
(1)運転特性	運転電流	冷房	11.5	
	始動電流(最大電流)	暖房	12.2	
				5(21)
	消費電力	冷房	2.24	
		暖房	0.690	
	力率	定格標準	2.35	
		定格低温	0.650	
	エネルギー消費効率		2.93	
				冷：97, 暖：96
	運転音	室内ユニット		定格：3.17, 中間：4.64
室外ユニット			定格：3.40, 中間：5.54	
			4.8	
室内ユニット	外形寸法本体(高さ×幅×奥行)	パネル	P急：46, 急：42, 強：36, 弱：30	
	製品質量		P急：47, 急：43, 強：37, 弱：31	
	空気熱交換器		冷：51, 暖：48	
	送風機	形式・台数		
	電動機	定格出力	348×950×635	
	吹出ダクト接続口		20×1240×750	
	新鮮空気取入口		(348+α)×950×635 ^③	
	運転調整		20×1064×585	
	遠方発停用機能		本体：34, パネル：11.4	
	加湿器		本体：34, パネル：9.3	
室外ユニット	防振装置・防音・断熱材		アルミフィン&銅チューブ式	
	外形寸法	高さ×幅×奥行	両吸込多翼遠心式(モータ直結)×2	
	製品質量		P急：24, 急：19, 強：15, 弱：10	
	圧縮機	形式・台数	最小：10, 最大：100 (リモコンから設定)	
	電動機出力		130	
	空気熱交換器		プラスチックネット(洗浄可能)	
	冷媒制御器		前面(φ200フレキシブルダクト×3スポット接続)	
	冷媒封入量	kg	新鮮外気取入(側面:φ125mm, 背面:φ150mmフレキシブルダクト接続) 排気(側面:φ125mmフレキシブルダクト接続)	
	冷凍機油封入量	ℓ	操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気) 室温調節(電子サーモスタット)	
	送風機	形式・台数	表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)	
電気配線	電動機出力	W	遠方発停入力用コネクタ(CnT:6P, CnTA:2P)を保有(室内基板上)	
	クランクケースヒータ	W	—(組込不可能)	
	低外気温時冷房運転制御機能		—(気化式加湿器取付可能)	
	除霜		送風用電動機:防振ゴム, 外板:吸音断熱材貼付	
	防振・防音装置		750×880(+88)×340	
	冷媒配管液管	mm	64	
	(外径)ガス管		RMT5118MCE1×1	
	排水口		1.8	
	電源配線サイズ	mm ²	アルミフィン&銅チューブ式	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	A	電子膨張弁	
設計	開閉器または配線用しゃ断器		3.3 [R410A] (配管30m分封入済)	
	アース線サイズ	φmm	0.675 (M-MA68)	
	室内外ユニット接続配線	φmm	軸流式(モータ直結)×1	
法定	計圧力	MPa	冷：60, 暖：50	
	定冷凍能力	トン	86	
	IPコード		20	
保護装置			室外送風用電動機制御により外気温温度-15℃~43℃で冷房運転可能 ^⑤	
			マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式	
			圧縮機:防振ゴム, 吸音断熱材巻付	
電気配線	冷媒配管液管	mm	φ9.52 (フレア接続)	
	(外径)ガス管		φ15.88 (フレア接続)	
	排水口		〔室内〕VP25の排水管の接続可能 〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ	mm ²	□5.5×2本	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	A	30	
	開閉器または配線用しゃ断器		30	
設計	アース線サイズ	φmm	φ1.6	
	室内外ユニット接続配線	φmm	φ1.6×3本	
	計圧力	MPa	高圧部：4.15, 低圧部：2.21	
法定	定冷凍能力	トン	0.73 (届出不要)	
	IPコード		室内：IPX0, 室外：IP24	
	保護装置		冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護	

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) キャンバスパネル仕様の本体高さはキャンバスダクト分がプラスされます。
 (4) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し、天井部分は本体高さに含まれます。
 (5) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (6) BEST計算用 室内送風機消費電力 : 0.125kW

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRV-P-H〕

セット形式		FDRV-P804HAG4AG	
形式		室内：FDRVXP804AG 室外：FDCVP804HAG/A	
項目			
吸 込 パ ネ ル		サイレントパネル	キャンバスパネル
パ ネ ル 形 式 (別 売 品)		R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リ モ ー ト コ ン ト ロ ー ラ		RC-DX2	
電 源		三相 200V 50/60Hz	
(1) 冷 房 能 力	定 格	7.1 [3.2~8.0]	
	中 間	3.2	
	定 格 標 準	8.0 [3.6~10.0]	
(1) 暖 房 能 力	中 間	3.6	
	定 格 低 温	8.1	
定 格 冷 房 時 の 顕 熱 比		0.83	
(1) 運 転 電 流	冷 房	7.1	
	暖 房	7.5	
(1) 始 動 電 流 (最 大 電 流)		5(16)	
運 転 消 費 電 力	冷 房	2.24	
	中 間	0.690	
	定 格 標 準	2.35	
	暖 房	0.650	
特 性	力 率	2.93	
	エ ネ ル ギ ー	冷：91，暖：90	
	消 費 効 率	定格：3.17，中間：4.64	
	通 年 エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率	定格：3.40，中間：5.54	
運 転 音	室 内 ユ ニ ッ ト	4.8	
	室 外 ユ ニ ッ ト	P急：46，急：42，強：36，弱：30	
		P急：47，急：43，強：37，弱：31	
		冷：51，暖：48	
室 内 ユ ニ ッ ト	外 形 寸 法	348×950×635	
	(高さ×幅×奥行)	(348+α)×950×635 ⁽⁴⁾	
	製 品 質 量	20×1240×750	
		20×1064×585	
送 風 機	空 気 熱 交 換 器	アルミフィン&銅チューブ式	
	形 式 ・ 台 数	両吸込多翼遠心式（モータ直結）×2	
	機 外 静 圧	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
	電 動 機 定 格 出 力	最小：10，最大：100（リモコンから設定）	
二 吹 出 ダ ク ト 接 続	エ ア フ ィ ル タ	130	
	吹 出 ダ ク ト 接 続	プラスチックネット（洗浄可能）	
	新 鮮 空 気 取 入	前面（φ200フレキシブルダクト×3スポット接続）	
	運 転 調 整	新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mmフレキシブルダクト接続） 排気（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続）	
ト	遠 方 発 停 用 機 能	操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気）室温調節（電子サーモスタット）	
	加 湿 器	表示（運転・点検用・LED，液晶表示）	
	補 助 電 気 ヒ ー タ	遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	防 振 装 置	—（組込不可能）	
室 外 ユ ニ ッ ト	防 振 装 置	—（気化式加湿器取付可能）	
	外 形 寸 法	750×880(+88)×340	
	製 品 質 量	64	
	冷 媒 配 管	RMT5118MCE1×1	
二 吹 出 ダ ク ト 接 続	圧 縮 機	1.8	
	電 動 機 出 力	アルミフィン&銅チューブ式	
	空 気 熱 交 換 器	電子膨張弁	
	冷 媒 制 御 器	3.3〔R410A〕（配管30m分封入済）	
送 風 機	冷 媒 封 入 量	0.675（M-MA68）	
	冷 凍 機 油 封 入 量	軸流式（モータ直結）×1	
	形 式 ・ 台 数	冷：60，暖：50	
	機 外 静 圧	86	
ト	電 動 機 定 格 出 力	20	
	ク ラ ン ク ケ ー ス ヒ ー タ	室外送風用電動機制御により外気温度-15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁶⁾	
	低 外 気 温 時 冷 房 運 転 制 御 機 能	マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式	
	防 振 装 置	圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配 管 寸 法	冷 媒 配 管	φ9.52（フレア接続）	
	液 体 配 管	φ15.88（フレア接続）	
	ガ ス 管	〔室内〕VP25の排水管の接続可能 〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
	排 水 口	φ2.0×3本	
電 気 配 線	電 源 配 線 サ イ ズ	30	
	漏 電 シ ャ 断 器 (高 調 波 対 応 品)	20	
	開 閉 器 又 は 配 線 用 シ ャ 断 器	φ1.6	
	ア ー ス 線 サ イ ズ	φ1.6×3本	
設 計	室 内 外 ユ ニ ッ ト 接 続 配 線	高圧部：4.15，低圧部：2.21	
	計 圧 力	0.73（届出不要）	
	法 定 冷 凍 能 力	室内：IPX0，室外：IP24	
	保 護 装 置	冷房時フロスト防止，過負荷保護，吐出温度保護	

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。〔 ～ 〕は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (4) キャンバスパネル仕様の本体高さはキャンバスダクト分がプラスされます。
 (5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井部分は本体高さに含まれます。
 (6) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.125kW

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台、室外ユニット：1台）〔FDRVP-HKP〕

セット形式		FDRVP804HKPAG4AG	
形式		室内：FDRVXP404AG 室外：FDCVP804HKAG/A	
項目		サイレントパネル R-PNS-2AW	キャンバスパネル R-PNC-2AW
吸込パネル形式（別売品）			
リモートコントローラ		RC-DX2	
電源		単相 200V 50/60Hz	
(1) 能力	冷房能力	定格	7.1 [3.2~8.0]
		中間	3.2
	暖房能力	定格標準	8.0 [3.6~10.0]
		中間	3.6
		定格低温	8.0
定格冷房時の顕熱比		0.88	
(1) 運転特性	運転電流	冷房	11.6
	始動電流（最大電流）	暖房	11.3
	消費電力	定格	5(21)
		中間	2.27
		定格標準	0.610
		中間	2.16
	力率	中間	0.730
		定格低温	3.35
	エネルギー消費効率	冷房	冷：98, 暖：96
	消費効率	暖房	定格：3.13, 中間：5.25
運転音	室内ユニット	急：42, 急：37, 強：36, 弱：34	P急：43, 急：38, 強：37, 弱：35
	室外ユニット	冷：51, 暖：48	
	dB(A)		
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体 mm	348×750×635
	製品質量	パネル kg	(348+α)×750×635 ⁽⁴⁾
	空気熱交換器		20×1040×750
	送風機		本体：29, パネル：10
	風量		アルミフィン&銅チューブ式
	静圧		両吸込多翼遠心式（モータ直結）×1
	電動機定格出力		P急：13, 急：10, 強：9, 弱：8
	エアフィルタ		最小：10, 最大：100（リモコンから設定）
	吹出ダクト接続口		100
	新鮮空気取入口		ブラスチックネット（洗浄可能）
室外ユニット	運転調整		前面（φ200フレキシブルダクト×2スポット接続）
	遠方発停用機能		新鮮外気取入（側面：φ125mm, 背面：φ150mmフレキシブルダクト接続） 排気（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続）
	補助電気ヒータ		操作（運転切換, 風量調整, タイマ, 換気）室温調節（電子サーモスタート）
	加湿器		表示（運転・点検用・LED, 液晶表示）
	防振装置・防音・断熱材		遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	外形寸法（高さ×幅×奥行）		—（組込不可能）
	製品質量		—（気化式加湿器取付可能）
	圧縮機		送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付
	電動機出力		750×880(+88)×340
	空気熱交換器		64
二ツ	冷媒制御器		RMT5118MCE1×1
	冷媒封入量		1.8
	冷凍機油封入量		アルミフィン&銅チューブ式
	送風機		電子膨張弁
	風量		3.3 [R410A]（配管30m分封入済）
	電動機定格出力		0.675 (M-MA68)
	クランクケースヒータ		軸流式（モータ直結）×1
	低外気温時冷房運転制御機能		冷：60, 暖：50
	除霜		86
	防振・防音装置		20
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管 mm	室外送風用電動機制御により外気温度-15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁷⁾
	ガス管		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式
	排水口		圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付
	電源配線サイズ		室内分岐管：φ9.52（フレア接続）, 室外主管：φ9.52（フレア接続）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		室内分岐管：φ12.7（フレア接続）, 室外主管：φ15.88（フレア接続）
	開閉器または配線用しゃ断器		〔室内〕VP25の排水管の接続可能 〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
	アース線サイズ		□5.5×2本
	室内外ユニット接続配線		30
	設計圧力		30
	法定冷凍能力		φ1.6
I P コード			φ1.6×3本
			高圧部：4.15, 低圧部：2.21
			0.73（届出不要）
保護装置			室内：IPX0, 室外：IP24
			冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2006およびJRA4048：2006条件により運転した値です。〔～〕は最小最大範囲幅を示します。
(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
(3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合わせて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
(4) キャンバスパネル仕様の本体高さはキャンバスダクト分がプラスされます。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し、天井部分は本体高さに含まれます。
(6) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。
(8) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.06kW×2台

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRVP-HP〕

セット形式		FDRVP804HPAG4AG	
形式		室内：FDRVXP404AG 室外：FDCVP804HAG/A	
項目		サイレントパネル R-PNS-2AW	キャンバスパネル R-PNC-2AW
パネル形式（別売品）		RC-DX2	
リモートコントローラ		三相 200V 50/60Hz	
電源		7.1 [3.2~8.0]	
(1) 能力	冷房能力	定格標準	3.2
	暖房能力	定格標準	8.0 [3.6~10.0]
		定格低温	3.6
		定格低温	9.0
定格冷房時の顕熱比		0.88	
(1) 運転特性	運転電流	冷房	7.1
	始動電流（最大電流）	暖房	6.8
	消費電力	冷房	5(16)
		暖房	2.23
性能	エネルギー消費効率	冷房	0.620
	通年エネルギー消費効率	暖房	2.11
		定格低温	0.710
		定格低温	3.76
運転音	室内ユニット	率	冷：91，暖：90
	室外ユニット	率	定格：3.18，中間：5.16
		率	定格：3.79，中間：5.07
		率	4.8
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体	P 急：42，急：37，強：36，弱：34
	製品質量	パネル	P 急：43，急：38，強：37，弱：35
	空気熱交換器	量	冷：51，暖：48
	送風機	台数	
二ツト	風量	m³/min	348×750×635
	電動機定格出力	W	(348+α)×750×635 ⁽⁴⁾
	エアフィルタ	枚	20×1040×750
	吹出ダクト接続口	mm	20×864×585
追加装置	新鮮空気取入口	mm	本体：29，パネル：10
	運転調整	mm	本体：29，パネル：7.6
	遠方発停用機能	mm	アルミフィン&銅チューブ式
	補助電気ヒータ	mm	両吸込多翼遠心式（モータ直結）×1
室外ユニット	防振装置・防音・断熱材	mm	P 急：13，急：10，強：9，弱：8
	外形寸法（高さ×幅×奥行）	mm	最小：10，最大：100（リモコンから設定）
	製品質量	kg	100
	圧縮機	kg	プラスチックネット（洗浄可能）
二ツト	冷媒配管	mm	前面（φ200フレキシブルダクト×2スポット接続）
	電動機出力	kW	新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mmフレキシブルダクト接続）
	空気熱交換器	mm	操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気）室温調節（電子サーモスタット）
	冷媒制御器	mm	表示（運転・点検用・LED，液晶表示）
二ツト	冷媒封入量	kg	遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	冷凍機油封入量	ℓ	—（組込不可能）
	送風機	mm	—（気化式加湿器取付可能）
	風量	m³/min	送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
二ツト	電動機定格出力	W	750×880(+88)×340
	クランクケースヒータ	W	64
	低外気温時冷房運転制御機能	W	RMT5118MCE1×1
	除霜装置	W	1.8
配管寸法	防振・防音装置	mm	アルミフィン&銅チューブ式
	冷媒配管	mm	電子膨張弁
	液管	mm	3.3 [R410A]（配管30m分封入済）
	ガス管	mm	0.675 (M-MA68)
電気配線	電源配線サイズ	φmm	軸流式（モータ直結）×1
	漏電しゃ断器（高調波対応品）	A	冷：60，暖：50
	開閉器または配線用しゃ断器	A	86
	アース線サイズ	φmm	20
設計	室内外ユニット接続配線	φmm	室外送風用電動機制御により外気温度-15℃~43℃で冷房運転可能 ⁽⁷⁾
	計圧力	MPa	マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	法定冷凍能力	トン	圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
	IPコード		室内分岐管：φ9.52（フレア接続），室外主管：φ9.52（フレア接続）
保護装置	室内分岐管	φmm	室内分岐管：φ12.7（フレア接続），室外主管：φ15.88（フレア接続）
	排水口	φmm	〔室内〕VP25の排水管の接続可能 〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
	電源配線サイズ	φmm	φ2.0×3本
	漏電しゃ断器（高調波対応品）	A	30
設計	開閉器または配線用しゃ断器	A	20
	アース線サイズ	φmm	φ1.6
	室内外ユニット接続配線	φmm	φ1.6×3本
	計圧力	MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21
保護装置	法定冷凍能力	トン	0.73（届出不要）
	IPコード		室内：IPX0，室外：IP24
	漏電しゃ断器（高調波対応品）	A	冷房時フロスト防止，過負荷保護，吐出温度保護
	開閉器または配線用しゃ断器	A	

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2006およびJRA4048：2006条件により運転した値です。〔～〕は最小最大範囲を示します。
(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
(3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
(4) キャンバスパネル仕様の本体高さはキャンバスダクト分がプラスされます。
(5) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し，天井部分は本体高さに含まれます。
(6) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。
(8) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.06kW×2台

■天井リターン設置仕様（オプション）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRV-P-HK〕

セット形式			FDRVP804HKAG4AG		
形式			室内：FDRVXP804AG 室外：FDCVP804HKAG/A		
項目			R-FL-3A		
天井リターンキット			RC-DX2		
リモートコントロール			単相 200V 50/60Hz		
電源			7.1 [3.2～8.0]		
(1)能力	冷房能力	定格	kW	3.2	
		中間		8.0 [3.6～10.0]	
	暖房能力	定格標準		3.6	
		中間		8.0	
定格冷房時の顕熱比			0.83		
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	11.5	
		暖房		12.2	
	始動電流（最大電流）		5(21)		
	消費電力	冷房	定格	2.24	
			中間	0.690	
		暖房	定格標準	2.35	
			中間	0.650	
			定格低温	2.93	
	率			%	
	エネルギー消費効率		冷房	冷：97，暖：96	
年間エネルギー消費効率		暖房	定格：3.17，中間：4.64		
			定格：3.40，中間：5.54		
運転音	室内ユニット		4.8		
	室外ユニット		P急：52，急：48，強：42，弱：36 冷：51，暖：48		
室内ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	(280+37) × 950 × 635	
	製品質量		kg	34	
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
	送風機	形式・台数		両吸込多翼遠心式（モータ直結）×2	
		風量	m³/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
	機外静圧	Pa		最小：20，最大：100（リモコンから設定） ⁽⁴⁾	
		電動機定格出力	W	130	
	エアフィルタ			プラスチックネット（洗浄可能）	
	吹出ダクト接続口			前面（φ200フレキシブルダクト×3スポット接続）	
	新鮮空気取入口			新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mmフレキシブルダクト接続） 排気（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続）	
	運転調整			操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気）室温調節（電子サーモスタット） 表示（運転・点検用・LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能			遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	追加補助電気ヒータ			－（組込不可能）	
		加湿器		－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材			送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	750×880(+88) × 340	
	製品質量		kg	64	
	圧縮機	形式・台数		RMT5118MCE1×1	
		電動機出力	kW	1.8	
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
	冷媒制御器			電子膨張弁	
	冷媒封入量		kg	3.3 [R410A]（配管30m分封入済）	
	冷凍機油封入量		ℓ	0.675 (M-MA68)	
	送風機	形式・台数		軸流式（モータ直結）×1	
		風量	m³/min	冷：60，暖：50	
運転音	電動機定格出力		W	86	
	クランクケースヒータ		W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能			室外送風用電動機制御により外気温－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾ マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式	
	除霜			圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
	防振・防音装置				
配管寸法	冷媒配管 液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
	（外径）ガス管			φ15.88（フレア接続）	
電気配線	排水口			〔室内〕 VP25の排水管の接続可能 〔室外〕 内径φ20mmの排水穴×3個	
	電源配線サイズ		mm²	□5.5×2本	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A	30	
	開閉器または配線用しゃ断器			30	
	アース線サイズ		φmm	φ1.6	
	室内外ユニット接続配線		φmm	φ1.6×3本	
設計圧力	MPa		高圧部：4.15，低圧部：2.21		
	法定冷凍能力		トン	0.73（届出不要）	
IPコード			室内：IPX0，室外：IP24		
保護装置			冷房時フロスト防止，過負荷保護，吐出温度保護		

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2006およびJRA4048：2006条件により運転した値です。〔～〕は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 外気温度が－5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (4) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
 実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。

必要な機外静圧 (Pa)	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.125kW〔ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）となります。〕

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDRV-P-H〕

セット形式		形式	
項目		FDRV804HAG4AG	
天井リターンキット		室内：FDRVXP804AG 室外：FDCVP804HAG/A	
リモートコントローラ		R-FL-3A	
電		RC-DX2	
(1) 冷房能力		三相 200V 50/60Hz	
能	定 格	7.1 [3.2~8.0]	
	中 間	3.2	
	定 格 標 準	8.0 [3.6~10.0]	
	中 間	3.6	
暖房能力		8.1	
定 格 低 温		0.83	
定 格 冷 房 時 の 顕 熱 比		7.1	
(1) 運	運 転 電 流	7.5	
	始 動 電 流 (最 大 電 流)	5(16)	
	冷 房	2.24	
	暖 房	0.690	
特	消 費 電 力	2.35	
	定 格 標 準	0.650	
	中 間	2.93	
	定 格 低 温	冷：91, 暖：90	
性	工 率	定 格：3.17, 中 間：4.64	
	エ ネ ル ギ ー	定 格：3.40, 中 間：5.54	
	消 費 効 率	4.8	
	通 年 エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率	P 急：52, 急：48, 強：42, 弱：36	
運 転 音	室 内 ユ ニ ッ ト	冷：51, 暖：48	
	室 外 ユ ニ ッ ト	dB(A)	
室 内 ユ ニ ッ ト	外 形 寸 法	高 さ × 幅 × 奥 行	mm
	製 品 質 量		kg
	空 気 熱 交 換 器		
	送 風 機	形 式 ・ 台 数	
	風 量		m ³ /min
	機 外 静 圧		Pa
	電 動 機	定 格 出 力	W
	工 ア フ ィ ル タ		
	吹 出 ダ ク ト 接 続 口		
	新 鮮 空 気 取 入 口		
	運 転 調 整		
	遠 方 発 停 用 機 能		
室 外 ユ ニ ッ ト	加 熱 器	加 熱 電 気 ヒ ー タ	
	加 湿 器	加 湿 器	
	防 振 装 置	防 音 ・ 断 熱 材	
	外 形 寸 法	高 さ × 幅 × 奥 行	mm
	製 品 質 量		kg
	冷 却 機	形 式 ・ 台 数	
	空 気 熱 交 換 器		
	冷 媒 制 御 器		
	冷 媒 封 入 量		kg
	冷 凍 機 油 封 入 量		ℓ
	送 風 機	形 式 ・ 台 数	
	風 量		m ³ /min
配 管 寸 法	電 動 機	定 格 出 力	W
	ク ラ ン ク ケ ー ス ヒ ー タ		W
	低 外 気 温 時 冷 房 運 転 制 御 機 能		
	除 霜		
	防 振 ・ 防 音 装 置		
	冷 媒 配 管	液 管	mm
	(外 径)	ガ ス 管	
	排 水 口		
	電 源 配 線	サ イ ズ	φ mm
	漏 電 シ ャ 断 器 (高 調 波 対 応 品)		A
	開 閉 器 又 は 配 線 用 シ ャ 断 器		
	ア ー ス 線	サ イ ズ	φ mm
設 計 法	室 内 外 ユ ニ ッ ト 接 続 配 線		φ mm
	計 圧 力		MPa
	定 冷 凍 能 力		トン
	I P コ ー ド		
	保 護 装 置		
	冷 房 時 フ ロ ス ト 防 止 , 過 負 荷 保 護 , 吐 出 温 度 保 護		

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2006およびJRA4048：2006条件により運転した値です。〔 ～ 〕は最小最大範囲幅を示します。
(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
(3) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を付けてください。
(4) 天井リターン仕様の場合は、標準機に対して機内圧力損失が低減するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。

必要な機外静圧 (Pa)	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90

- (5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.125kW〔ダクト機の場合、機外静圧設定により最大0.190kW(静圧100Pa)となります。〕

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台、室外ユニット：1台）〔FDRV-PHKP〕

セット形式			形式		FDRV P804HKPAG4AG	
項目					室内：FDRVXP404AG 室外：FDCVP804HKAG/A	
天井リターンキット					R-FL-2A	
リモートコントロール					RC-DX2	
電源					単相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格	kW	7.1 [3.2~8.0]		
		中間		3.2		
	暖房能力	定格標準		8.0 [3.6~10.0]		
		中間		3.6		
		定格低温		8.0		
定格冷房時の顕熱比					0.88	
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	11.6		
		暖房		11.3		
	始動電流（最大電流）			5(21)		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.27	
			中間		0.610	
		暖房	定格標準		2.16	
			中間		0.730	
	力		率	%	3.35	
	性	エネルギー	冷房		冷：98，暖：96	
		消費効率	暖房		定格：3.13，中間：5.25	
通年エネルギー消費効率		定格：3.70，中間：4.93				
運転音	室内ユニット		dB(A)	4.8		
	室外ユニット			P急：48，急：43，強：41，弱：38		
室内ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行			mm	(280+37) × 750 × 635	
	製品質量			kg	29	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			両吸込多翼遠心式（モータ直結）× 1	
		風量	m³/min		P急：13，急：10，強：9，弱：8	
	電動機	機外静圧	Pa		最小：15，最大：95（リモコンから設定） ⁽⁶⁾	
		定格出力	W		100	
	エアフィルタ				プラスチックネット（洗浄可能）	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200フレキシブルダクト×2スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mmフレキシブルダクト接続） 排気（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気）室温調節（電子サーモスタット） 表示（運転・点検用・LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器	補助電気ヒータ			－（組込不可能）	
		加湿器			－（気化式加湿器取付可能）	
	室外ユニット	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
外形寸法 高さ×幅×奥行			mm	750 × 880 (+88) × 340		
製品質量			kg	64		
圧縮機		形式・台数			RMT5118MCE1 × 1	
		電動機出力	kW		1.8	
空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式	
					電子膨張弁	
冷媒制御器					3.3 [R410A]（配管30m分封入済）	
					0.675 (M-MA68)	
冷媒封入量					軸流式（モータ直結）× 1	
					冷：60，暖：50	
冷凍機油封入量					86	
					20	
形式・台数					室外送風用電動機制御により外気温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁵⁾	
					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
風量				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管	液管	mm	室内分岐管：φ9.52（フレア接続），室外主管：φ9.52（フレア接続）		
		（外径）ガス管		室内分岐管：φ12.7（フレア接続），室外主管：φ15.88（フレア接続）		
	排水口			〔室内〕VP25の排水管の接続可能 〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ			mm²	□5.5 × 2本	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器または配線用しゃ断器				30	
	アース線サイズ			φmm	φ1.6	
	室内外ユニット接続配線			φmm	φ1.6 × 3本	
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21
法定冷凍能力					トン	0.73（届出不要）
IPコード						室内：IPX0，室外：IP24
保護装置						冷房時フロスト防止，過負荷保護，吐出温度保護

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2006およびJRA4048：2006条件により運転した値です。〔～〕は最小最大範囲幅を示します。

(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。

(3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と合わせて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。

(4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。

(5) 外気温度が－5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。

(6) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。

必要な機外静圧 (Pa)	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.06kW×2台〔ダクト機の場合，機外静圧設定において最大0.095kW（静圧95Pa）×2台となります。〕

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台、室外ユニット：1台）〔FDRVP-HP〕

セット形式				FDRVP804HPAG4AG	
形式				室内：FDRVXP404AG 室外：FDCVP804HAG/A	
項目					
天井リターンキット				R-FL-2A	
リモートコントローラ				RC-DX2	
電源				三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格	kW	7.1 [3.2～8.0]	
		中間		3.2	
	暖房能力	定格標準		8.0 [3.6～10.0]	
		中間		3.6	
		定格低温		9.0	
定格冷房時の顕熱比				0.88	
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	7.1	
		暖房		6.8	
	始動電流（最大電流）			5(16)	
	消費電力	冷房	定格	kW	2.23
			中間		0.620
		暖房	定格標準		2.11
			中間		0.710
	力		定格低温	3.76	
	性	エネルギー消費効率	冷房	%	冷：91，暖：90
		消費効率	暖房		定格：3.18，中間：5.16
					定格：3.79，中間：5.07
通年エネルギー消費効率				4.8	
運転音	室内ユニット		dB(A)	P急：48，急：43，強：41，弱：38	
	室外ユニット			冷：51，暖：48	
室内ユニット	外形寸法		高さ×幅×奥行	mm	(280+37)×750×635
	製品質量			kg	29
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	形式・台数				両吸込多翼遠心式（モータ直結）×1
	送風装置		風量	m³/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8
	機外静圧		Pa		最小：15，最大：95（リモコンから設定） ⁽⁶⁾
	電動機		定格出力	W	100
	エアフィルタ				プラスチックネット（洗浄可能）
	吹出ダクト接続口				前面（φ200フレキシブルダクト×2スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mmフレキシブルダクト接続） 排気（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続）
運転調整	操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気）室温調節（電子サーモスタット）				
	表示（運転・点検用・LED，液晶表示）				
	遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）				
	—（組込不可能）				
加湿補助電気ヒータ	—（気化式加湿器取付可能）				
	送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付				
室外ユニット	外形寸法		高さ×幅×奥行	mm	750×880(+88)×340
	製品質量			kg	64
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118MCE1×1
		電動機出力	kW		1.8
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	冷媒制御器				電子膨張弁
	冷媒封入量		kg		3.3 [R410A]（配管30m分封入済）
	冷凍機油封入量		ℓ		0.675 (M-MA68)
	送風装置		形式・台数		軸流式（モータ直結）×1
	風量		m³/min		冷：60，暖：50
運転調整	電動機		定格出力	W	86
	クラックケースヒータ		W		20
	室外送風用電動機制御により外気温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁵⁾				
	マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式				
防振・防音装置	圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付				
配管寸法	冷媒配管	液管	mm	室内分岐管：φ9.52（フレア接続），室外主管：φ9.52（フレア接続）	
	（外径）	ガス管		室内分岐管：φ12.7（フレア接続），室外主管：φ15.88（フレア接続）	
電気配線	排水口			〔室内〕VP25の排水管の接続可能	
	電源配線サイズ		φmm	〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A	φ2.0×3本	
	開閉器または配線用しゃ断器			30	
	アース線サイズ		φmm	20	
	室内外ユニット接続配線		φmm	φ1.6	
設計	圧力		MPa	φ1.6×3本	
	法定冷凍能力		トン	高圧部：4.15，低圧部：2.21	
IPコード				0.73（届出不要）	
				室内：IPX0，室外：IP24	
保護装置				冷房時フロスト防止，過負荷保護，吐出温度保護	

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2006およびJRA4048：2006条件により運転した値です。〔～〕は最小最大範囲幅を示します。

(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。

(3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。

(4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。

(5) 外気温度が－5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。

(6) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。

必要な機外静圧 (Pa)	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.06kW×2台〔ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）×2台となります。〕

(5) 高静圧ダクト形 (FDU)

冷暖房兼用機 (ヒータレス単相電源形) [FDUVP-HK]

セット形式				形式		FDUVP804HKAG4AG	
項目						室内：FDUVXP804AG 室外：FDCVP804HKAG/A	
リモートコントローラ						RC-DX2	
電源						単相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格標準	kW	7.1 [3.2～8.0]			
		中間		3.2			
	暖房能力	定格標準		8.0 [3.6～10.0]			
		中間		3.6			
	定格冷房時の顕熱比				0.83		
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	11.6			
		暖房		12.3			
	始動電流 (最大電流)		5(21)				
	消費電力	冷房	定格標準	kW	2.23		
			中間		0.680		
		暖房	定格標準		2.34		
			中間		0.640		
	力率	%			2.92		
	エネルギー消費効率	冷房		冷：96, 暖：95			
		暖房		定格：3.18, 中間：4.71			
暖房		定格：3.42, 中間：5.63					
通年エネルギー消費効率				4.8			
	室内ユニット		dB(A)	P 急：38, 急：33, 強：28, 弱：24			
室外ユニット		冷：51, 暖：48					
室内ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	280×950×635			
	製品質量		kg	34			
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式				
	形式・台数		両吸込多翼遠心式 (モータ直結) ×2				
	送風装置		m³/min	P 急：24, 急：19, 強：15, 弱：10			
	機外静圧 ⁽³⁾		Pa	最小：10, 最大：200 (リモコンから設定)			
	電動機定格出力		W	130			
	エアーフィルタ		－ (現地手配)				
	新鮮空気取入口		新鮮外気取入 (側面：φ125mmフレキシブルダクト接続) 排気 (側面：φ125mmフレキシブルダクト接続)				
	運転調整		操作 (運転切換, 風量調整, タイマ, 換気) 室温調節 (電子サーモスタット)				
ト	遠方発停用機能		遠方発停入力用コネクタ (CnT：6P, CnTA：2P) を保有 (室内基板上)				
	補助電気ヒータ		－ (組込不可能)				
	加湿器		－ (気化式加湿器取付可能)				
	防振装置・防音・断熱材		送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付				
	防振装置・防音・断熱材						
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	750×880(+88)×340			
	製品質量		kg	64			
	冷圧縮機	形式・台数	kW	RMT5118MCE1×1			
		電動機出力		1.8			
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式				
	冷媒制御器		電子膨張弁				
	冷媒封入量		kg	3.3 [R410A] (配管30mm分封入済)			
	冷凍機油封入量		ℓ	0.675 (M-MA68)			
	形式・台数		軸流式 (モータ直結) ×1				
	送風装置		m³/min	冷：60, 暖：50			
ト	電動機定格出力		W	86			
	クランクケースヒータ		W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能		室外送風用電動機制御により外気温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁴⁾				
	除霜		マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式				
	防振・防音装置		圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付				
配管寸法	冷媒配管 (外径)		mm	φ9.52 (フレア接続)			
	ガス管		φ15.88 (フレア接続)				
電気配線	排水口		〔室内〕 VP25の排水管の接続可能 〔室外〕 内径φ20mmの排水穴×3個				
	電源配線サイズ		mm²	□5.5×2本			
	漏電しゃ断器 (高調波対応品)		A	30			
	開閉器または配線用しゃ断器		φmm	30			
	アース線サイズ		φmm	φ1.6			
設計圧力	室内外ユニット接続配線		φmm	φ1.6×3本			
	MPa		高圧部：4.15, 低圧部：2.21				
法定冷凍能力	トン		0.73 (届出不要)				
	IPコード		室内：IPX0, 室外：IP24				
保護装置		冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護					

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2006およびJRA4048：2006条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 丸ダクト変換キット (U-UM-3A) を使用した場合の設定可能な機外静圧は 10 ~ 100Pa となります。
 (4) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.115kW [ダクト機の場合、機外静圧設定により最大0.250kW (静圧200Pa) となります。]

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDUVP-H〕

セット形式				FDUVP804HAG4AG		
項目				室内：FDUVXP804AG 室外：FDCVP804HAG/A		
リモートコントローラ				RC-DX2		
電源				三相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格	kW	7.1 [3.2～8.0]		
		中間		3.2		
	暖房能力	定格標準		8.0 [3.6～10.0]		
		中間		3.6		
		定格低温	8.1			
定格冷房時の顕熱比				0.83		
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	7.1		
		暖房		7.5		
	始動電流（最大電流）		5(16)			
	消費電力	冷房	定格	kW	2.23	
中間			0.680			
暖房		定格標準	2.34			
		中間	0.640			
		定格低温	2.92			
力率				%		
エネルギー		冷房	冷：91，暖：90			
消費効率		暖房	定格：3.18，中間：4.71			
通年エネルギー消費効率		定格：3.42，中間：5.63				
		4.8				
運転音	室内ユニット		dB(A)	P急：38，急：33，強：28，弱：24		
	室外ユニット			冷：51，暖：48		
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	280×950×635		
	製品質量		kg	34		
	空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式				
	形式・台数	両吸込多翼遠心式（モータ直結）×2				
送風装置	風量		m³/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10		
	機外静圧 ⁽³⁾		Pa	最小：10，最大：200（リモコンから設定）		
	電動機	定格出力	W	130		
	エアフィルタ	－（現地手配）				
二ツト	新鮮空気取入口			新鮮外気取入（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続） 排気（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続）		
	運転調整			操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気）室温調節（電子サーモスタット） 表示（運転・点検用・LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能			遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿補助電気ヒータ			－（組込不可能）		
加湿器	加湿器			－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材			送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
	室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	750×880(+88)×340	
		製品質量		kg	64	
圧縮機		形式・台数		RMT5118MCE1×1		
		電動機出力	kW	1.8		
冷却装置	空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式				
	冷媒制御器	電子膨張弁				
	冷媒封入量	kg	3.3 [R410A]（配管30m分封入済）			
	冷凍機油封入量	ℓ	0.675 (M-MA68)			
二ツト	形式・台数		m³/min	軸流式（モータ直結）×1		
	風量			冷：60，暖：50		
	電動機	定格出力	W	86		
	クランクケースヒータ	W	20			
二ツト	低外気温時冷房運転制御機能			室外送風用電動機制御により外気温温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁴⁾		
	除霜			マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置			圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
	配管寸法	冷媒配管（外径）	液管	mm	φ9.52（フレア接続）	
ガス管			φ15.88（フレア接続）			
排水口		〔室内〕VP25の排水管の接続可能 〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個				
電源配線サイズ		φmm	φ2.0×3本			
電気配線	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A	30		
	開閉器または配線用しゃ断器			20		
	アース線サイズ		φmm	φ1.6		
	室内外ユニット接続配線		φmm	φ1.6×3本		
設計圧力				MPa		
法定冷凍能力				トン		
IPコード				室内：IPX0，室外：IP24		
保護装置				冷房時フロスト防止，過負荷保護，吐出温度保護		

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2006およびJRA4048：2006条件により運転した値です。〔～〕は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 丸ダクト変換キット（U-UM-3A）を使用した場合の設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。
 (4) 外気温度が－5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.115KW〔ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.250kW（静圧200Pa）となります。〕

■丸ダクト仕様（オプション）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDUVP-HK〕

セット形式			FDUVP804HKAG4AG		
項目			室内：FDUVXP804AG 室外：FDCVP804HKAG/A		
丸ダクト変換キット			U-UM-3A		
リモートコントロール			RC-DX2		
電源			単相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格	7.1 [3.2～8.0]		
		中間	3.2		
	暖房能力	定格標準	8.0 [3.6～10.0]		
		中間	3.6		
		定格低温	8.0		
定格冷房時の顕熱比			0.83		
(1)運転特性	運転電流	冷房	11.6		
		暖房	12.3		
	始動電流（最大電流）		5(21)		
	消費電力	冷房	定格	2.23	
			中間	0.680	
			定格標準	2.34	
	力	暖房	中間	0.640	
			定格低温	2.92	
		率		%	
	エネルギー消費効率		冷	96, 暖：95	
消費効率		暖房	定格：3.18, 中間：4.71		
年間エネルギー消費効率			定格：3.42, 中間：5.63		
運転音	室内ユニット	dB(A)		P 急：39, 急：34, 強：29, 弱：25	
	室外ユニット			冷：51, 暖：48	
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	280×950×635	
	製品質量		kg	34	
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
	送風機形式・台数			両吸込多翼遠心式（モータ直結）×2	
	風量		m³/min	P 急：24, 急：19, 強：15, 弱：10	
	機外静圧		Pa	最小：10, 最大：100（リモコンから設定） ⁽⁴⁾	
	電動機定格出力		W	130	
	エアフィルタ			－（現地手配）	
	吹出ダクト接続口			前面（φ200フレキシブルダクト×3スポット接続）	
	新鮮空気取入口			新鮮外気取入（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続） 排気（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続）	
運転調整	運転調整			操作（運転切換、風量調整、タイマ、換気）室温調節（電子サーモスタット） 表示（運転・点検用・LED、液晶表示）	
	遠方発停用機能			遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P、CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿補助電気ヒータ			－（組込不可能）	
	加湿器			－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材			送風用電動機：防振ゴム、外板：吸音断熱材貼付	
	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	750×880(+88)×340	
	製品質量		kg	64	
	圧縮機形式・台数			RMT5118MCE1×1	
	電動機出力		kW	1.8	
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
室外ユニット	冷媒制御器			電子膨張弁	
	冷媒封入量		kg	3.3 [R410A]（配管30m分封入済）	
	冷凍機油封入量		ℓ	0.675 (M-MA68)	
	送風機形式・台数			軸流式（モータ直結）×1	
	風量		m³/min	冷：60, 暖：50	
	電動機定格出力		W	86	
	クランクケースヒータ		W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能			室外送風用電動機制御により外気温温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾	
	除霜			マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置			圧縮機：防振ゴム、吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管	mm	φ9.52（フレア接続）	
	ガス配管			φ15.88（フレア接続）	
電気配線	排水口			〔室内〕VP25の排水管の接続可能 〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
	電源配線サイズ		mm²	□5.5×2本	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A	30	
	開閉器または配線用しゃ断器			30	
	アース線サイズ		φmm	φ1.6	
	室内外ユニット接続配線		φmm	φ1.6×3本	
設計	圧力	MPa		高圧部：4.15, 低圧部：2.21	
	法定冷凍能力	トン		0.73（届出不要）	
I Pコード				室内：IPX0, 室外：IP24	
	保護装置			冷房時フロスト防止、過負荷保護、吐出温度保護	

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2006およびJRA4048：2006条件により運転した値です。〔～〕は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (4) 丸ダクト変換キットを使用する場合は、標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。

必要な機外静圧 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定 (Pa)	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.115kW〔ダクト機の場合、機外静圧設定により最大0.250kW（静圧100Pa）となります。〕

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDUVP-H〕

セット形式				FDUVP804HAG4AG		
形式				室内：FDUVXP804AG 室外：FDCVP804HAG/A		
項目				U-UM-3A		
丸ダクト変換キット				RC-DX2		
リモートコントローラ				三相 200V 50/60Hz		
電源				7.1 [3.2~8.0]		
(1)能力	冷房能力	定格	kW	3.2		
		中間		8.0 [3.6~10.0]		
	暖房能力	定格標準		3.6		
		中間		8.1		
定格冷房時の顕熱比			0.83			
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	7.1		
		暖房		7.5		
	始動電流（最大電流）		5(16)			
	消費電力	冷房	定格	kW	2.23	
			中間		0.680	
		暖房	定格標準		2.34	
			中間		0.640	
	力率			2.92		
	エネルギー消費効率	冷房	率	%	冷：91，暖：90	
			暖房		定格：3.18，中間：4.71	
通年エネルギー消費効率		定格：3.42，中間：5.63				
運転音	室内ユニット	dB(A)	4.8			
	室外ユニット		P急：39，急：34，強：29，弱：25 冷：51，暖：48			
室内ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	280×950×635		
	製品質量		kg	34		
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数		両吸込多翼遠心式（モータ直結）×2		
		風量	m³/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10		
	機外静圧	Pa	最小：10，最大：100（リモコンから設定） ⁽⁴⁾			
		電動機定格出力	W	130		
	工アフィルタ			－（現地手配）		
	吹出ダクト接続口			前面（φ200フレキシブルダクト×3スポット接続）		
	新鮮空気取入口			新鮮外気取入（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続） 排気（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続）		
	運転調整			操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気）室温調節（電子サーモスタート） 表示（運転・点検用・LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能			遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿補助電気ヒータ			－（組込不可能）		
				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材			送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	750×880(+88)×340		
	製品質量		kg	64		
	圧縮機	形式・台数	kW	RMT5118MCE1×1		
		電動機出力		1.8		
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
	冷媒制御器			電子膨張弁		
	冷媒封入量	kg	3.3 [R410A]（配管30m分封入済）			
		冷凍機油封入量	ℓ	0.675 (M-MA68)		
	送風装置	形式・台数		軸流式（モータ直結）×1		
		風量	m³/min	冷：60，暖：50		
電動機	電動機定格出力	W	86			
	クランクケースヒータ	W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能		室外送風用電動機制御により外気温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾			
	除霜		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置		圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管 ガス管	mm	φ9.52（フレア接続）		
				φ15.88（フレア接続）		
排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能 〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ		φmm	φ2.0×3本		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A	30		
	開閉器または配線用しゃ断器			20		
	アース線サイズ		φmm	φ1.6		
	室内外ユニット接続配線		φmm	φ1.6×3本		
設計圧力		MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21			
法定冷凍能力		トン	0.73（届出不要）			
IPコード			室内：IPX0，室外：IP24			
保護装置			冷房時フロスト防止，過負荷保護，吐出温度保護			

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2006およびJRA4048：2006条件により運転した値です。〔～〕は最小最大範囲幅を示します。
(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
(3) 外気温度が－5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。
(4) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。

必要な機外静圧 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定 (Pa)	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

- (5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.115KW〔ダクト機の場合，機外静圧設定により0.250kW（静圧100Pa）となります。〕

(6) 天吊形 (FDE)

冷暖房兼用機 (ヒータレス単相電源形) (FDEV-P-HK)

セット形式		形式	
項目		FDEV-P804HKAG4	
リモートコントロール		RC-DX2, RC-D4G	
電源		室内: FDEVXP804 室外: FDCVP804HKAG/A	
(1) 能力	冷房能力	定格標準	7.1 [1.78~8.0]
		中間	3.2
	暖房能力	定格標準	8.0 [2.0~10.0]
		中間	3.6
	定格低温		8.0
定格冷房時の顕熱比			0.74
(1) 運転特性	運転電流	冷房	11.3
		暖房	11.3
	始動電流 (最大電流)		5(19)
	消費電力	冷房	2.15
		中間	0.610
		定格標準	2.06
		暖房	0.690
		中間	3.27
		定格低温	
	力率	%	冷: 98, 暖: 94
エネルギー消費効率	冷房	定格	3.30, 中間: 5.25
		暖房	定格: 3.88, 中間: 5.22
	通年エネルギー消費効率		4.9
運転音	室内ユニット		P 急: 50, 急: 39, 強: 36, 弱: 33
	室外ユニット		冷: 51, 暖: 48
室内ユニット	外形寸法 (高さ×幅×奥行)		210×1320×690
	製品質量		33
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数	両吸込多翼遠心式 (モータ直結) ×4
		風量	P 急: 22, 急: 15, 強: 12.5, 弱: 10
	機外静圧 (標準風量時)		0
	電動機定格出力		55
	工アフィルタ		プラスチックネット (洗浄可能)
	吹出ダクト接続口		不可能
	新鮮空気取入口		不可能
	運転調整		操作 (運転切換, 風量調整, タイマ, 換気, グリル昇降)
	遠方発停用機能		室温調節 (電子サーモスタット) 表示 (運転・点検用・LED, 液晶表示)
	遠方発停入力用コネクタ (CnT: 6P, CnTA: 2P) を保有 (室内基板上)		
	加湿器		— (組込不可能)
	防振装置・防音・断熱材		— (気化式加湿器取付可能)
室外ユニット	外形寸法 (高さ×幅×奥行)		750×880(+88)×340
	製品質量		64
	圧縮機	形式・台数	RMT5118MCE1×1
		電動機出力	1.8
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式
	冷媒制御器		電子膨張弁
	冷媒封入量		3.3 [R410A] (配管30m分封入済)
	冷凍機油封入量		0.675 (M-MA68)
	送風装置	形式・台数	軸流式 (モータ直結) ×1
		風量	冷: 60, 暖: 50
	電動機定格出力		86
	クランクケースヒータ		20
	低外気温時冷房運転制御機能		室外送風用電動機制御により外気温-15℃~43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾
	除霜		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式
	防振・防音装置		圧縮機: 防振ゴム, 吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管 (外径)	液管	φ9.52 (フレア接続)
		ガス管	φ15.88 (フレア接続)
	排水口		[室内] VP20の排水管の接続可能 [室外] 内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ		□5.5×2本
	漏電しゃ断器 (高調波対応品)		30
		開閉器または配線用しゃ断器	30
	アース線サイズ		φ1.6
	室内外ユニット接続配線		φ1.6×3本
設計圧力		MPa	高压部: 4.15, 低压部: 2.21
法定冷凍能力		トン	0.73 (届出不要)
IPコード			室内: IPX0, 室外: IP24
保護装置			冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616: 2006およびJRA4048: 2006条件により運転した値です。[~]は最小最大範囲幅を示します。

(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。

(3) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。

(4) BEST 計算用 室内送風機消費電力 (50/60Hz): 0.07/0.07kW

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDEVP-H〕

セット形式				FDEVP804HAG4		
形式				室内：FDEVXP804 室外：FDCVP804HAG/A		
リモートコントローラ				RC-DX2, RC-D4G		
電源				三相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格	kW	7.1 [1.78～8.0]		
		中間		3.2		
	暖房能力	定格標準		8.0 [2.0～10.0]		
		中間		3.6		
	定格低温				8.1	
定格冷房時の顕熱比				0.74		
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	6.9		
		暖房		6.6		
	始動電流（最大電流）		5(13)			
	消費電力	冷房	定格	kW	2.08	
			中間		0.580	
		暖房	定格標準		1.98	
			中間		0.650	
	定格低温			3.19		
	力率			%	冷：91, 暖：90	
		エネルギー消費効率		冷房	定格：3.41, 中間：5.52	
		暖房	定格：4.04, 中間：5.54			
通年エネルギー消費効率				5.2		
	運転音				P 急：50, 急：39, 強：36, 弱：33	
室内ユニット	室内ユニット		dB(A)	冷：51, 暖：48		
	室外ユニット					
	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm	210×1320×690		
	製品質量		kg	33		
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数		両吸込多翼遠心式（モータ直結）×4		
		風量	m³/min	P 急：22, 急：15, 強：12.5, 弱：10		
	機外静圧（標準風量時）	Pa	0			
	電動機	定格出力	W	55		
	エアフィルタ			プラスチックネット（洗浄可能）		
吹出ダクト接続口			不可能			
新鮮空気取入口			不可能			
運転調整	遠方発停用機能		操作（運転切換, 風量調整, タイマ, 換気, グリル昇降）			
	加湿器		室温調節（電子サーモスタット）表示（運転・点検用・LED, 液晶表示）			
	補助電気ヒータ		遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器		－（組込不可能）			
	防振装置・防音・断熱材		－（気化式加湿器取付可能）			
			送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	750×880(+88)×340		
	製品質量		kg	64		
	冷媒	形式・台数		RMT5118MCE1×1		
		電動機出力	kW	1.8		
	空気熱交換器	冷媒制御器		アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒封入量	kg	電子膨張弁		
	冷凍機油封入量	冷媒	kg	3.3 [R410A]（配管30m分封入済）		
		冷凍機油封入量	ℓ	0.675 (M-MA68)		
	送風装置	形式・台数		軸流式（モータ直結）×1		
		風量	m³/min	冷：60, 暖：50		
電動機		定格出力	W	86		
クランクケースヒータ		W	20			
低外気温時冷房運転制御機能		室外送風用電動機制御により外気温温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾				
霜除		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式				
配管寸法	防振・防音装置		圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付			
	冷媒配管	液管	mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管		φ15.88（フレア接続）		
	排水口		〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個			
	電源配線サイズ		φmm	φ2.0×3本		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）	冷	A	30		
		開閉器または配線用しゃ断器	暖	20		
	アース線サイズ	冷	φmm	φ1.6		
		室内外ユニット接続配線	φmm	φ1.6×3本		
	設計圧力			MPa	高圧部：4.15, 低圧部：2.21	
法定冷凍能力		トン	0.73（屈出不要）			
IPコード				室内：IPX0, 室外：IP24		
	保護装置			冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護		

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2006およびJRA4048：2006条件により運転した値です。〔～〕は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
 (3) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。
 (4) BEST 計算用 室内送風機消費電力（50/60Hz）：0.07/0.07kW

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台、室外ユニット：1台）〔FDEVP-HKP〕

セット形式				FDEVP804HKPAG4		
形式				室内：FDEVXP404 室外：FDCVP804HKAG/A		
項目				RC-DX2, RC-D4G		
リモートコントローラ				単相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格	kW	7.1 [1.78～8.0]		
		中間		3.2		
	暖房能力	定格標準		8.0 [2.0～10.0]		
		中間		3.6		
		定格低温		8.0		
定格冷房時の顕熱比				0.77		
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	11.8		
		暖房		11.6		
	始動電流（最大電流）		5(19)			
	消費電力	冷房	定格	kW	2.10	
			中間		0.550	
		暖房	定格標準		2.08	
			中間		0.675	
			定格低温	3.23		
	力率			%	冷：91, 暖：92	
	エネルギー消費効率			冷房	定格：3.38, 中間：5.82	
			暖房	定格：3.85, 中間：5.33		
通年エネルギー消費効率				5.2		
運転音	室内ユニット		dB(A)	P 急：47, 急：38, 強：36, 弱：32		
	室外ユニット			冷：51, 暖：48		
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm	210×1070×690		
	製品質量		kg	28		
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数		両吸込多翼遠心式（モータ直結）×2		
		風量	m³/min	P 急：13, 急：10, 強：9, 弱：7		
	機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
	電動機定格出力		W	30		
	エアフィルタ			プラスチックネット（洗浄可能）		
	吹出ダクト接続口			不可能		
	新鮮空気取入口			不可能		
ユニット	運転調整			操作（運転切換, 風量調整, タイマ, 換気, グリル昇降）		
	遠方発停用機能			室温調節（電子サーモスタット）表示（運転・点検用・LED, 液晶表示）		
	加温補助電気ヒータ			遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器			－（組込不可能）		
	加湿器			－（気化式加湿器取付可能）		
室外ユニット	防振装置・防音・断熱材			送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付		
	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm	750×880(+88)×340		
	製品質量		kg	64		
	冷圧縮機	形式・台数		RMT5118MCE1×1		
		電動機出力	kW	1.8		
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
	冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量	kg	3.3 [R410A]（配管30m分封入済）		
	冷凍機油封入量			0.675 (M-MA68)		
		形式・台数		軸流式（モータ直結）×1		
送風装置		風量	m³/min	冷：60, 暖：50		
電動機		定格出力	W	86		
クランクケースヒータ			W	20		
ユニット	低外気温時冷房運転制御機能			室外送風用電動機制御により外気温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁵⁾		
	除霜			マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置			圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管	mm	室内分岐管：φ9.52（フレア接続）, 室外主管：φ9.52（フレア接続）		
	ガス管			室内分岐管：φ12.7（フレア接続）, 室外主管：φ15.88（フレア接続）		
排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能 〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ		mm²	□ 5.5×2本		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A	30		
	開閉器または配線用しゃ断器			30		
	アース線サイズ		φmm	φ1.6		
	室内外ユニット接続配線		φmm	φ1.6×3本		
設計圧力			MPa	高压部：4.15, 低压部：2.21		
法定冷凍能力			トン	0.73（届出不要）		
IPコード				室内：IPX0, 室外：IP24		
保護装置				冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護		

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2006およびJRA4048：2006条件により運転した値です。〔～〕は最小最大範囲幅を示します。
(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
(3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
(4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。
(5) 外気温度が－5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。
(6) BEST 計算用 室内送風機消費電力（50/60Hz）：0.05/0.05kW×2台

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDEVP-HP〕

セット形式		FDEVP804HPAG4	
項目		形式	
リモートコントロール		室内：FDEVXP404 室外：FDCVP804HAG/A	
電源		RC-DX2, RC-D4G 三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格	7.1 [1.78～8.0]
		中間	3.2
	暖房能力	定格標準	8.0 [2.0～10.0]
		中間	3.6
定格冷房時の顕熱比		定格低温	9.0
			0.77
(1)運転特性	運転電流	冷房	6.5
		暖房	6.8
	始動電流（最大電流）		5(13)
	消費電力	冷房	2.00
		中間	0.530
		暖房	2.05
		中間	0.645
		定格低温	3.63
力率			%
エネルギー消費効率		冷房	冷：91，暖：90
		暖房	定格：3.55，中間：6.04
通年エネルギー消費効率			定格：3.90，中間：5.58
室内ユニット			5.3
室外ユニット			P急：47，急：38，強：36，弱：32
			冷：51，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	mm	210×1070×690
	製品質量	kg	28
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置		両吸込多翼遠心式（モータ直結）×2
二ツト	機外静圧（標準風量時）	Pa	P急：13，急：10，強：9，弱：7
	電動機定格出力	W	0
	エアフィルタ		30
	吹出ダクト接続口		プラスチックネット（洗浄可能）
新鮮空気取入口			不可能
			不可能
	運転調整		操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降）
	遠方発停用機能		室温調節（電子サーモスタット）表示（運転・点検用・LED，液晶表示）
加湿器	補助電気ヒータ		遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器		—（組込不可能）
	加湿器		—（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材		送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	mm	750×880(+88)×340
	製品質量	kg	64
	圧縮機形式・台数		RMT5118MCE1×1
	電動機出力	kW	1.8
二ツト	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式
	冷媒制御器		電子膨張弁
	冷媒封入量	kg	3.3 [R410A]（配管30m分封入済）
	冷凍機油封入量	ℓ	0.675 (M-MA68)
送風装置	形式・台数		軸流式（モータ直結）×1
	送風量	m³/min	冷：60，暖：50
	電動機定格出力	W	86
	クランクケースヒータ	W	20
防霜装置	低外気温時冷房運転制御機能		室外送風用電動機制御により外気温－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁵⁾
	除霜		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式
	防振・防音装置		圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管 ガス管	mm
			室内分岐管：φ9.52（フレア接続），室外主管：φ9.52（フレア接続）
			室内分岐管：φ12.7（フレア接続），室外主管：φ15.88（フレア接続）
	排水口		〔室内〕VP20の排水管の接続可能 〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ	φmm	φ2.0×3本
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		30
	開閉器または配線用しゃ断器	A	20
	アース線サイズ	φmm	φ1.6
設計法定IPコード	室内外ユニット接続配線	φmm	φ1.6×3本
	設計圧力	MPa	高压部：4.15，低压部：2.21
	法定冷凍能力	トン	0.73（届出不要）
	IPコード		室内：IPX0，室外：IP24
保護装置			冷房時フロスト防止，過負荷保護，吐出温度保護

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2006およびJRA4048：2006条件により運転した値です。〔～〕は最小最大範囲幅を示します。
(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
(3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
(4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。
(5) 外気温が－5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフロアアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。
(6) BEST 計算用 室内送風機消費電力（50/60Hz）：0.05/0.05kW×2台

(7) 天吊耐油形 (FDES)

冷暖房兼用機 (ヒータレス形) [FDESVP-HK]

セット形式				FDESVP804HKAG4		
形式				室内：FDESVP804 室外：FDCVP804HKAG/A		
リモートコントロール				RC-DX2, RC-D4G		
電 (1)能力	冷房能力	源 格	kW	単相 200V 50/60Hz		
		中 間		7.1[2.7～8.0]		
		最 少 中 温		3.2(中温:3.4)		
	暖房能力	定 格 標 準		2.7		
		中 間		8.0[2.1～10.0](最小:2.1)		
		最 大 低 温		3.6		
	定 格 冷 房 時 の 顕 熱 比			7.9		
(1)運 転 特 性	運 転 電 流	冷 房	A	0.91/0.94		
		暖 房		11.6/11.2		
	始 動 電 流 (最 大 電 流)		10.4/9.8			
	消 費 電 力	冷 房	kW	5(13)		
				中 間	2.14/2.13	
		暖 房		0.742/0.770(中温:0.679/0.710)		
				最 少 中 温	0.582/0.590	
	力 率	冷 房	%	2.00/1.93(最小:0.516/0.520)		
				中 間	0.706/0.710	
		暖 房		3.02/2.87		
最 大 低 温				冷:92/95, 暖:96/98		
エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率	冷 房		定格:3.32/3.33, 中間:4.31/4.16			
			暖 房	定格:4.00/4.15, 中間:5.10/5.07		
	通 年 エ ネ ル ギ ー (2 0 0 6)		4.6			
	消 費 効 率 (2 0 1 5)		4.4/4.3			
運 転 音	室 内 ユ ニ ッ ト	音 圧	dB(A)	冷:急 50/54, 弱 47/49, 暖:急 51/54, 弱 48/49		
	室 外 ユ ニ ッ ト	レ ベ ル		冷:急 65/69, 弱 63/65, 暖:急 66/69, 弱 63/65		
	音 圧	冷:51, 暖:48				
	レ ベ ル	66				
室 内 ユ ニ ツ ト	外形寸法(高さ×幅×奥行)		mm	295×1540×695		
	製 品 質 量		kg	66		
	送 風 装 置	空 気 熱 交 換 器		アルミフィン&銅チューブ式		
		形 式 ・ 台 数		両吸込多翼遠心式(モータ直結)× 2		
		風 量	m³/min	急:30/35, 弱:27/29		
	電 動 機	機 外 静 圧 (標 準 風 量 時)	Pa	0		
		電 動 機 定 格 出 力	W	70×2		
	二 ツ ト	エ ア フ ィ ル タ			アルミ製オイルミストフィルタ	
		吹 出 ダ ク ト 接 続 口			前面(φ125mm スポットダクト×2箇所, 1m)[品番SAD-10B(オプション)]	
		新 鮮 空 気 取 入 口			新鮮空気取入(背面:φ150mm フレキシブルダクト×2か所)	
運 転 調 整			操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気), 室温調節(電子サーモスタット), 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)			
遠 方 発 停 用 機 能			遠方発停入力用コネクタ(CnT:6P)を保有(室内基板上)			
加 湿 器			—(組込不可能)			
室 外 ユ ニ ツ ト	防 振 装 置 ・ 防 音 ・ 断 熱 材			送風用電動機:防振ゴム, 外板:吸音断熱材貼付		
	外形寸法(高さ×幅×奥行)		mm	750×880(+88)×340		
	製 品 質 量		kg	64		
	冷 却 装 置	圧 縮 機	形 式 ・ 台 数	RMT5118MCE1×1		
		空 気 熱 交 換 器	電 動 機 出 力	kW	1.8	
			冷 媒 制 御 器		アルミフィン&銅チューブ式	
	二 ツ ト	冷 媒 封 入 量	kg	電子膨張弁		
		冷 凍 機 油 封 入 量	ℓ	3.3(R410A)[配管30m分封入済]		
	送 風 装 置	形 式 ・ 台 数		0.675(M-MA68)		
		風 量	m³/min	軸流式(モータ直結)× 1		
電 動 機 定 格 出 力		W	冷:60, 暖:50			
		ク ラ ン ク ケ ー ス ヒ ー タ	W	86		
低 外 気 温 時 冷 房 運 転 制 御 機 能		除 霜		20		
		防 振 ・ 防 音 装 置		室外送風用電動機制御及び圧縮機制御により外気温度-15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽²⁾		
配 管 寸 法	冷 媒 配 管 (外 径)	mm	マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式			
	液 管		圧縮機:防振ゴム, 吸音断熱材巻付			
電 気 配 線	排 水 口		φ9.52(フレア接続)			
	電 源 配 線 サ イ ズ	mm²	φ15.88(フレア接続)			
		漏 電 し ゃ 断 器 (高 調 波 対 応 品)	A	〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
	開 閉 器 ま た は 配 線 用 し ゃ 断 器		□5.5×2本			
	ア ー ス 線 サ イ ズ	φmm	30			
	室 内 外 ユ ニ ッ ト 接 続 配 線	φmm	30			
設 計	計 圧 力	MPa	φ1.6			
	法 定 冷 凍 能 力	トン	φ1.6×3本			
I P コ ー ド			高圧部:4.15, 低圧部:2.21			
			0.73(届出不要)			
保 護 装 置			室内:IP20, 室外:IP24			
			冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護			

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616:2006およびJRA4048:2006条件により運転した値です。[~]は最少最大範囲幅を示します。
 通年エネルギー消費効率(2006)は, JIS B 8616:2006条件, (2015)は, JRA4002:2013条件に基づいた値。運転音のパワーレベルは, JRA4065:2013
 条件に基づいた値です。なお結露防止ヒータはOFF時の値です。(出荷時未接続)
 (2) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合, フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。
 (3) BEST計算用 室内送風機消費電力(50/60Hz):0.20/0.23kW

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDESVP-H〕

セット形式				FDESVP804HAG4	
形式				室内：FDESVP804 室外：FDCVP804HAG/A	
リモートコントローラ				RC-DX2, RC-D4G	
電源				三相 200V 50/60Hz 7.1[2.7～8.0] 3.2(中温:3.4) 2.7 8.0[2.1～10.0](最小:2.1) 3.6 7.9	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	
		中間			
	暖房能力	最少中温			
		定格標準			
中間				3.6	
最大低温				7.9	
定格冷房時の顕熱比				0.91/0.94	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	
		暖房			
	始動電流(最大電流)				
	消費電力	冷房	定格		kW
			中間		
		暖房	最少中温		
			定格標準		
	中間				0.722/0.750(中温:0.657/0.699) 0.560/0.580 1.90/1.84(最小:0.486/0.507) 0.678/0.686 2.90/2.75
	最大低温				2.07/2.06
	性能	力率		%	
エネルギー消費効率					
冷房					
暖房					
運転音	通年エネルギー消費効率(2006)		dB(A)		
	通年エネルギー消費効率(2015)				
	室内ユニット				
	室外ユニット				
室内ユニット	音圧レベル		dB(A)		
	音圧レベル				
	音圧レベル				
	音圧レベル				
	音圧レベル				
	音圧レベル				
	音圧レベル				
	音圧レベル				
	音圧レベル				
	音圧レベル				
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)		mm		
	製品質量				
	kg				
	空気熱交換器				
	形式・台数				
	送風量				
	m³/min				
	機外静圧(標準風量時)				
	Pa				
	電動機定格出力				
W					
室外ユニット	エアーフィルタ		W		
	70×2				
	アルミ製オイルミストフィルタ				
	前面(φ125mm スポットダクト×2箇所, 1m)[品番SAD-10B(オプション)]				
	新鮮空気取入(背面:φ150mm フレキシブルダクト×2か所)				
	操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気), 室温調節(電子サーモスタット), 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)				
	遠方発停入力用コネクタ(CnT:6P)を保有(室内基板上)				
	一(組込不可能)				
	送風用電動機:防振ゴム, 外板:吸音断熱材貼付				
	750×880(+88)×340				
室外ユニット	64		kW		
	RMT5118MCE1×1				
	1.8				
	アルミフィン&銅チューブ式				
	電子膨張弁				
	3.3(R410A)[配管30m分封入済]				
	0.675(M-MA68)				
	軸流式(モータ直結)×1				
	冷:60, 暖:50				
	86				
室外ユニット	20		W		
	室外送風用電動機制御及び圧縮機制御により外気温度-15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽²⁾				
	マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式				
	圧縮機:防振ゴム, 吸音断熱材巻付				
	φ9.52(フレア接続)				
	φ15.88(フレア接続)				
	〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個				
	φ2.0×3本				
	30				
	20				
電気配線	φmm		φmm		
	φ1.6				
	φ1.6×3本				
	φmm				
設計圧力	MPa		MPa		
	高圧部:4.15, 低圧部:2.21				
	0.73(届出不要)				
	室内:IP20, 室外:IP24				
保護装置	冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護				

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616:2006およびJRA4048:2006条件により運転した値です。[~]は最少最大範囲幅を示します。
 通年エネルギー消費効率(2006)は、JIS B 8616:2006条件、(2015)は、JRA4002:2013条件に基づいた値。運転音のパワーレベルは、JRA4065:2013条件に基づいた値です。なお結露防止ヒータはOFFの値です。(出荷時未接続)
 (2) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。
 (3) BEST計算用 室内送風機消費電力(50/60Hz):0.20/0.23kW

(8) 壁掛形 (FDK・FDKN)

冷暖房兼用機(ヒータレス単相電源形)〔FDK(N)VP-HK〕

セット形式				FDKVP804HKAG3AG		FDKNVP804HKAG3AG	
形式				室内：FDKVXP803AG 室外：FDCVP804HKAG/A		室内：FDKVXP803AG 室外：FDCVP804HKAG/A	
リモートコントローラ				RC-DX2, RC-D4G		RCN-D3G	
電源				単相 200V 50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格	kW	7.1 [3.2～8.0]			
		中間		3.2			
	暖房能力	定格標準		8.0 [3.6～10.0]			
		中間		3.6			
定格冷房時の顕熱比				8.0			
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	0.81			
		暖房		11.0			
	始動電流（最大電流）		13.2				
	消費電力	冷房	定格	5 (19)			
			中間	2.14			
		暖房	定格標準	0.588			
			中間	2.47			
	力率			0.685			
	エネルギー消費効率			3.55			
	通年エネルギー消費効率			冷：97, 暖：94			
運転音	室内ユニット ⁽²⁾		dB(A)	定格：3.32, 中間：5.44			
	室外ユニット			定格：3.24, 中間：5.26			
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm	4.8			
	製品質量		kg	P急：47, 急：45, 強：42, 弱：39			
	空気熱交換器			冷：51, 暖：48			
	送風装置	形式・台数		318×1098×248			
		風量 ⁽²⁾	m³/min	18			
	機外静圧（標準風量時）		Pa	アルミフィン&銅チューブ式			
	電動機	定格出力	W	横断流式（モータ直結）×1			
		エアフィルタ		P急：24, 急：21, 強：18, 弱：15			
	吹出ダクト接続口			0			
	新鮮空気取入口			40			
	運転調整			プラスチックネット（洗浄可能）			
	遠方発停用機能			－			
	加湿器	補助電気ヒータ			不可能		
		加湿器			操作（運転切換, 風量調整, タイマ, 換気）		
防振装置・防音・断熱材			室温調節（電子サーモスタット）表示（運転・点検用・LED, 液晶表示）				
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	遠方発停用入力用コネクタ（CnT：6P）を保有（室内基板上）			
	製品質量		kg	－（組込不可能）			
	冷媒圧縮機	形式・台数		－（組込不可能）			
		電動機出力	kW	送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付			
	空気熱交換器			750×880(+88)×340			
	冷媒制御器			64			
		冷媒封入量	kg	RMT5118MCE1×1			
	冷凍機油封入量		ℓ	1.8			
		形式・台数		アルミフィン&銅チューブ式			
	送風装置	風量	m³/min	電子膨張弁			
		電動機	定格出力	W	3.3 [R410A]（配管30m分封入済）		
	クランクケースヒータ		W	0.675 (M-MA68)			
	(1)運転特性	低外気温時冷房運転制御機能			軸流式（モータ直結）×1		
		霜除			冷：60, 暖：50		
防振・防音装置			86				
			20				
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管	mm	室外送風用電動機制御により外気温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾			
		ガス管		マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	排水口			圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付			
	電源配線サイズ		mm²	φ9.52（フレア接続）			
電気配線	漏電しゃ断器（高調波対応品）			φ15.88（フレア接続）			
	開閉器または配線用しゃ断器		A	〔室内〕VP16の排水管の接続可能 〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個			
	アース線サイズ		φmm	□5.5×2本			
	室内外ユニット接続配線		φmm	30			
設計法	設計圧力		MPa	30			
	法定冷凍能力		トン	φ1.6			
	IPコード			φ1.6×3本			
	保護装置			高圧部：4.15, 低圧部：2.21			
				0.73（届出不要）			
				室内：IPX0, 室外：IP24			
				冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護			

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616：2006 および JRA4048：2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。

(2) ワイヤレス機 (FDKN) は風量の設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。

(3) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。

(4) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.08kW

冷暖房兼用機(ヒータレス形)〔FDK(N)VP-H〕

セット形式				FDKVP804HAG3AG		FDKNVP804HAG3AG		
形式				室内：FDKVXP803AG 室外：FDCVP804HAG/A		室内：FDKVXP803AG 室外：FDCVP804HAG/A		
項目				RC-DX2, RC-D4G		RCN-D3G		
リモートコントロール				RC-DX2, RC-D4G		RCN-D3G		
電源				三相 200V 50/60Hz				
(1)能力	冷房能力	定格	格	7.1 [3.2～8.0]				
		中	間	3.2				
	暖房能力	定格標準	8.0 [3.6～10.0]					
		中	間	3.6				
		定格低温	8.1					
定格冷房時の顕熱比				0.81				
(1)運転特性	運転電流	冷房	房	6.8				
		暖房	房	8.0				
	始動電流（最大電流）		5 (13)					
	消費電力	冷房	定格	格	2.14			
			中	間	0.587			
		暖房	定格標準	2.47				
	中		間	0.685				
			定格低温	3.19				
	力率			%				
	エネルギー消費効率		冷房	房	冷：91, 暖：89			
消費効率		暖房	房	定格：3.32, 中間：5.45				
通年エネルギー消費効率		定格：3.24, 中間：5.26						
運転音	室内ユニット ⁽²⁾		4.8					
	室外ユニット		P 急：47, 急：45, 強：42, 弱：39					
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm					
	製品質量		kg					
	空気熱交換器		18					
	形式・台数		アルミフィン&銅チューブ式					
	送風装置		横断流式（モータ直結）×1					
	風量 ⁽²⁾		P 急：24, 急：21, 強：18, 弱：15					
	機外静圧（標準風量時）		0					
	電動機 定格出力		Pa					
	エアフィルタ		W					
	吹出ダクト接続口		40					
	新鮮空気取入口		プラスチックネット（洗浄可能）					
	運転調整		－					
	遠方発停用機能		不可能					
	加湿器		操作（運転切換, 風量調整, タイマ, 換気）					
	加湿器		室温調節（電子サーモスタット）表示（運転・点検用・LED, 液晶表示）					
防振装置・防音・断熱材		遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P）を保有（室内基板上）						
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm					
	製品質量		kg					
	圧縮機	形式・台数	750×880(+88)×340					
		電動機出力	64					
	空気熱交換器		kW					
	冷媒制御器		RMT5118MCE1×1					
	冷媒封入量		1.8					
	冷凍機油封入量		アルミフィン&銅チューブ式					
	形式・台数		電子膨張弁					
	送風装置		3.3 [R410A]（配管30m分封入済）					
	風量		0.675 (M-MA68)					
	電動機 定格出力		軸流式（モータ直結）×1					
	クランクケースヒータ		冷：60, 暖：50					
	低外気温時冷房運転制御機能		86					
	除霜		20					
防振・防音装置		室外送風用電動機制御により外気温－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾						
配管寸法	冷媒配管（外径）		液管		mm			
	ガス管		φ9.52（フレア接続）		φ15.88（フレア接続）			
	排水口		〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個					
	電源配線サイズ		φ2.0×3本					
	電気配線		φ2.0×3本					
設計	漏電しゃ断器（高調波対応品）		30					
	開閉器または配線用しゃ断器		20					
	アース線サイズ		φ1.6					
	室内外ユニット接続配線		φ1.6×3本					
	設計圧力		MPa					
法定	冷房能力		高圧部：4.15, 低圧部：2.21					
	冷凍能力		0.73（届出不要）					
	IPコード		室内：IPX0, 室外：IP24					
保護装置				冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護				

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616：2006 および JRA4048：2006 条件により運転した値です。[～] は最小最大範囲幅を示します。
(2) ワイヤレス機(FDKN)は風量の設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
(3) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を付けてください。
(4) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.08kW

(9) 床置形 (FDF)

冷暖房兼用機(ヒータレス単相電源形)〔FDFVP-HK〕

セット形式				FDFVP804HKAG4AG		
形式				室内：FDFVXP804AG 室外：FDCVP804HKAG/A		
項目				RC-DX2		
リモートコントローラ				単相 200V 50/60Hz		
電源	冷房能力			7.1 [3.2 ～ 8.0]		
	定格中間			3.2		
	定格標準			8.0 [3.6 ～ 10.0]		
	中間			3.6		
	定格低温			9.2		
暖房能力				0.73		
定格冷房時の顕熱比				11.3		
(1) 運転特性	運転電流			11.9		
	始動電流（最大電流）			5 (19)		
	消費電力	冷房	定格	2.21		
			中間	0.603		
			定格標準	2.24		
	暖房	中間	0.692			
		定格低温	3.33			
		力率			冷：98、暖：94	
	エネルギー消費効率			定格：3.21、中間：5.31		
	通年エネルギー消費効率			定格：3.57、中間：5.20		
運転音	室内ユニット			4.9		
	室外ユニット			P 急：42、急：39、強：35、弱：33		
				冷：51、暖：48		
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm 1850 × 600 × 320		
	製品質量			kg 49		
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
	形式・台数			片吸込多翼遠心式（モータ直結）× 1		
	送風装置	風量			P 急：18、急：16、強：14、弱：12	
		機外静圧（標準風量時）			Pa 0	
	電動機	定格出力			W 157	
		エアフィルタ			プラスチックネット（洗浄可能）	
	吹出ダクト接続口			不可能		
	新鮮空気取入口			不可能		
運転	運転調整			操作（運転切換、風量調整、タイマ、オートスイング）		
	遠方発停用機能			室温調節（電子サーモスタット）表示（運転・点検用・LED、液晶表示）		
	補助電気ヒータ			遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P）を保有（室内基板上）		
	加湿器			－（組込不可能）		
	加湿器			－（気化式加湿器取付可能）		
防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム、外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法 高さ×幅×奥行			mm 750 × 880(+88) × 340		
	製品質量			kg 64		
	冷圧縮機	形式・台数		RMT5118MCE1 × 1		
		電動機出力		kW 1.8		
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
	冷媒制御器			電子膨張弁		
	冷媒封入量			kg 3.3 [R410A]（配管 30m 分封入済）		
	冷凍機油封入量			ℓ 0.675 (M-M68)		
	送風装置	形式・台数			軸流式（モータ直結）× 1	
		風量			m³/min 冷：60、暖：50	
電動機	電動機 定格出力			W 86		
	クランクケースヒータ			W 20		
	低外気温時冷房運転制御機能			室外送風用電動機制御により外気温温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽²⁾		
	除霜			マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置			圧縮機：防振ゴム、吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管 液管			mm φ 9.52（フレア接続）		
	（外径）ガス管			φ 15.88（フレア接続）		
	排水口			〔室内〕VP20 の排水管の接続可能 〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 3 個		
	電源配線 サイズ			mm² □ 5.5 × 2 本		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A 30		
電気配線	開閉器または配線用しゃ断器			30		
	アース線 サイズ			φ mm φ 1.6		
	室内外ユニット接続配線			φ mm φ 1.6 × 3 本		
	設計圧力			MPa 高圧部：4.15、低圧部：2.21		
法定冷凍能力				トン 0.73（届出不要）		
IPコード				室内：IPX0、室外：IP24		
保護装置				冷房時フロスト防止、過負荷保護、吐出温度保護		

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616：2006 および JRA4048：2006 条件により運転した値です。[～] は最小最大範囲幅を示します。

(2) 外気温度が－5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。

(3) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.1kW

冷暖房兼用機(ヒータレス形)〔FDFVP-H〕

セット形式		FDFVP804HAG4AG	
形式		室内：FDFVXP804AG 室外：FDCVP804HAG/A	
リモートコントロール		RC-DX2	
電源		三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格	7.1 [3.2～8.0]
		中間	3.2
	暖房能力	定格標準	8.0 [3.6～10.0]
		中間	3.6
定格冷房時の顕熱比		定格低温	9.2
			0.73
(1)運転特性	運転電流	冷房	6.8
		暖房	6.9
	始動電流(最大電流)		5 (13)
	消費電力	冷房	2.14
性能		中間	0.584
		定格標準	2.16
		中間	0.667
		定格低温	3.83
力率			%
エネルギー消費効率		冷房	冷：91, 暖：90
		暖房	定格：3.32, 中間：5.48
通年エネルギー消費効率			定格：3.70, 中間：5.40
室内ユニット			5.0
室外ユニット			P急：42, 急：39, 強：35, 弱：33
音			冷：51, 暖：48
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	1850 × 600 × 320
	製品質量	kg	49
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数	片吸込多翼遠心式(モータ直結) × 1
二ツト		風量	m³/min
		機外静圧(標準風量時)	Pa
		電動機定格出力	W
		エアフィルタ	0
吹出ダクト接続口			157
			プラスチックネット(洗浄可能)
			不可能
			不可能
運転調整			操作(運転切換, 風量調整, タイマ, オートスイング)
			室温調節(電子サーモスタット)表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)
			遠方発停入力用コネクタ(CnT: 6P)を保有(室内基板上)
			— (組込不可能)
加湿器			— (気化式加湿器取付可能)
			送風用電動機: 防振ゴム, 外板: 吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	750 × 880(+88) × 340
	製品質量	kg	64
	圧縮機	形式・台数	RMT5118MCE1 × 1
	電動機出力	kW	1.8
二ツト	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式
	冷媒制御器		電子膨張弁
	冷媒封入量	kg	3.3 [R410A] (配管 30m 分封入済)
	冷凍機油封入量	ℓ	0.675 (M-MA68)
送風装置	形式・台数		軸流式(モータ直結) × 1
	風量	m³/min	冷：60, 暖：50
	電動機定格出力	W	86
	クランクケースヒータ	W	20
低外気温時冷房運転制御機能			室外送風用電動機制御により外気温度－15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽²⁾
			マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式
			圧縮機: 防振ゴム, 吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管	液管	φ 9.52 (フレア接続)
	(外径)	ガス管	φ 15.88 (フレア接続)
	排水口		[室内] VP20 の排水管の接続可能 [室外] 内径φ 20mm の排水穴 × 3 個
	電源配線サイズ	φ mm	φ 2.0 × 3 本
電気配線	漏電しゃ断器(高調波対応品)	A	30
	開閉器または配線用しゃ断器		20
	アース線サイズ	φ mm	φ 1.6
	室内外ユニット接続配線	φ mm	φ 1.6 × 3 本
設計圧力		MPa	高压部: 4.15, 低压部: 2.21
法定冷凍能力		トン	0.73 (届出不要)
IPコード			室内: IPX0, 室外: IP24
保護装置			冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B 8616 : 2006 および JRA4048 : 2006 条件により運転した値です。[～] は最小最大範囲幅を示します。

(2) 外気温度が－5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。

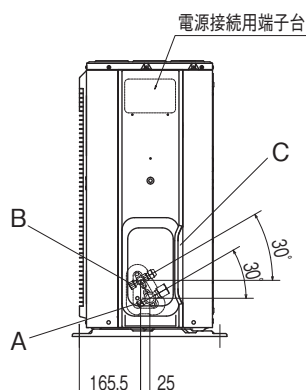
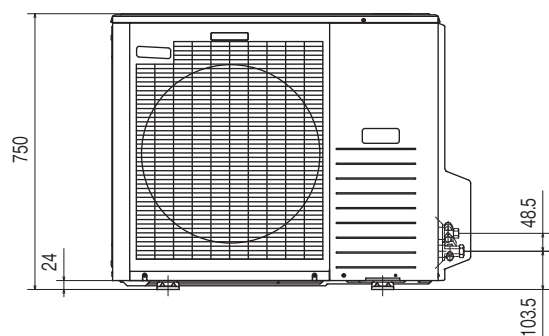
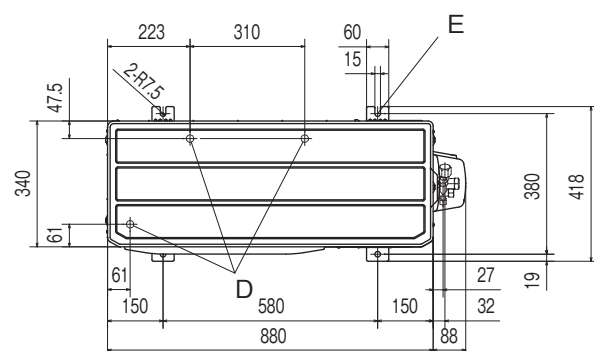
(3) BEST 計算用 室内送風機消費電力: 0.1kW

2. 使用範囲

2014年 冷熱ハンドブック 設計・施工編をご覧ください。

3. 外形図

FDCVP804HAG/A, 804HKAG/A



注(1) 四面障壁は不可です。

(2) ユニツは必ずアンカーボルトで固定してください。

アンカーボルト飛び出し長さは15mm以下としてください。

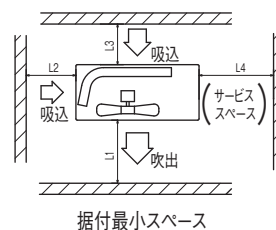
(3) 強風が吹きつける場合は吹出口と風向を直角にしてください。

(4) ユニツ上部には、1m以上のスペースをとってください。

(5) 吹出口前面の障壁はユニツ高さ以下としてください。

(6) 装置銘板は正面右下についています。

記号	内 容
A	冷媒ガス側配管接続口 $\phi 15.88$ (フレア)
B	冷媒液側配管接続口 $\phi 9.52$ (フレア)
C	配管配線取出口
D	ドレン排水用穴 $\phi 20$ 3個
E	アンカボルト用穴 M10用4個

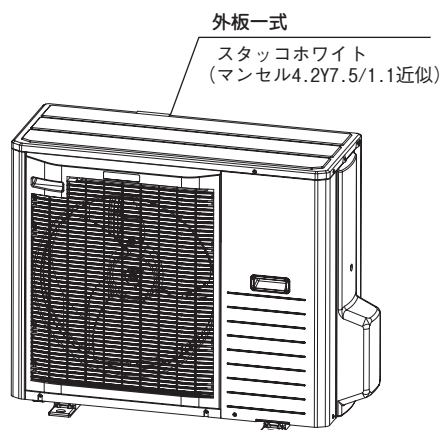


		据 付 例		
		I	II	III
寸 法	L1	開放	開放	500
	L2	300	250	開放
	L3	100	150	100
	L4	250	250	250

PCA001Z740

4. 塗 装 色

FDCVP804HAG/A, 804HKAG/A



5. 能力特性

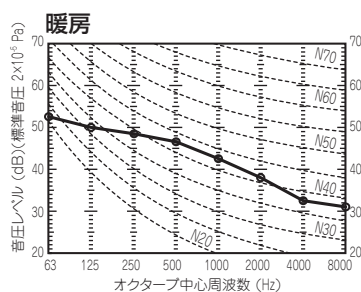
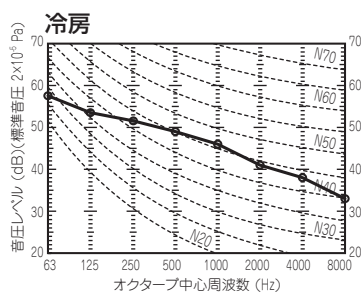
2014年 冷熱ハンドブック 設計・施工編をご覧ください。

6. 運 転 音

運転音は、JIS 規格に準拠し、反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は、周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

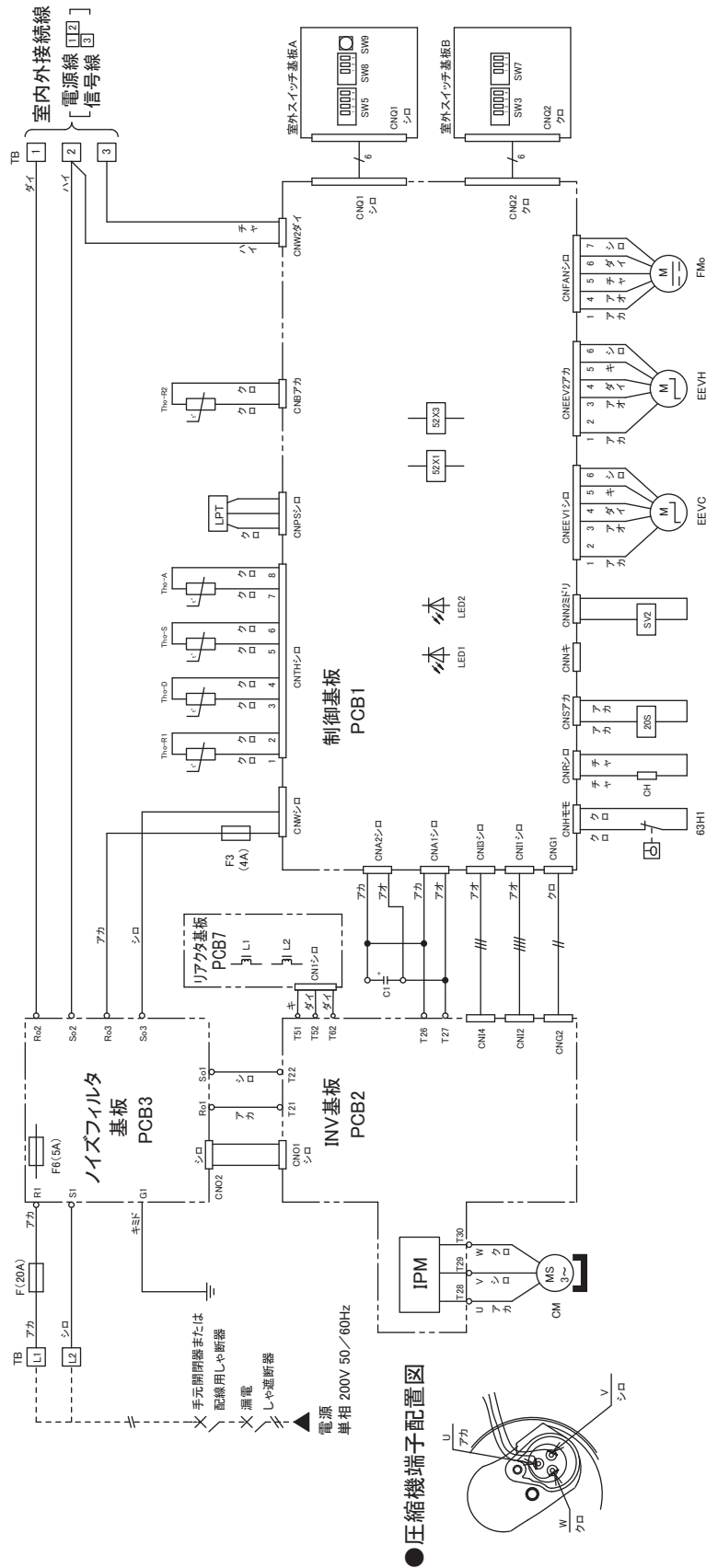
(測定条件：JIS B 8616・冷房
マイク位置：本体前方 1m・高さ 1m)

FDCVP804HKAG/A, 804HAG/A

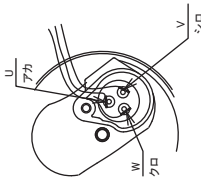


7. 電気配線図

FDCVP804HKAG/A



●圧縮機端子配置図

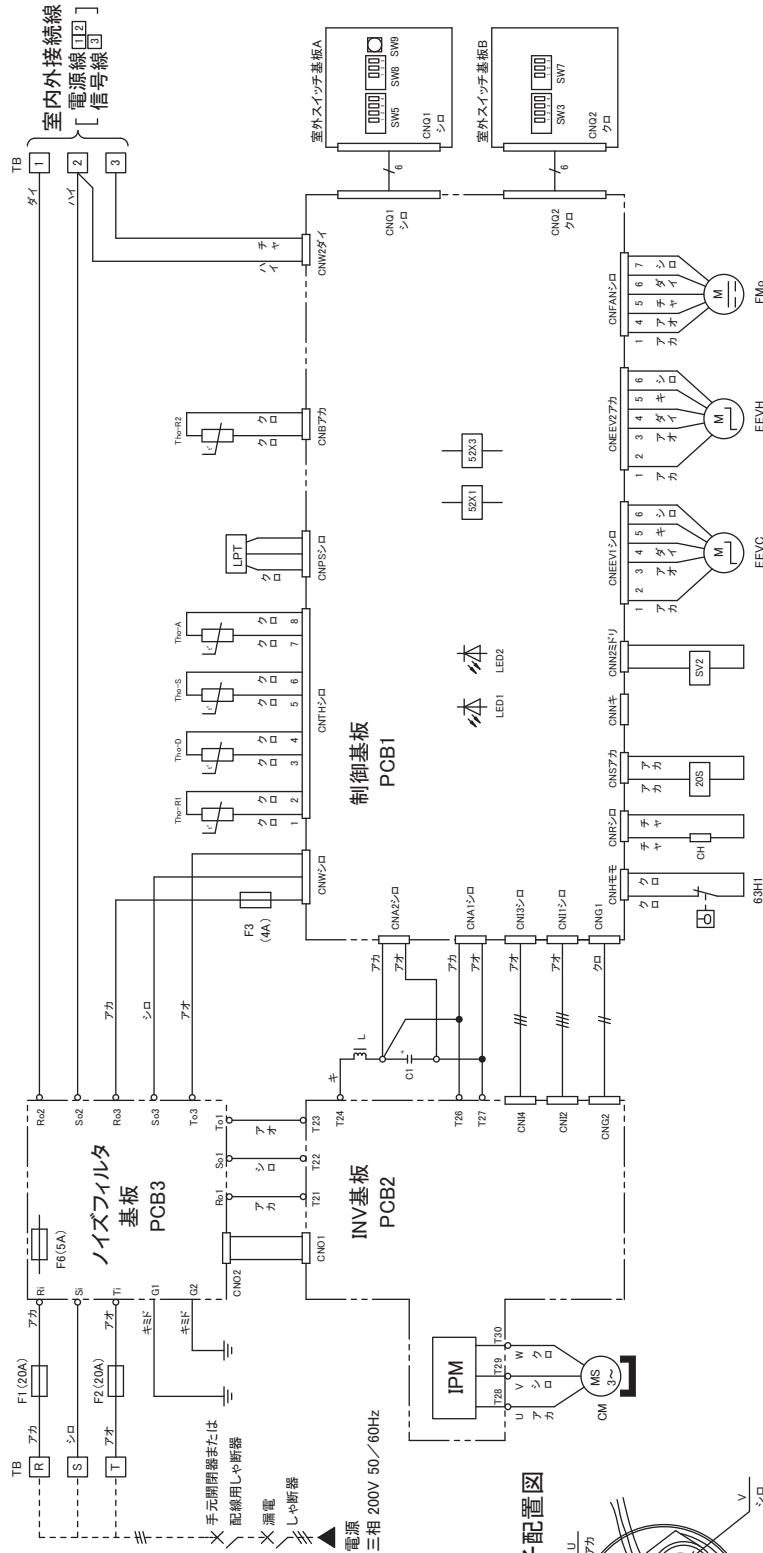


- 記事1. --- は現地配線を示します。
2. 室内外接続線は、総長70mまでとしてください。
室内外接続線は、3心ケーブルを使用してください。
太さはφ1.6mm以上(2mm²以上)です。

●記号説明

C	電解コンデンサ	F6	ヒューズ(250V 5A)	Tho-A	外気温度センサ
CH	クラシクサーヒータ	IPM	インテリジェントパワーモジュール	Tho-D	吐出管温度センサ
CM	圧縮機電動機	L1, L2	リアクタ	Tho-R1.2	熱交換温度センサ
CNA~Z	コネクタ	LED1	表示灯(緑=マイコン正常表示)	Tho-S	吸入管温度センサ
EEVC	電子膨張弁(冷房用)	LED2	表示灯(赤=点検表示)	20S	四方切換電磁弁
EEVH	電子膨張弁(暖房用)	LPT	低圧センサ	52X1	補助継電器(CH用)
FMo	送風機電動機	SV2	電磁弁	52X3	補助継電器(20S用)
F	ヒューズ(250V 20A)	SW3.5.7.8	設定切換スイッチ	63H1	高圧力開閉器(保護)
F3	ヒューズ(250V 4A)	TB	端子台		

FDCVP804HAG/A



● 圧縮機端子配置図

- 記事 1. --- は現地配線を示します。
2. 室内外接続線は、総長70mまでとしてください。
室内外接続線は、3心ケーブルを使用してください。
太さはφ1.6mm以上(2mm2以上)です。

● 記号説明

C	電解コンデンサ	F6	ヒューズ(250V 5A)	Tho-A	外気温度センサ
CH	クランクケースヒータ	IPM	インテリジェントパワーモジュール	Tho-D	吐出管温度センサ
CM	圧縮機電動機	L	リアクタ	Tho-R1.2	熱交換温度センサ
CNA-Z	コネクタ	LED1	表示灯(緑=マイコン正常表示)	Tho-S	吸入管温度センサ
EEVC	電子膨張弁(冷房用)	LED2	表示灯(赤=点検表示)	20S	四方切換電磁弁
EEVH	電子膨張弁(暖房用)	LPT	低圧センサ	52X1	補助電磁器(CH用)
FMo	送風電動機	SV2	電磁弁	52X3	補助電磁器(20S用)
F1.2	ヒューズ(250V 20A)	SW3.5.7.8	設定切換スイッチ	63H1	高圧力開閉器(保護)
F3	ヒューズ(250V 4A)	TB	端子台		

8. 電源・配線仕様

(電気特性については、それぞれの形式の仕様をご覧ください。)

■単相200V機

《シングル仕様》

形 式	項 目 (単位)	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDTVP804HKAG4AG 室内:FDTVP804AG 室外:FDCVP804HKAG/A		2.3	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	□5.5mm ² ×2	31m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
FDTWVP804HKAG4AG 室内:FDTWVP804AG 室外:FDCVP804HKAG/A		3.0						28m			
FDTSP804HKAG4AG 室内:FDTSP804AG 室外:FDCVP804HKAG/A		3.3						31m			
FDRV804HKAG4AG 室内:FDRV804AG 室外:FDCVP804HKAG/A		3.0						28m			
FDUVP804HKAG4AG 室内:FDUV804AG 室外:FDCVP804HKAG/A		2.8						31m			
FDEVP804HKAG4 室内:FDEVP804 室外:FDCVP804HKAG/A		1.7						31m			
FDESVP804HKAG4 室内:FDESVP804 室外:FDCVP804HKAG/A		3.2						31m			
FDK(V)VP804HKAG3AG 室内:FDK(V)VP803AG 室外:FDCVP804HKAG/A		2.9						31m			
FDFVP804HKAG4AG 室内:FDFVP804AG 室外:FDCVP804HKAG/A		2.9						31m			

■三相200V機

《シングル仕様》

形 式	項 目 (単位)	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDTVP804HAG4AG 室内:FDTVP804AG 室外:FDCVP804HAG/A		2.5	20A, 30mA, 0.1sec以下	30	20	20	φ2.0mm×3	31m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
FDTWVP804HAG4AG 室内:FDTWVP804AG 室外:FDCVP804HAG/A		3.2						26m			
FDTSP804HAG4AG 室内:FDTSP804AG 室外:FDCVP804HAG/A		3.5						31m			
FDRV804HAG4AG 室内:FDRV804AG 室外:FDCVP804HAG/A		3.2						26m			
FDUV804HAG4AG 室内:FDUV804AG 室外:FDCVP804HAG/A		2.9						31m			
FDEVP804HAG4 室内:FDEVP804 室外:FDCVP804HAG/A		2.9						31m			

〔備考〕 共通

- (1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
- (2) シングル機を複数台制御する時は、電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《シングル仕様》

形 式	項 目 (単位)	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDESP804HAG4 室内:FDESP804 室外:FDCVP804HAG/A		2.8	20A, 30mA, 0.1sec以下	30	20	20	φ2.0mm×3	31m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
FDK(IN)VP804HAG3AG 室内:FDKVXP803AG 室外:FDCVP804HAG/A		3.4									
FDFVP804HAG4AG 室内:FDFVXP804AG 室外:FDCVP804HAG/A		2.9									

■単相200V機

《ツイン仕様》

形 式	項 目 (単位)	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDTV804HKPAG4AG 室内:FDTV804AG 室外:FDCVP804HKAG/A		2.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	□5.5mm ² ×2	31m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
FDTWP804HKPAG4AG 室内:FDTWXP404AG 室外:FDCVP804HKAG/A											
FDTSP804HKPAG4AG 室内:FDTSVXP404AG 室外:FDCVP804HKAG/A		2.8									
FDRV804HKPAG4AG 室内:FDRVXP404AG 室外:FDCVP804HKAG/A		2.8									
FDEVP804HKPAG4 室内:FDEVXP404 室外:FDCVP804HKAG/A		2.9									

■三相200V機

《ツイン仕様》

形 式	項 目 (単位)	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDTV804HPAG4AG 室内:FDTV804AG 室外:FDCVP804HAG/A		2.4	20A, 30mA, 0.1sec以下	30	20	20	φ2.0mm×3	31m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
FDTWP804HPAG4AG 室内:FDTWXP404AG 室外:FDCVP804HAG/A		3.0									
FDTSP804HPAG4AG 室内:FDTSVXP404AG 室外:FDCVP804HAG/A		2.8									
FDRV804HPAG4AG 室内:FDRVXP404AG 室外:FDCVP804HAG/A		3.0									
FDEVP804HPAG4 室内:FDEVXP404 室外:FDCVP804HAG/A		2.9									

〔備考〕 共通

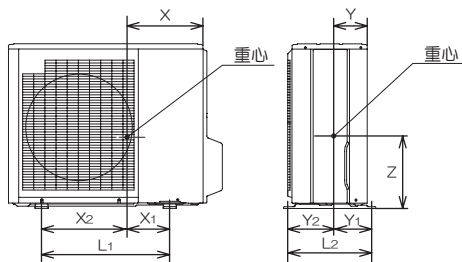
- (1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
 (2) シングル機を複数台制御する時は、電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

9. 防振設計用参考資料

(1) 耐震データ

項 目 形 式	製品外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	製品質量 (kg)	重心位置 (mm) (1)								
			幅方向				奥行方向				高さ
			X	X1	X2	L1	Y	Y1	Y2	L2	Z
FDCVP804HKAG/A	880 (+88) ×340×750	64	240	190	390	580	175	195	185	380	508
FDCVP804HAG/A											

注 (1) L1 (X1, X2), L2 (Y1, Y2) 寸法は据付ボルトの位置を示します。



(2) 防振データ

(冷房/暖房)

項 目 形 式	圧縮機回転数 (min ⁻¹)	送風機回転数 (min ⁻¹)
FDCVP804HKAG/A	5640/7200	850/850
FDCVP804HAG/A		

注 (1) 急運転時の数値を示します。

10. 冷媒配管系統図

2014年 冷熱ハンドブック サービス編をご覧ください。

11. 据付関連事項

(1) 室外ユニット

- ◎本説明書は“室外ユニットと総合工事仕様”について示したものです。“室内ユニット”については室内ユニットに付属の“据付説明書”をご覧ください。
- ◎据付時には据付場所の選定、電源仕様、使用可能範囲(配管距離・室内外高低差・電源電圧等)・据付スペース等などが適正であることを確認してください。

東京の土地

- 招入仕事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- この示した注意事項は、「**A 警告**」に区分していますが、誤った招入行為をしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを含んで記載しています。しかし、「**B 注意**」の欄に記載した事項も、分別によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に關する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる「図号」の意味は右のとおりです。⑤ 修繕に行かない ⑥ 必ず指針に従う
- 招入作業完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって「安全上のご注意」や正しい使用方法、お手入れの仕方をご指導ください。
- 取扱説明書は取扱説明書と別。お客様ご自身でよく読んでお使いになる方が死亡や重傷等の場合は、新しくお使いになる方に、取扱説明書をお渡ししたくなるよう依頼してください。

据付工事前に確認してください

- 機種・電源仕様 ●冷媒配管長 ●室内ユニット据付説明書

共 壇

[illegible]

扣

- [illegible]

※R410A以外の場合は使用しないでください。
※R410Aは、他の冷媒の漏入防止のため、室外ユニットの操作部のチャージポートと、室内ユニットのチャージポートを接続して、施工・能力不足によるR410A専用ツールを準備してください。
※配管のフレア加工方法及びフレアナットの対応加工を要します。チャージポートを使用すると、チャージポートを使用しないでフレア加工したフレアナットが、能力不足によるR410A専用ツールを準備してください。

a)	ゲージミニボールド
b)	チャージボース
c)	冷媒充填用電子はかり
d)	トルクレンチ
e)	フレアツェル
f)	出し代調整用銅管ゲージ
g)	真空ポンプアダプター
h)	ガス漏れ検知器

地球温暖化防止のため、この製品
の移設・修理・廃棄等にあって
はフロン類の回収が必要です。
本機には地球温暖化係数(GWP)が
2090のフロン類を使用しています。
(冷媒R410A)

注意

- ① 強風の影響を受けやすい場所では、下記の内容に従って防風対策を行ってください。
能力の低下、高圧上昇による異常停止、ファンの破損などの原因となります。
- ② 吹出風を建物の壁、堀および
防風用としての建物、堀などにより、
防風用として設置する。
- ③ 強風等の影響がある場合は安定した
場所にて据付け、封金などで固定する。

ユニットが安定を失って落下する恐れがあります。

- 据付場所付近までできるだけだけ梱包のまま搬入してください。
- やむを得ず解梱して搬入する場合は、ユニットを傷付けないようにナイロンスリングで吊下げるか、または当て板をしてロープで吊下げてください。

●ユニット正面（吹出側）から見て右側が重くなっています。右側を持つ作業者は十分に注意してください。左側を持つ作業者は、右手でユニット正面の把手を持ち、左手はコーナー支柱部に添えてください。

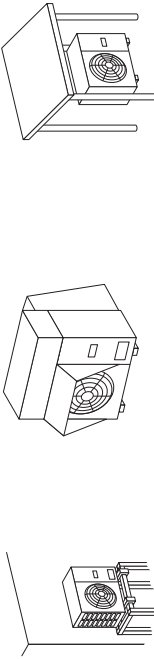
下記条件に注意し、据付場所を選んでください。

- 室外ユニットの重量・振動に耐える水平に据付けられる安全な所
- 通風音や温度で隣家に迷惑のならない所
- ドレン水が流れない所
- 可燃性ガスの漏れのない所
- 他の熱源から輻射射を受ける所
- テレビやラジオの周囲から5m以上離れた所（電波障害を受ける場合はさらに離してください。）
- 通風が充分に確保でき、保守点検を安全に行えるサーベススペースを確保できる所
- 電磁波、高周波を発生する機械がない所
- 吹き出し口・塩素系ガス、酸、アルカリ（アンモニアを含む）など機器に影響する物質・滞留しない所
- 排水出口に強風が当たらない所

(1) 積雪が予想される地域では、室外ユニットの吸込口・吹出口や底板下部が雪で閉塞する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。

①積雪面より底板が高くなる ②吹出口に防雪フード(別売品) ③軒下に設置するか、雪除け屋根(現地手配)を取付けてください。

④室外ユニットを架台の上に設置してください。



また、除霜運転時のドレン水が凍結する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。

- ・ドレンブラグとドレン管が凍結しないよう、ドレン集排水キット(別売品)を使った集排水工事を行ってください。
- ⇒3. ドレン配管工事 参照
- ・デフロスト制御の切換えと防雪ファン制御の設定を行ってください。
- ⇒5. 試運転 参照

コネクタ上のスペースは1m以上確保してください。

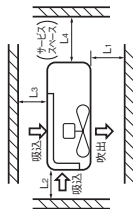
四方障壁は不可です。

機体標準設置するときはコネクタ間に250mm以上のサービススペースを確保してください。又、コントロールのサービスタビリティを考慮しコネクタの外側にコネクタ間のスペースを確保してください。

コンショーンサービスキータビリティの恐れのある場所ではコネクタフロアアダプタを取付けてください。

機体台設置する場合は、特にショートサービスキータビリティが生じないように吸込みスペースを十分に確保してください。

		VP80		
寸法	振付例	I	II	III
L1		開放	開放	500
L2		300	250	開放
L3		100	150	100
L4		250	250	250



①アンカーボルト固定位置

②据付時の注意

●ユニットを据付ける場合、上記ボルトでユニットの足を必ず固定してください。

●前面側アンカーボルト飛び出し長さは15mm以下としてください。

●地震や突風などで倒れないように強固に据付けてください。

●フレックスフロアアダプタ及び防雪フード（別売品）を取付けてください。

2. 冷媒配管工事

1) ユニットの据付使用制限

- 室内ユニットの仕様と据付場所に合わせて以下の内容を確認してください。
- 以下の据付使用制限は必ず守ってください。据付に不備があると圧縮機の故障や能力低下の原因となります。

制 限 項 目	制限寸法	右図での記号
シングル機		ツイン機
片道配管長	70m以下	L
主管長	70m以下	L
第一分岐後の片道配管長	20m以下	—
第一分岐後配管長の差	10m以下	L1, L2
第一分岐後配管長の差	30m以下	L1-L2
室内外ユニット間の高さの差	15m以下	H
室内外ユニット間の高さの差	0.5m以下	h

- 上表の使用制限は下表に示す標準配管サイズの場合を示します。既設配管を使用する場合は配管サイズにより片道配管長の制限が変わります。詳しくは「6. 既設配管対応」をご確認ください。



2) 冷媒配管サイズ選定

- 室内ユニットの仕様に合わせて以下の内容で冷媒配管サイズを選定してください。

	ガス管	液管
室内ユニット接続	φ15.88 フレア	φ9.52 フレア
冷媒配管(主管L)	φ15.88	φ9.52
シングル機 室内ユニット接続 の場合	φ15.88	φ9.52
ツイン機 冷媒配管(分岐管L1,L2) の場合	φ12.7	φ9.52
室内ユニット容量	φ12.7	φ9.52

- 接続する室内ユニットがVP40の場合、分岐配管部(分岐管～室内ユニット)の液配管サイズは必ずφ9.52とし、室内ユニット(液配管側φ6.35)への接続は分岐管セットに付属の異径継手を使用してください。
- φ6.35のまま接続されますと、分配不良の原因となり、片方の室内ユニットが能力不足となります。
- 立ち上がり配管は主管としてください。また、分岐管セットはできるだけ室内ユニットに近いところに水平に分岐するように取付けてください。また、分岐部には付属の断熱材を取付けてください。
- 分岐部の施工詳細は、分岐管セットに付属の説明書を参照してください。



3) 冷媒配管の肉厚および材質

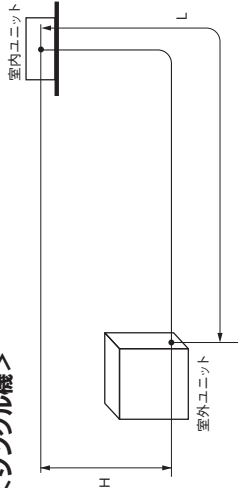
- 冷媒配管のサイズに対して以下の肉厚及び材質のものを選定してください。

配管外径 [mm]	φ6.35	φ9.52	φ12.7	φ15.88
最小配管肉厚 [mm]	0.8	0.8	0.8	1.0
配管材質※	O材	O材	O材	O材

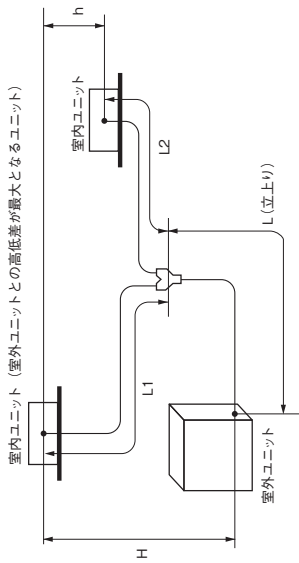
- 配管の選定・施工については、必ず「冷凍保安規則関係例示基準」を厳守してください。
- 配管肉厚は、最小配管肉厚以上のものを選定してください。

※リン脱酸銅継目無管 C1220T、JIS H 3300

<シングル機>

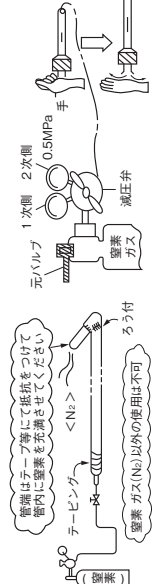


<ツイン機>



ろう付について

ろう付は必ず窒素ガスを流しながら行ってください。
窒素ガスを流さないで多量の異物（酸化皮膜）が生成され、キャピラリーチューブや膨張弁詰りによる致命的故障の原因となります。



4) 現地配管施工

⚠ 重要

施工する配管はユニット内部部品に接触しないように注意してください。
内部部品に接触すると、異常音・振動が発生します。

サイドカバーの外し方

- 現地配管施工は、操作弁を全閉にして行ってください。
- 配管内部に水分、異物が入らないように、管端の養生（漬してろう付又は粘着テープによる）を十分に行ってください。
- 配管の曲げはできるだけ大きな半径（R100～R150）で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。
- ユニットと冷媒配管との接続はフレア方式です。配管にフレアナットを取付け後、フレア加工を施してください。R410Aのフレア加工寸法は、従来のR407Cとは異なります。R410A用フレアツールを推奨しますが、出し代調整用ゲージにて出し代B寸法を調節すれば、従来ツールを使用できます。
- フレア接続はダブルスバナで締付けてください。

⚠ 注意

フレアナットを通正トルクを超えて締めないでください。液側、ガス側操作弁ともに右の絵のように操作弁本体を固定し、適正な締付トルクにて締付けをお願いします。

同一締付けトルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦係力が低下することにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となります。ユニオンねじ部、又はフレア外面には冷凍機油を塗布しないでください。

操作弁サイズ (mm)	締付トルク (N・m)	締付角度 (°)	工具の推奨長さ (mm)
φ6.35 (1/4")	14～18	45～60	150
φ9.52 (3/8")	34～42	30～45	200
φ12.7 (1/2")	49～61	30～45	250
φ15.88 (5/8")	68～82	15～20	300

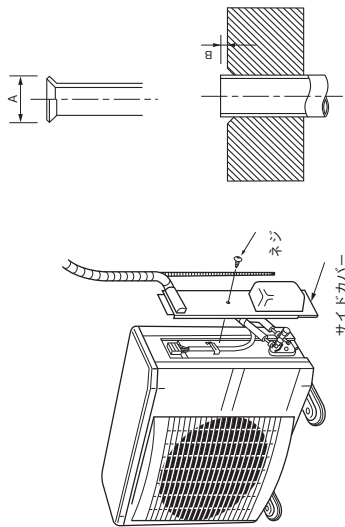
フレア管端部：A (mm)

銅管外径	A
φ6.35	8.9～9.1
φ9.52	12.8～13.2
φ12.7	16.2～16.6
φ15.88	19.3～19.7

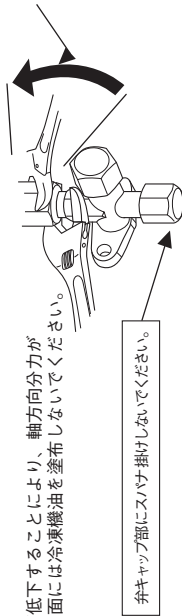
フレア加工の銅管出し代：B (mm)

銅管外径	リジッド (クラッチ式) の場合 R410A用ツール使用時	従来ツール使用時
φ6.35	0～0.5	0.7～1.3
φ9.52		
φ12.7		
φ15.88		

トルクレンチの使用をお願いします。トルクレンチがない場合はフレアナットを手締めた後、左表を自安にフレアナットを締付けてください。



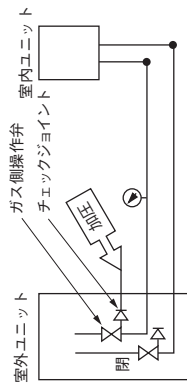
サイドカバー



弁キップ部にスバナ掛けしないでください。

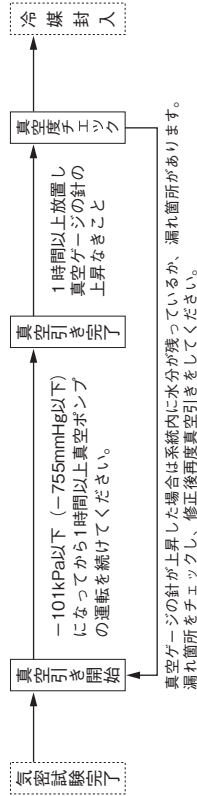
5) 気密試験

- ① 室外ユニットおよび室内ユニット本体の気密試験は弊社にて実施済ですが、配管接続後、接続配管の気密試験を室外ユニット側の操作弁のチェックジョイントより行ってください。尚、操作弁は必ず閉のままにして実施してください。
(ア) 0.5MPaまで加圧したところで、加圧を止めて5分以上放置し、圧力の低下のないことを確認してください。
(イ) 次に1.5MPaまで加圧し、再び5分以上そのまま放置し、圧力の低下のないことを確認してください。
(ウ) その後、規定圧力 (4.15MPa) まで昇圧し、周囲温度と圧力をメモしてください。
(エ) 約1日放置し、圧力が低下しない場合は合格です。この際周囲温度が1℃低下すると圧力が約0.01MPa低下しますので補正を行ってください。
(オ) (ア)～(エ)の確認で圧力低下の認められたものには漏れがあります。溶接箇所、フレア部等に発泡試験液等を用いて漏れ箇所を発見し補修してください。補修後は再度気密試験を実施してください。
- ② 気密試験には窒素ガスを使用し、窒素ガスによる加圧はガス側から行ってください。また窒素以外のガスは絶対使用しないでください。



6) 真空引き

<作業フロー>



本機はR410Aのため下記の点にご注意ください。

- 異種油の混入を避けるために、冷媒の種類により工具等を使い分けてください。特にゲーゼマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒 (R22、R407C等) と共用しないでください。
- 真空ポンプ油が冷凍システム内に混入しないように、逆流防止アダプタを使用してください。

7) 冷媒追加封入

(1) 下表に従い、冷媒封入量を計算してください。 ※1 VP80且つ室内ユニットがFDTPVP40×2の場合のみ0.07(kg/m)。その他機種では0.06(kg/m)

	基準チャージ量 (kg)	基準チャージ配管長 (m)	冷媒配管 (液管φ9.52) 1mあたりの追加チャージ量 (kg)	工場出荷時チャージ量 (kg)	追加チャージ不要の現地配管長さ (m)
VP80	2.7	20	0.06 (0.07) ※1	3.3	30

- 室外ユニットは配管長30m相当分の冷媒量が工場出荷時に封入されており、30mまでは現地で追加チャージが不要です。それを超えた分については、配管長と上表より追加封入量を計算し追加封入してください。
- 配管長が3mより短い場合は工場出荷チャージ量より1.0kg減らしてください。
- 既設配管を使用する場合は、液管サイズにより必要封入量が変わります。詳しくは「6. 既設配管対応」をご確認ください。
- 追加冷媒量計算式

$$\text{追加封入量 (kg)} = \{ \text{主管長 (m)} + \text{チャージレス分30 (m)} \} \times 0.06 \text{ (kg/m)} + \text{分岐管総長 (m)} \times 0.06 \text{ (kg/m)}$$

※追加冷媒量の計算結果が負の値になる場合は、追加チャージ不要です

- サービスなどで再チャージする場合は配管長3m以上20m以下では基準チャージ量を再封入してください。
 - 配管長が3mより短い場合は工場出荷チャージ量より1.0kg減らした冷媒量を再封入してください。
- (例) 10mで再チャージする場合は2.7kg封入してください。
25mで再チャージする場合は2.7+ (25-20) ×0.06=3.0kgを封入してください。

(2) 冷媒封入

- R410A 冷媒は液相で充填する必要がありますので、ポンペを倒立させて充填するか、サイフォン管付の冷媒ポンペから充填してください。
- 操作弁を閉じたまま、必ず液側のサービスポートから液冷媒で封入してください。規定量が封入できない場合は、室外ユニットのバルブを液側、ガス側ともに全開にした後、冷房運転を行いガス側 (吸入側) サービスポートから封入します。この際も、ポンペからの冷媒取出しは必ず液相で行ってください。ただし圧縮機保護のため、ポンペのバルブを絞り気味にするか、液冷媒を霧状に変換する専用ツールを使用し、ユニットに吸引された時にはガス化しているように調整してください。
- 冷媒の封入は必ずはかりを使用して計算封入してください。
- 運転しながら冷媒封入する場合は必ず30分以内に完了してください。冷媒不足の状態で長時間運転されずと圧縮機の故障の原因となります。

⚠ 注意

この製品はフロトン排出抑制法の第1種特定製品です。

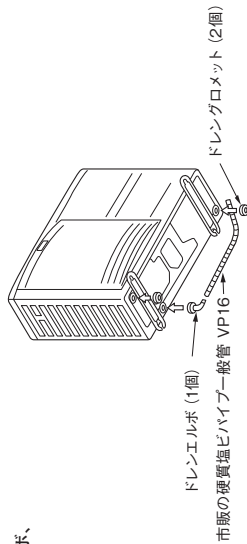
- フロン類をみだりに大気に出すことは禁じられています。
- この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。冷媒回収するときは、フロトン排出抑制法の基準に従ってください。
- 冷媒の追加・回収量および出荷時との合計量をサービスパネル表面の冷媒量記入銘版に必ず記載してください。また、そのCO₂換算値も記入してください。
- 機器の修理、運転、調整などにより、冷媒の回収や充填を行い表示内容が生じたときは、冷媒量を再記載してください。

8) 断熱・防露

- (1) 冷媒配管 (ガス管、液管共) の防露断熱工事を行ってください。
 - ・ 防露断熱工事に不備があると、水漏れまたは露たれが発生し、家財等を濡らす原因となります。
- (2) 断熱材は120℃以上の耐熱性があるものをご使用ください。耐熱性が低いと断熱不良や電線劣化の原因となります。
 - ・ ガス管は冷房運転時、配管に結露したものがドレン水となり水漏れ事故となることがあります。また、暖房時には吐出ガスが流れ、管表面温度が高くなるため、人に接触すると火傷などの危険があります。
 - ・ 室内ユニットのフレア接続部分は断熱材 (パイプカバ) で断熱してください。(ガス管・液管共に断熱してください。)
 - ・ 断熱はガス側、液側配管共両方に行ってください。その際断熱材と配管を密着させて隙間ができないように接続線と共に外装テープで巻いてください。
 - ・ 本エアコンはJIS露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、相対湿度70%を超える天井内等では、ガス側、液側配管共厚さ20mm以上の断熱が必要となります。

3. ドレン配管工事

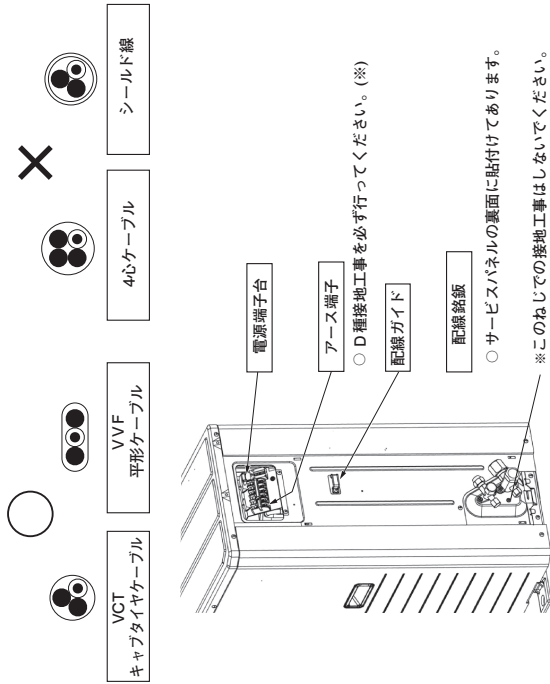
- 室外ユニットからのドレンが問題になる場所では、別売品のドレンエルボ、ドレングロメットを利用してドレン配管を施工してください。



- 室外ユニットの底板には凝縮水を排出する穴が3個あります。
- 凝縮水を排水口などに導くときは平置き台 (別売品) やブロックなどに載せて据付けてください。
- 図の様にドレンエルボを接続し、他の穴はグロメットでふさいでください。

4. 電気配線 電気工事の詳細は、室内ユニットの据付説明書をご覧ください。

- 漏電遮断器の取付けを必ず行ってください。漏電遮断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。
- 内外接続線は同一端子番号を接続してください。
- 配線は、端子接続部に外力が伝わらないようにしてください。
- 制御箱にアース端子があります。D種接地工事を必ず行ってください。
- 内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。シールド線は使用しないでください。

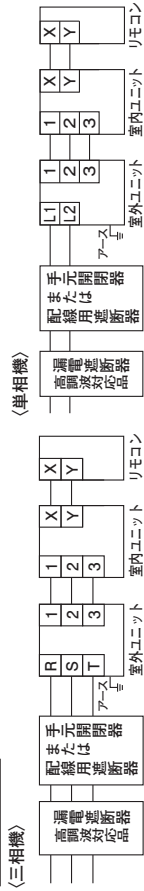


電源・内外接続線

- アース工事を行う際には、電源プラグを抜いた状態で実施してください。

▲注意

- 漏電遮断器の誤動作を防ぐため、必ずインバータ回路用遮断器を使用してください。



機種	漏電遮断器定格電流	手元開閉器 開閉器容量	配線用遮断器 定格電流	電源配線 太さ×本数	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ
単相	VP80	30A	30A	5.5 mm ² ×2	φ1.6×3	φ1.6
三相	VP80	20A	20A	φ2.0 mm×3	φ1.6×3	φ1.6

※室内機がダクト機の場合

機種	漏電遮断器定格電流	手元開閉器 開閉器容量	配線用遮断器 定格電流	電源配線 太さ×本数	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ
単相	VP80	30A	30A	5.5 mm ² ×2	φ1.6×3	φ1.6
三相	VP80	20A	20A	φ2.0 mm×3	φ1.6×3	φ1.6

- 上率はヒータレス機の場合を示します。ヒータ付の場合は室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。
- 配線仕様は金属管または合成樹脂管配線で、管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。これ以外の条件は内線規程により実施してください。
- 上図は室外電源取りの場合を示します。既設配線流用接続（室内電源取り、室内・室外電源取り）はカタログ・技術資料を参考ください。

5. 試運転

▲警告

- 試運転の前に操作弁が全開であることを必ず確認してください。
- 試運転の6時間前に電源を入れ、クランクケースヒータに通電してください。
- 停止から運転までは、必ず3分以上待ってください。
- サービスパネルを外すと、高圧充電部・高温部が露出して危険です。感電や火傷に十分注意してください。

▲注意

- ディップSWを操作する場合は、充電部に触れぬよう十分注意してください。
- 液操作弁のチャージポートから吐出力の検圧はできません。
- 四方弁（20S）は暖房運転時に通電されます。
- 電源遮断によりリセットする場合は、電源遮断より3分経過後に電源を再投入してください。3分経過後でなければ「E-5」（通信異常）が発生する場合があります。

- 左記の項目に不備がありまると、圧縮機が故障することがあります。

- また、サービスパネルを開けたまま放置しないでください。

絶縁抵抗について

- 据付け直後、もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合、圧縮機に冷媒が溜まることにより、絶縁抵抗が数MΩまで低下することがあります。絶縁抵抗が小さく、漏電遮断器が動作する場合は、以下の事項を確認ください。

- ①電源を投入し、6時間程度経過後、絶縁抵抗が復帰するか確認する。
 - ②電源を投入することにより、圧縮機に通電加熱を行い、圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
 - ③漏電遮断器が高調波対応品であるか確認する。
- 本機はインバータを装備しており、漏電遮断器の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。

1) 試運転方法

サイドカバーを外してください。

- (1) ディップSW5-3, 4により室外ユニット側から試運転が可能です。
- (2) SW5-3をONすることで圧縮機が運転します。
- (3) SW5-4がOFF状態で冷房試運転を行い、ON状態では暖房運転を行います。
- (4) 試運転終了後は、必ずSW5-3をOFFに戻してください。

※外気温5℃以下の時、電源ON後1回目の冷房運転モードでは10分間暖房運転を実行した後、自動的に冷房運転に切り換わります。

2) 運転状態のチェック

サービスパネルを外してください。

吐出力、吸込圧力の検圧は、室外ユニット内部の四方弁後に取付けられたチェックジョイント及び、ガス操作弁のチャージポートから行ってください。冷房運転・暖房運転によって右表のように検出圧力は異なります。

3) ディップSW3-1、SW3-2の設定

サービスパネルを外してください。

- (1) デフロスト制御切換え (SW3-1)
 - ・ONすることでデフロスト制御に入り暑くなります。
 - ・暖房シーズン時、外気温が氷点下以下となる地域は、設定をONにしてください。
- (2) 防雪ファン制御 (SW3-2)
 - ・ONすることで、外気温が3℃以下で圧縮機停止中、室外ファンが10分毎に30秒間運転します。
 - ・豪雪地帯で使用される場合は、設定をONにしてください。

4) 試運転時の故障診断

リモコン表示	室外基板LED表示 (周期5秒)		故障内容	対策
	赤LED	緑LED		
E34	1回点滅	連続点滅	欠相	電源線のゆるみ、外れないことを確認 1. 操作弁が開いているか確認 2. 圧縮機停止から3分経過後、異常が解消されていればリモコンからの点検リセットにより再起動可能
E40	1回点滅	連続点滅	63H1作動、または操作弁閉運転 (主に暖房時に発生)	
E49	1回点滅	連続点滅	低圧異常、または操作弁閉運転 (主に冷房時に発生)	

●上記以外の異常が表示される場合は、室外ユニットと室内ユニットの配線銘板をご確認ください。

5) 停止時の電子膨張弁の状態

電源投入時の通常停止時、および異常停止時の電子膨張弁の状態は右表の通りです。

	電源投入時		通常停止時		異常停止時	
	冷房用	暖房用	冷房時	暖房時	冷房時	暖房時
冷房用	全開	全開	全開	全開	全開	全開
暖房用	全開	全開	全開	全開	全開	全開

試運転前の確認事項

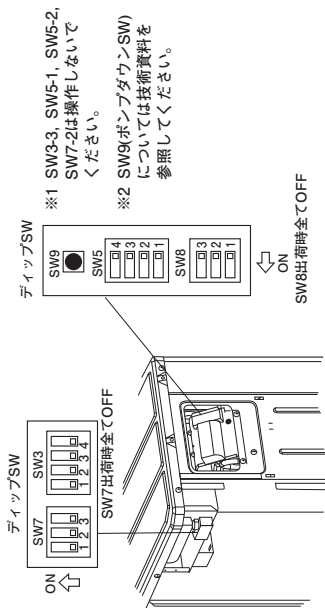
- 電源を入れた状態で室外ユニットから離れる場合は、パネルを必ず閉めてください。

据設の項目No	項目	確認項目	チェック
2	冷媒配管工事	ろう付した場合は、配管に密着ガスを流してろう付しましたか。	
		気密試験、真空引きは確実に行いましたか。	
		配管の断熱材は液管とガス管の両方に取付けられていますか。	
		配管弁は液管側・ガス管側の両方に開いていますか。	
		冷媒追加質量、冷媒配管長さ、パネルのラベルに記入しましたか。	
		配管の接続忘れ、欠相、逆相はないですか。	
		遮断器、配線など電気機器は適正容量の機器を使用していますか。	
		複数設置の場合は、ユニット間の配管が入れ替わっていませんか。	
4	電気配線	リモコン側に室内外通信線を接続していますか。	
		内外接続線は同一端子番号間で接続していますか。	
		内外接続線はVDFV型ケーブルまたはVVF平形ケーブルですか。	
		アース工事はD種接地工事が行われていますか。	
		他の機器のアース線と接続せず、単独でアースを取っていますか。	
		配線の取り付部のねじが緩んでいませんか。	
		配線は配線クランプで固定し、端子接続時に外力が伝わらないようになっていますか。	
		室内ユニットの据付作業は完了していますか。	
—	室内ユニット	室内ユニットに化粧パネルを取付けるときは、化粧パネルの取付けが完了していますか。	

試運転手順

- 必ず試運転を行い、下記の順に従ってチェックを行ってください。

順番	操作内容	チェック
①	ガス側操作弁を全開にしてください。	
②	液側操作弁を全開にしてください。	
③	パネルを開けてください。	
④	リモコンによる現地設定を行う場合は、リモコンによる現地設定の説明に従って行ってください。	
⑤	SW5-3 ON / SW5-4 OFF : 冷房試運転を開始します。	
⑥	SW5-3 ON / SW5-4 ON : 暖房試運転を開始します。	
⑦	運転が開始したら、リモコンの風向を調節ボタンを押して動作を確認してください。	
⑧	室内ユニットの吸出口に手を当て、冷房は冷風、暖房は暖風が出ていることを確認してください。	
⑨	赤LEDが点滅していないことを確認してください。	
⑩	試運転終了後、必ずSW5-3をOFFにしてください。	
⑪	オプション品を使用している場合は、各々の取扱説明書に従って機能の確認をしてください。	



SW8出荷時全てOFF

(2) 冷媒配管工事

PSC012D007A

本説明書は冷媒配管工事に関する一般事項について示したものです。
室外ユニット据付説明書・室内ユニット据付説明書・他の説明書を合わせてご覧ください。

安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、「**△警告**」「**△注意**」に区分していますが、誤った据付をしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に「**△警告**」の欄にまとめて記載しています。しかし、「**△注意**」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。**⊘ 絶対に行わない** **⚠ 必ず指示に従い行う**
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって「安全上のご注意」や正しい使用方法、お手入れの方法をご指導ください。
- 据付説明書は、取扱説明書と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。またお使いになる方が代わられる場合は、新しくお使いになる方に、取扱説明書をお渡しくださるよう依頼してください。

△ 警告

- 据付は、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。 **⚠**
- 小部屋に据付ける場合は日本冷凍工業会のガイドライン JRA GL-13 に従い、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度超えると酸欠事故の原因になります。 **⚠**
- 作業中に冷媒が漏れた場合は換気する。
冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。 **⚠**
- 据付工事完了後冷媒ガスが漏れていないことを確認する。
冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。 **⚠**
- 配管、フレアナット、工具は R410A 専用のものを使用する。
既存 (R22) 部材を使用すると、機器の故障と同時に冷媒サイクルの破損などの重大な事故の原因になります。 **⚠**
- フレアナットの締付けはダブルスパナで行い、トルクレンチで指定の方法で締付ける。締付け過ぎによるフレア部の破損に注意してください。
フレア部のゆるみ、締付け過ぎによる破損が発生した場合に、冷媒ガスが漏洩して酸欠事故の原因になることがあります。 **⚠**
- 冷媒配管工事、機密試験および真空引きが完了するまでは、サービスバルブ(液、ガス共)を開けないでください。
冷媒配管が確実に取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧となり、破損、ケガ等の原因になります。 **⚠**
- エアコンの設置や移設の場合、冷媒サイクル内に指定冷媒(R410A)以外の空気等を入れない。
空気が混入すると冷媒サイクル内が異常高圧になり、破損、ケガ等の原因になります。 **⊘**
- 室内ユニットの近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタがユニット内に侵入した場合、ドレンパン等に損傷(ピンホール)をあたえ、水漏れ等の原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態にしておくとか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。 **⚠**
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実にを行う。
不完全な断熱施工を行うと配管等の表面が結露して、露たれ等が発生し、天井、床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。 **⚠**
- 冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる機密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になることがあります。 **⚠**

冷媒R410A対応機としての注意点

- R410A以外の冷媒は使用しないでください。R410Aは従来の冷媒に比べ圧力が1.6倍高くなります。R410Aはボンベ上部に桃色表示があります。
- R410A機は、他冷媒誤封入防止のため室外ユニット操作弁のチャージポート径とユニット内のチェックジョイント径を変更しています。又、耐圧強度を上げるため冷媒配管のフレア加工寸法及びフレアナットの対辺寸法を変更しています。従って、施工、サービス時には、右表に示すR410A専用ツールを準備してください。
- 異種油の混入を避けるために、冷媒の種類により工具を使い分けてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒(R22、R407C等)と共用しないでください。
- チャージシリンダは使用しないでください。チャージシリンダを使用すると冷媒の組成が変化し、能力不足等の原因になります。
- 冷媒封入は必ずボンベから液相で取り出して行ってください。
- 室内ユニットはR410A専用機となります。接続可能な室外ユニットはカタログ等で確認してください。(他の室内ユニットを接続すると正常に運転できません。)

	R410A専用ツール
a)	ゲージマニホールド
b)	チャージホース
c)	冷媒充填用電子はかり
d)	トルクレンチ
e)	フレアツール
f)	出し代調整用配管ゲージ
g)	真空ポンプアダプター
h)	ガス漏れ検知器

(表1)

①現地配管と配管継ぎ手の準備

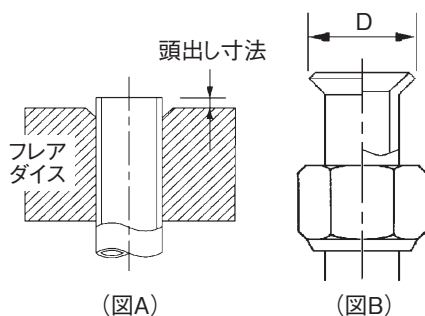
配管径 mm	最少肉厚 mm	質 別	フレアーナット 締付けトルク N・m
φ6.35	0.8	O材 OL材	14 ～ 18
φ9.52	0.8		34 ～ 42
φ12.7	0.8		49 ～ 61
φ15.88	1.0		68 ～ 82
φ19.05	1.2		100 ～ 120
	1.0	1/2H材 H材	
φ22.22	1.0		
φ25.4	1.0		
φ28.58	1.0		
φ31.75	1.1		
φ38.1	1.35		

JIS H 3300 C 1220T リン脱酸銅継目無管 (表2)

- (1)配管及び配管継手は、その配管に傷がないこと、及び経時硬化していないものを用い、フレア及びろう付管継手にあっては、JIS B 8607に規定したものを使用すること。
- (2)フレア加工する銅管はO材、OL材を使用する。また、R410A冷媒で外径φ19.05mmはO材では肉厚1.2mmを使用しなければならない。
- (3)ろう付接続する銅管は、外径φ19.05 mm 以上は1/2H、又はH 材の使用を推奨する。
- (4)フレアナットは製品付属のもの、又はJIS B 8607適合品を使用すること。

②既設配管再利用時の確認・点検事項

既設配管再利用の可否及び洗浄方法については、室外ユニットの説明書又はカタログ・技術資料で確認すること。



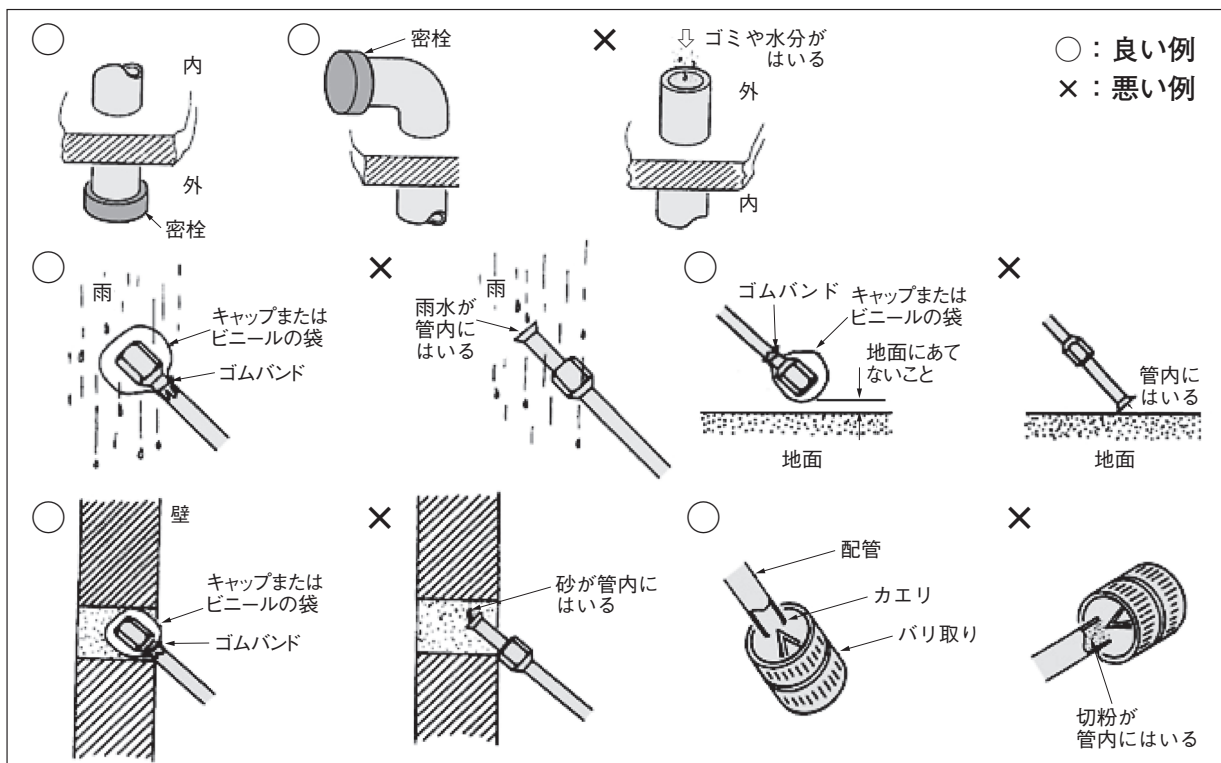
配管径 d mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm
	リジッド（クラッチ式）		
	R410A用	従来ツール	
φ6.35	0～0.5	0.7～1.3	8.9～9.1
φ9.52			12.8～13.2
φ12.7			16.2～16.6
φ15.88			19.3～19.7

(表3)

- (1)フレアナットは流用せずユニットに付属のものを使用し、部分的に交換した新しい配管に、R410A用のフレア加工（図A、図B、表3）をしてください。
- (2)配管肉厚、設置年数、過去に配管腐食による漏えいの有無確認を行ってください。
⇒再利用する既設配管に、ガス漏れはありませんか？
- (3)既設配管の気密確認をしてください。
気密不良の場合、既設配管を再利用できません。新規配管をご使用ください。
- (4)配管に腐食、亀裂、傷、変形、劣化などが無いかを可能な限り点検してください。
⇒再利用する既設配管に、腐食・傷・へこみはありませんか？
- (5)不具合部分を修正してください。
⇒修正不能の場合、既設配管を再利用できません。新規配管をご使用ください。
- (6)再利用する既設配管の断熱材に、剥がれ、劣化はありませんか？
配管支持金具は緩んでいませんか？
- (7)不具合部分を修正してください。
修正不能の場合、既設配管を再利用できません。新規配管をご使用ください。

③冷媒配管施工上の注意点

(1)配管は、接続の直前まで密栓・キャップ等でカバーして水分、ゴミ、ほこり、切粉、壁材などが入らないようにすること。



(図C)

(2)冷媒配管はできるだけ短く、直線になるように配管する。やむを得ず曲がりを取る場合は、曲げ半径を配管外径の4倍以上にすること。

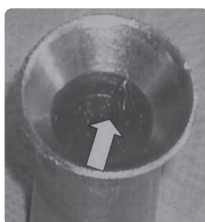
(3)冷媒配管を曲げる場合はベンダを使用し、パイプが2/3D以下につぶれないようにすること。

(4)作業手順

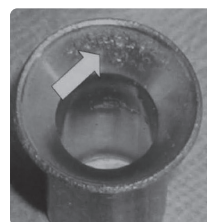
- ①パイプ切断：パイプの長さに余裕（30～50mm）をもって、パイプカッターを使用し、切断面を直角にする。
- ②バリ取り：切り粉が配管に入らないように、配管を下向きにして、リーマを使用する。
- ③バリの銅くず除去：配管内部の銅くずを、ドライバの柄などで軽くたたか、ガーゼ棒を使用して除去する。
- ④フレア加工：フレアナットを挿入し、フレアダイス面から配管先端までは適正な寸法でセットし（図A,表3）、フレア内面はキズがないように真円で均一に加工する。
- ⑤フレア部の確認：（図B、表3）にて寸法を確認し、図Dのような形状となっていないか確認する。



コーン・位置不良によるキズ



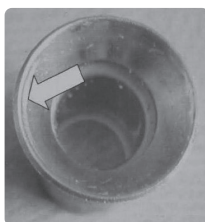
リーマ・やすりがけの切粉の付着



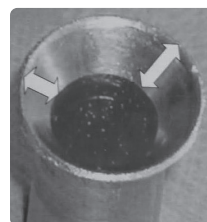
コーンに付着したゴミによるキズ



加工後の衝撃による変形



バリ取り不足による段差



曲ったパイプ使用による扁平

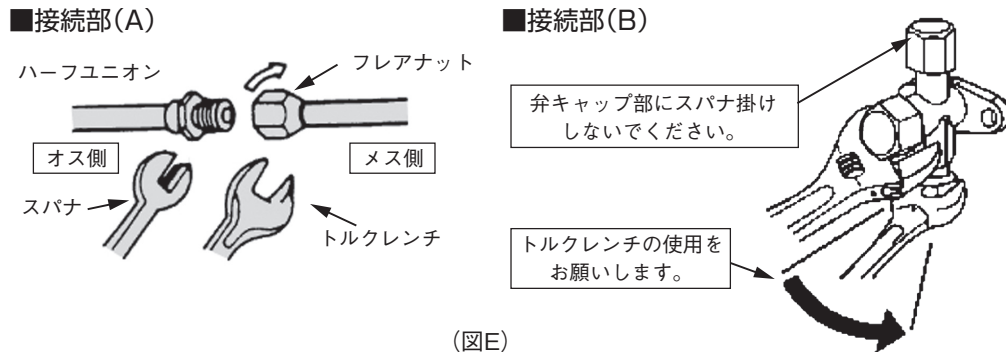
フレア加工の不具合例

(図D)

③冷媒配管施工上の注意点の続き

(5)フレアーナットは、トルクレンチを使用して、表2のトルクで締め付けること。

図の様にユニオン側又は操作弁側を固定して適性なトルクで締め付ける。



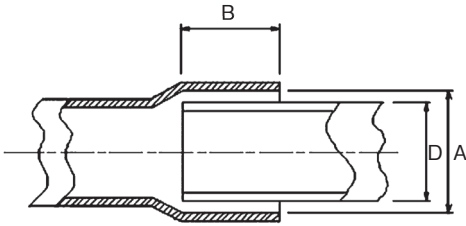
(図E)

注記

同一締め付けトルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、又はフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

④ろう付接続に関する注意点

- (1)ろう付作業は高度な技術と経験を要するため、労働安全衛生法で定めた溶接技能士又は、ガス溶接技術講習を終了した者が作業すること
- (2)ろう付接合面を重ね、そのすき間にろう材を溶着させるため、接合面積を十分に取り、適切なすき間を取る。
- (3)銅管継手の最少はまり込み深さと、管外径と継手内径のすき間は、表4のとおり。
- (4)銀ろうの場合のすき間は0.05mm～0.1mm程度が、接続強度を最も高くすることができる。

	配管径 D	最小はまり込み深さ B	すき間 A-D
	φ5 以上 φ8 未満	6	0.05～0.35
	φ8 以上 φ12 未満	7	
	φ12 以上 φ16 未満	8	0.05～0.45
	φ16 以上 φ25 未満	10	
	φ25 以上 φ35 未満	12	0.05～0.55
	φ35 以上 φ45 未満	14	

(表4)

(5)ろう材については、次の注意事項を遵守する。

- (a)亜硫酸ガス濃度が高いなど、腐食性雰囲気では、りん銅ろうBCuP はイオウと反応しやすく、水溶性のもろい化合物を作り、冷媒漏えいの原因となるので、他のろう材（例えば銀ろう）にする。また、ろう付部を塗装するなどの対策が必要。
- (b)低温ろう（熔融温度が450℃未満のもの、いわゆる“はんだ”）は、強度が弱く冷媒漏えいを起こすおそれがあるため、使用しない。
- (c)修理などで再ろう付する場合は、同一ろう材を使用する。ろう材の名称が同じでも号数が異なれば、再ろう付できない場合がある。



④ろう付接続に関する注意点の続き

(6)フラックスを使用する場合は、母材の種類、形状及びろう材の種類及びろう付の方法などによって、適切なフラックスの選定が必要となる。表5にフラックスの分類を示す。注意事項を次に示す。

- (a)ろう付後、フラックスを除去する。
- (b)フラックスに含まれる塩素が配管内に残量すると冷凍機油が劣化する原因になるので、塩素含有率の低いフラックスを選定する。
- (c)フラックスに水を追加する場合は、塩素を含まない蒸留水を使用する。その他、JIS Z 3621 参照。

AW5 No.	使用形状	ろうのタイプ	活性温度範囲 単位 °C	フラックスの組成	母材の種類
FB3-A	ペースト	B _{Ag} , B _{CuP}	565～870	ほう酸塩 フッ化物	すべてのろう付できる 鉄、非鉄金属合金
FB3-C	ペースト	B _{Ag} , B _{CuP}	565～925	ほう酸塩, ボロン, フッ化物	すべてのろう付できる 鉄、非鉄金属合金
FB3-D	ペースト	B _{Ag} , B _{CuP} , B _{Ni}	760～1205	ほう酸塩, フッ化物	すべてのろう付できる 鉄、非鉄金属合金
FB3-K	液 状	B _{Au} , B _{CuZn} , B _{Ag} , B _{CuP}	760～1205	ほう酸塩, フッ化物	すべてのろう付できる 鉄、非鉄金属合金
FB4-A	ペースト	B _{CuZn} , B _{Ag} , B _{CuP}	595～870	塩化物, ほう酸塩, フッ化物	Al 青銅, Al 黄銅, Ti 及び他の 金属が少量添加されたもの

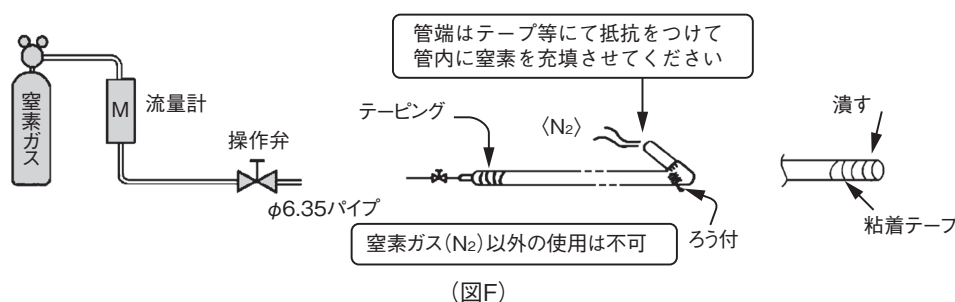
表5 フラックスの分類

(7)ろう付作業は、配管材の内部に酸化皮膜が発生しないように窒素ガスを流しながら（窒素ガスブロー）施工する。

(8)酸化皮膜が発生すると、はがれてキャピラリチューブ・膨張弁の詰まり及び圧縮機の故障の原因になる。

(9)作業手順は、次による。

- ①窒素容器に減圧弁と流量計を付ける。
- ②配管材に導く配管は細い銅管を使用し、容器側に流量計を取付ける。
- ③配管材と挿入する窒素用導管のすき間は、図Fのように外から空気が混入するのを防ぐためにシールする。
- ④窒素ガスを流すときは、配管側の端部は行き止まりにせず、抵抗を付けて開放する。
- ⑤窒素ガスの流量は0.05m³/h、又は減圧弁で0.02MPa (0.2 kgf/cm²) 以下が適当。
- ⑥ろう材に適した温度でろう付する。
- ⑦操作弁と配管とのろう付は、弁本体を濡れタオル等で冷やしながら実施してください。
- ⑧作業後、配管がある程度冷えるまで（手でさわられる程度、やけど注意）窒素ガスを流したままにする。
- ⑨ろう付作業後フラックスは完全に除去する。



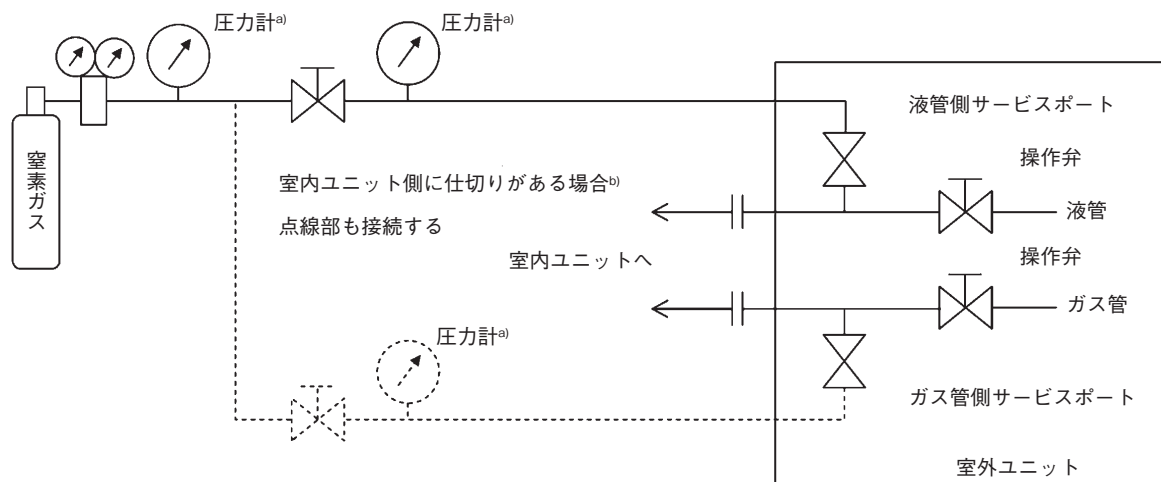
(10)ろう付時の注意事項は、次による。

- (a)過 熱 防 止 ろう付加熱により母材の内外面は酸化するが、特に配管内部の加熱酸化によるスケールの生成は冷媒系統のゴミとなり、致命的な悪影響を及ぼすので、ろう付適正温度でしかも必要最小限の加熱面積でろう付する。
- (b)過 熱 保 護 バーナーの火炎によるろう付部に近い部品の火災による過熱損傷及び変質を防ぐため、金属板による遮蔽保護並びにウエスを水に浸して保護する、又は熱吸収材を使い過熱保護する。
- (c)ろ う 付 後 の 冷 却 加熱後すぐに水をかけると、配管が劣化する場合もあるため、水をかけないことを推奨する。
- (d)ろ う 付 時 の 固 定 熔融したろう材が凝固する時、動いたり振動が伝わったりすると、ろう付部に割れが入り漏えいの原因となる。
- (e)酸化防止剤について ろう付作業の効率化のため、各種酸化防止剤が出回っている。しかし、その成分は多種多様であり、中には配管を腐食し、HFC 冷媒及び冷凍機油などに悪影響を及ぼすことが予想されるものもあるので、注意を要する。

⑤気密試験

配管施工が終了した後、漏えいの有無を検査するため、配管に窒素ガスを加圧封入し圧力計の針の動きによって漏えいがないことを確認する。

図Gに示す装置を用いて窒素ガスにより加圧し、漏えいが予想される箇所に発泡液を塗布して泡の発生がないことを確認する。



(図G)

注a) 文字板の大きさは、75mm以上のものを使用する。最高目盛は、試験圧力の1.25倍以上2倍以下のものを使用する。

精度1.6級以上のものを使用する。

注b) 店舗用：室内ユニット側に仕切りがない場合は、ガス管/液管どちらか片方からの加圧のみでも可。

マルチ：室内ユニット側に膨張弁等による仕切りがある場合は、ガス管/液管両方に加圧すること。

(新品出荷時点は膨張弁は開で出荷。通電後に停止した場合は膨張弁は閉となっています。)

(1)気密試験方法

①気密試験は、窒素ガスで機器の気密試験圧力まで、冷媒配管内を加圧して行うため、図Gを参考に器具類を接続する。

注記1 気密試験時に機器を運転してはならない。

注記2 加圧ガスにはフロン類、酸素及び可燃性ガスなどは絶対に使用しない。

注記3 機器側の操作弁は閉じたまとし、配管施工部以外に加圧しないように注意する。

注記4 室内ユニット側に膨張弁等による仕切りがある場合は、必ず液管、ガス管の両方に加圧し気密試験を実施する。

注記5 ろう付後、配管温度が下がらないうちに加圧すると、冷却後に減圧するので注意する。

②加圧は一度に試験圧力値まで昇圧せず、徐々に加圧する。

注記1 0.5MPaまで加圧したところで、加圧を止めて5分間以上放置し、圧力の低下のないことを確認する。

注記2 1.5MPaまで加圧し、再び5分間以上そのまま放置し、圧力の低下のないことを確認する。

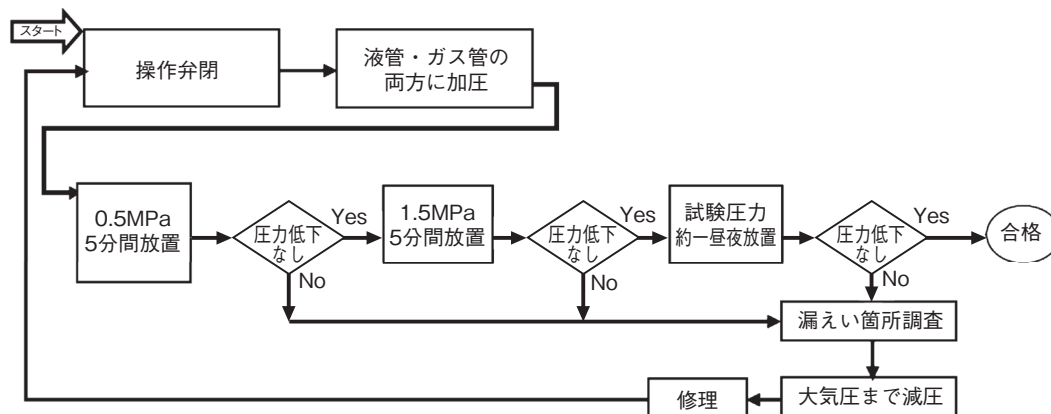
注記3 その後に試験圧力値まで昇圧し、周囲温度と圧力をメモする。

③規定値で約一昼夜放置し、圧力が低下していなければ合格とする。

容器内の気体の圧力は絶対温度に比例するため、外気温度による圧力変動に注意する。

例 (測定時絶対圧力) = (加圧時絶対圧力) × { (273+測定時温度 (°C)) / (273+加圧時温度 (°C)) }

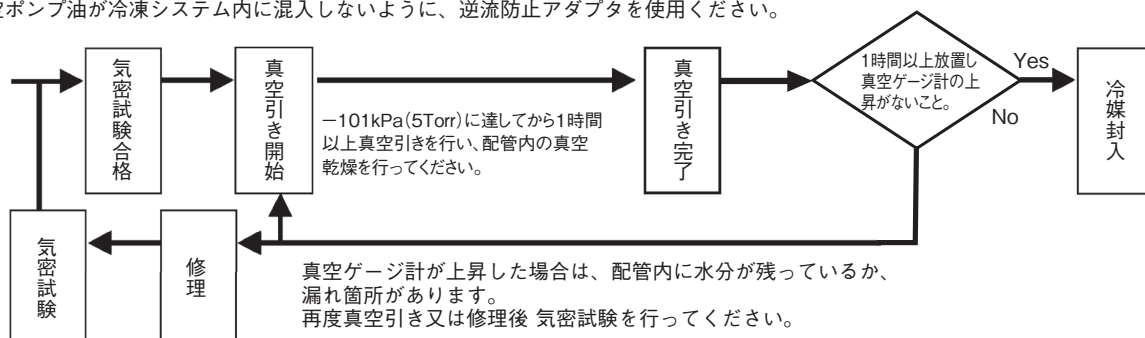
④上記②、③の確認で、圧力低下が認められた場合は漏えいがあるので、必ず補修し再度漏えいのないことを確認する。



(図H)

⑥真空引き

- (1)気密試験合格後に冷媒配管内部の空気、又は窒素ガスを排除するため、真空ポンプで真空引きを行ってください。
- (2)冷媒によるエアバージは、冷媒の放出を伴うため、禁止されています。
- (3)真空ポンプ油が冷凍システム内に混入しないように、逆流防止アダプタを使用してください。



(図J)

⑦冷媒の封入と記録 操作弁を開く

- (1)冷媒種類はポンペ上部に色表示 (R410Aは桃色) してありますので、誤り無きよう十分確認してください。
- (2)チャージシリンダは絶対使用しないでください。R410Aをシリンダに移し換える際に冷媒組成が変化する恐れがあります。
- (3)冷媒の封入は必ずかりを使用して計量しながら行ってください。
- (4)R410A冷媒は液相で封入する必要がありますので、ポンペを倒立させて充てんするか、サイフォン管付の冷媒ポンペから充てんしてください。
- (5)操作弁を閉じたまま、必ず液側のサービスポートから液冷媒で封入してください。規定量が封入できない場合は、室外ユニットのバルブを液側、ガス側ともに全開にした後、冷房運転を行いガス側（吸入側）サービスポートから封入します。この際も、ポンペからの冷媒取出しは必ず液相で行ってください。ただし圧縮機保護のため、ポンペのバルブを絞り気味にするか、液冷媒を霧状に変換する専用ツールを使用して、ユニットに吸引された時にはガス化しているように調整してください。
- (6)運転しながら冷媒封入する場合は必ず30分以内に完了してください。冷媒不足の状態で長時間運転されますと圧縮機の故障の原因となります。
- (7)室外ユニット説明書に従って配管長から算出した冷媒量を決定し、その追加した冷媒量を室外ユニットサービスパネル裏面の冷媒量記入欄に記入してください。
- (8)冷媒封入作業完了後、冷媒液側及びガス側の操作弁を全開にしてください。
- (9)バルブはキャップを被せ、所定のトルクで締め付けてください。
チャージポート・チェックジョイントのキャップの締め付けトルク：11～13N・m
操作弁のキャップの締め付けトルク：30～33N・m

⑧配管の断熱工事

- (1)断熱工事は、気密試験の時に漏えいを検出可能なように、気密試験実施後に行う。
- (2)埋設配管途中に配管継手がある場合は、接続箇所の点検が可能なように点検口などを設けてください。
- (3)配管接続部が天井内にある場合にも必ず点検口を設けてください。
- (4)断熱材は120℃以上の耐熱性のあるものをご使用ください。耐熱性が低いと断熱不良や電線劣化の原因となります。
- (5)防露断熱工事に不備があると、水漏れまたは露たれが発生し、家財等を濡らす原因となることがあります。
- (6)ガス管は冷房運転時、配管に結露したものがドレン水となり水漏れ事故となることがあります。また、暖房時には吐出ガスが流れ、管表面温度が高温となるため、人に接触すると火傷などの危険があります。
- (7)室内ユニットのフレア接続部分は断熱材（パイプカバー）で断熱してください。（ガス管・液管共に断熱してください。）
- (8)断熱はガス側、液側配管共両方に行ってください。その際断熱材と配管を密着させて隙間ができないように接続線と共に外装テープで巻いてください。
- (9)本エアコンはJ I S露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、相対湿度70%※を超える天井内等では、ガス側、液側配管共厚さ20mm以上の断熱が必要となります。
※中温パッケージの場合は相対湿度60%

(3) 既設配管洗浄運転手順

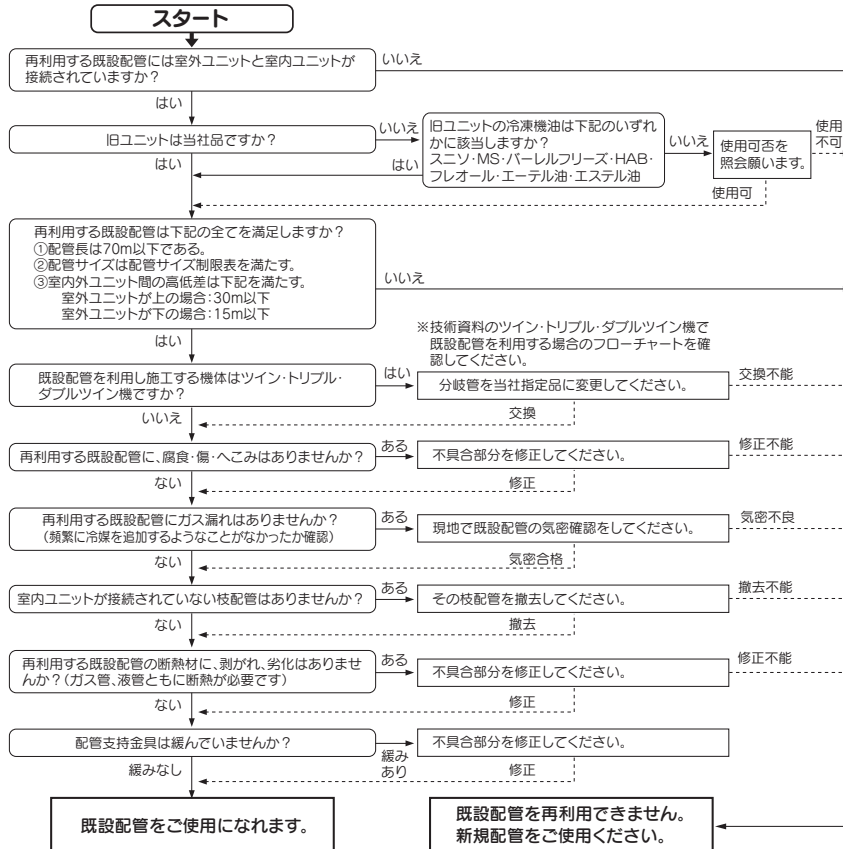
PSC012D013A[△]

1. ご使用の前に確認いただきたい事項

(1) 既設配管流用時の条件

注意ポイント	配管	この手順書での記載項
クリーン (CLEAN) ・配管内にゴミがないこと	(a) 既設配管は既設機ユニットに接続された状態であること。 外れた状態では、既設配管内に雨水、空気が浸入し配管内が錆びている可能性があります。 (b) フロン回収破壊法に従い、確実に冷媒回収を行うこと 冷媒をみだり大気中に放出すると、罰則が適用される場合があります。 (c) 内蔵の洗浄回路により、指定の時間洗浄運転ください。	⇒1 (2) 既設配管流用可否判断フローチャート ⇒2 既設配管流用時の現地施工手順 ⇒3 洗浄運転
ドライ (DRY) ・配管内に水分がないこと	(d) 確実な真空引きの実施 -101kPa(-755mmHg) 以下になってから1時間以上真空ポンプの運転を実施。	⇒2 既設配管流用時の現地施工手順
タイト (TIGHT) ・冷媒もれがないこと	(e) 既設配管に腐食・傷・へこみがないこと。更に断熱材の剥れ・劣化がないこと。 (f) R410A用のフレアナットの使用かつフレア加工の実施。 (g) 気密試験(規定圧力:4.15MPa)を確実にすること。	⇒同封の据付説明書の2 冷媒配管工事を参考ください ⇒2 既設配管流用時の現地施工手順

(2) 既設配管流用可否判断フローチャート



〈配管サイズ制限表〉

◎:標準配管サイズ ○:使用可能 △:配管長制限短縮 冷↓:冷房能力低下 ×:使用不可

●表に記載のない配管サイズの組み合わせは使用できません。

配管1m当たりの追加チャージ量		0.02kg/m		0.06kg/m		0.08kg/m	
配管サイズ	液管	φ6.35	φ6.35	φ9.52	φ9.52	φ12.7	φ12.7
	ガス管	φ12.7	φ15.88	φ12.7	φ15.88	φ19.05	φ19.05
VP80	適用範囲	冷↓	△	冷↓	◎	○※1	△
	最大片道配管長	20	20	70	70	35	×
	チャージレス長	10	10	30	30	15	×
VP112	適用範囲	×	△	×	◎	○※1	△※1
	最大片道配管長	×	20	×	70	50	50
	チャージレス長	×	10	×	30	15	15
VP140	適用範囲	×	△	×	◎	○※1	△※1
	最大片道配管長	×	20	×	70	50	50
	チャージレス長	×	10	×	30	15	15
VP160	適用範囲	×	△	×	◎	○※1	△※1
	最大片道配管長	×	20	×	70	50	50
	チャージレス長	×	10	×	30	15	15

※1:φ19.05 × t1.0は耐圧強度が不足のため、VP112,140,160の場合は、室外ユニット基板上的ディップSW5-1をONにしてください。

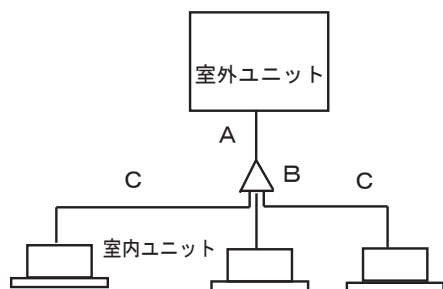
VP80の場合は、ディップSW7-1をONにしてください。(ツイン・トリプル機の場合、第1分岐以降の配管にφ19.05 × t1.0が存在する場合を含む)ただし、1/2H材または肉厚1.2以上の配管を使用の場合は必要ありません。

※2:配管長の下限は3mとしてください。3m以下の場合、冷媒充填量を減らす必要があります。

冷媒回収、再充填を行う場合は最寄の代理店にお問合せください。

(3) 分岐間使用時の留意点

ツイン・トリプル機にて既設配管を使用する場合は、下記の該当項目を確認してください。



室外ユニット容量 (馬力)		VP80	VP112	VP140	VP160
	A 部 主管	(2) 項既存配管使用可能範囲を参照			
	B 部 分岐管	当社製ユニット分岐管の場合一部使用可。 (3) 項参照			
	C 部 分岐後配管	配管サイズにより、一部使用可。			

■ツイン・トリプル機で既設配管を使用する場合、下記フローチャートで主管・分岐管・分岐後配管の流用可否を確認してください。

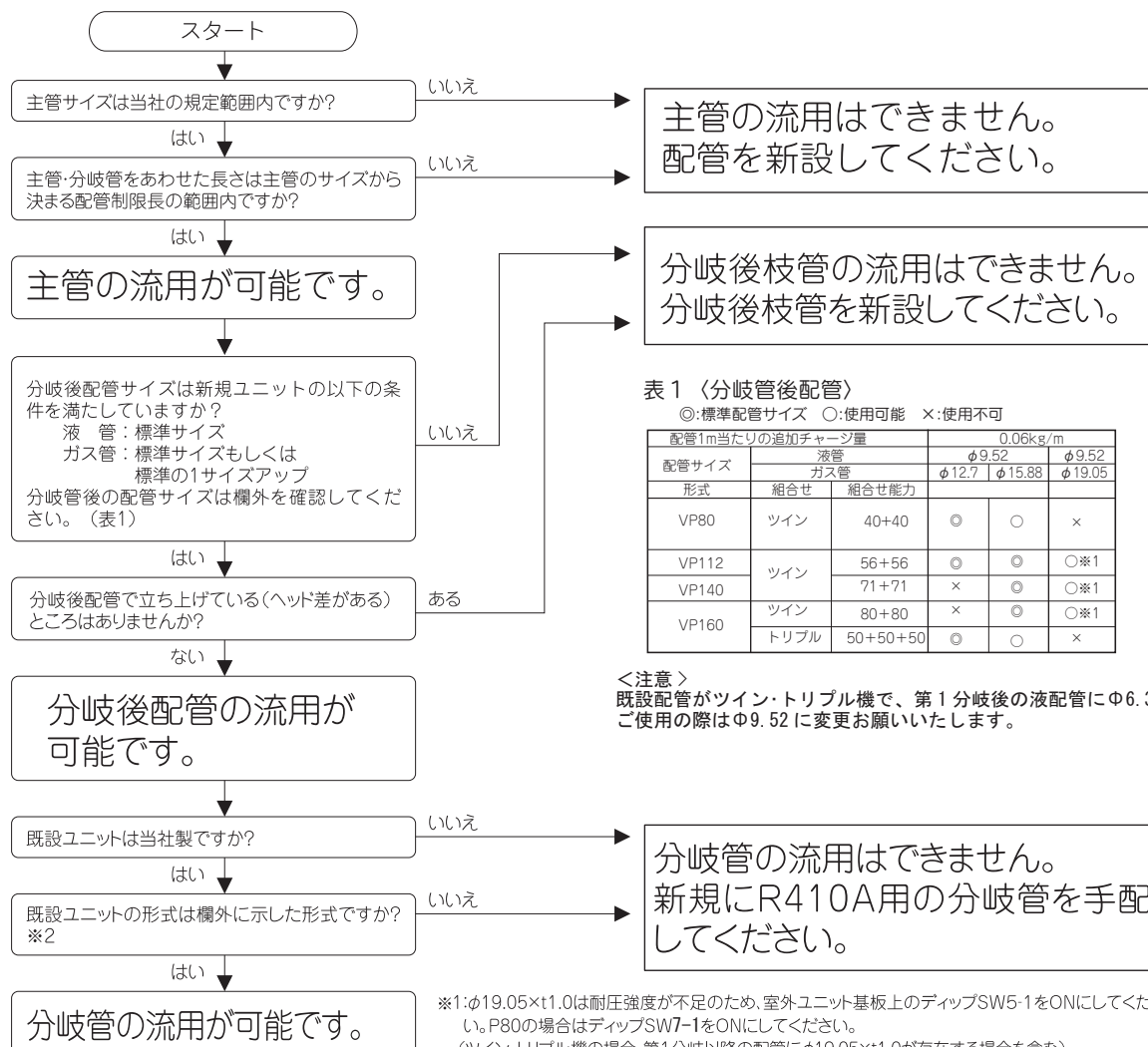


表 1 〈分岐管後配管〉

◎:標準配管サイズ ○:使用可能 ×:使用不可

配管1m当たりの追加チャージ量		0.06kg/m		
配管サイズ	形式	液管 ガス管	φ9.52	
			φ12.7	φ15.88
VP80	ツイン	組合せ能力	φ12.7	φ15.88
		組合せ能力	φ12.7	φ15.88
VP112	ツイン	40+40	◎	○
		56+56	◎	◎
VP140	ツイン	71+71	×	◎
		80+80	×	◎
VP160	トリプル	50+50+50	◎	○
				×

＜注意＞

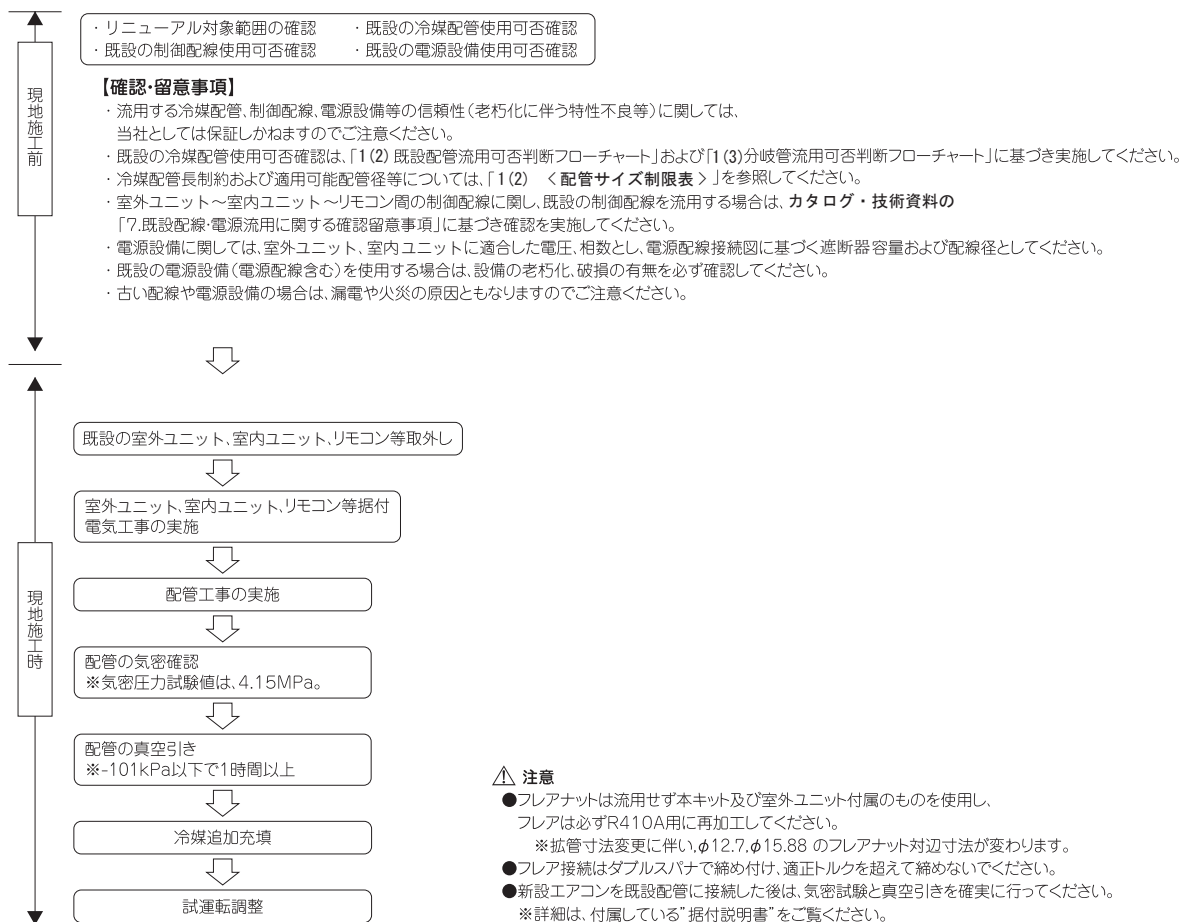
既設配管がツイン・トリプル機で、第1分岐後の液配管にφ6.35をご使用の際はφ9.52に変更お願いいたします。

※2:〈分岐管流用可能な既存ユニット機種〉

112~160:FDCJ~H,FDCJ~HA,FDCJ~HD,FDCJ~HD1,FDCJ~HD2,FDCJ~HD3(A),FDCP~HD3以降のFDCの後に" P "がつく形式

※~には能力を示す数字が入ります。 ※既存ユニットがFDC~ではまる形式の場合(FDCの後に" J "または" P "がつかない形式。例:FDC125H8A),分岐管は流用できません。 R410A用の分岐管を使用してください。(分岐管にオリフィスがないため室内ユニット間の分配不良となります。また耐圧不足となります。)

2. 既設配管流用時の現地施工手順



3. 洗浄運転

① 洗浄運転前の確認事項

○同封の据付説明書を参考に、以下の内容を確認ください。

据説の項目	項目	確認項目	チェック
2	冷媒配管工事	ろう付した場合は、配管に窒素ガスを流してろう付しましたか。	
		気密試験、真空引きは確実に行いましたか。	
		配管の断熱材は液管とガス管の両方に取付られていますか。	
		冷媒追加充填量、冷媒配管長さをパネルのラベルに記入しましたか。	
4	電気配線	配線の接続忘れ、欠相、逆相はないですか。	
		冷媒追加充填量、冷媒配管長さをパネルのラベルに記入しましたか。	
		遮断器、配線などの電気機器は適正容量の機器を使用していますか。	
		複数設置の場合は、ユニット間の配線がいれかわっていませんか。	
		リモコン線に室内外通信線を接続していませんか。	
		室内外配線は同一端子番号で接続していますか。	
		室内外配線はVCT キャブタイヤケーブルまたはVWF 平行ケーブルですか。	
		アース工事はD 種接地工事が行われていますか。	
		配線の取付け部のねじが緩んでいませんか。	
—	室内ユニット	配線は配線クランプで固定し、端子接続部に外力が加わらないようになっていますか。	
		室内ユニットの据付作業は完了していますか。	
		室内ユニットに化粧パネルを取付ける場合には、化粧パネルの取付けが完了していますか。	

②洗浄運転手順

○下記の順番に従ってチェックしながら行ってください。

順番	操 作 内 容	チェック
①	冷媒配管工事、電気配線、室内工事が正しく完了しているか ①の表にそって確認してください。	
②	ガス側操作弁を全開にしてください。	
③	液側操作弁を全開にしてください。	
④	既設配管にΦ19.05×t1.0 をご使用の場合、VP80 は SW7-1 を ON に、VP112,140,160 は SW5-1 を ON してください。	
⑤	VP80 は SW8-1 を OFF⇒ON、VP112,140,160 は SW5-2 を OFF⇒ON で既設配管洗浄を開始します。	
⑥	⑤のディップ SW ON で 緑 LED が高速点滅します。(0.5 秒 ON/0.5 秒 OFF) リモコン(RC-E4 等)のディスプレイ上には「冷房試運転」が表示されます。 (洗浄運転は冷房運転で行います。リモコンディスプレイ上は「冷房試運転」と表示します。)	
⑦	赤 LED が点滅していないことを確認してください。	
⑧	室内ユニットから冷風が吹いていることを確認ください。(洗浄運転は冷房運転で行います。)	
⑨	洗浄運転は 2 時間必要です。⑤ディップ SW ON 後、圧縮機の積算運転時間 2 時間で自動終了(緑 LED が通常点滅(1 秒 ON/1 秒 OFF))になります。手動にて終了する場合、ディップ SW を ON⇒OFF にしてください。再始動は OFF⇒ON で可能です。)	

○洗浄運転自動終了後、ディップ SW8-1(VP80),SW5-2(VP112,140,160) は ON 位置のままでも通常のエアコン制御になります。停電後の復電時、ON 位置のままでも、エアコン制御を行います。(洗浄運転開始は SW 位置の OFF ⇒ ON 一連の動作から開始します。)

○複数台数の室外ユニットを同一リモコンに接続する場合には、洗浄運転の実施後に、各室外ユニット毎のリモコン配線を接続してください。

○室内吸込み温度が 15℃以下の場合、洗浄運転が断続運転になる場合がありますが、故障ではありません。この圧縮機が停止している時間は洗浄運転の累積時間に含まれません。

既設配管の中にΦ19.05×t1.0 がある場合
SW5-1 を ON にしてください。(既設配管の耐圧に
応じた圧力制御にするためです。)

SW5-2 を OFF⇒ON 3 分後に既設配管洗浄運転
が開始します。



緑 LED, 赤 LED
基板上にあります。

緑 LED, 赤 LED
基板上にあります。



既設配管の中にΦ19.05×t1.0
がある場合 SW7-1 を OFF⇒ON
にしてください。
(既設配管の耐圧に応じた
圧力制御にするためです)



SW8-1 を OFF⇒ON
3 分後に既設配管
洗浄運転開始します。

VP80 の SW と LED の位置

VP112, 140, 160 の SW と LED の位置

12. マイコン運転制御機能

下記に示す以外は、2014年 冷熱ハンドブック サービス編をご覧ください。

(下記制御はFDCVP804HAG/A, 804HKAG/Aは未対応です。)

(1) パワトラ放熱フィン温度による室外ファン制御

圧縮機始動から3分以降に下記条件が全て成立したときに下記制御を実施します。

(a) 冷房・除湿

- (i) 外気温度 $Tho-A \geq 33^{\circ}\text{C}$
- (ii) 圧縮機実回転数 $\geq 60\text{rps}$
- (iii) パワトラ放熱フィン温度 $\geq 80^{\circ}\text{C}$

(b) 暖房

- (i) 外気温度 $Tho-A \geq 16^{\circ}\text{C}$
- (ii) 圧縮機実回転数 $\geq 70\text{rps}$
- (iii) パワトラ放熱フィン温度 $\geq 80^{\circ}\text{C}$

(c) 制御内容

- (i) 室外ファンタップを1速上げます。
- (ii) サンプルングを60秒としパワトラ放熱フィン温度 (IPM) の値が下記のと き。
 - 1) パワトラ放熱フィン温度 (IPM) $\geq 80^{\circ}\text{C}$ の場合は、さらに室外ファンタップを1速上げます。
 - 2) $80^{\circ}\text{C} > \text{パワトラ放熱フィン温度 (IPM)} \geq 75^{\circ}\text{C}$ の場合は現状の室外ファンタップを維持します。
 - 3) パワトラ放熱フィン温度 (IPM) $\leq 75^{\circ}\text{C}$ の場合は、室外ファンタップを1速下げます。

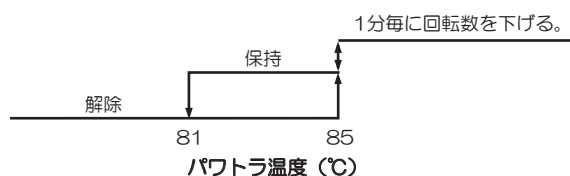
(d) 終了条件

上記(ii), 3) 項の条件かつ冷房・除湿、暖房運転時のファンタップ制御の項で決まる室外ファンタップで運転していることを2回連続検知したとき。

(2) パワトラ温度保護

(a) 保護制御

パワトラ温度 (IPM) が設定値を超えると、圧縮機回転数を制御しパワトラ温度の上昇を押さえます。



(b) 異常停止制御

- (i) パワトラの温度が更に上昇すると、パワトラ内部の保護スイッチが作動し圧縮機を停止させ、パワトラを保護します。
- (ii) 以下の条件で異常停止モードとなります。

圧縮機停止中も含め15分間、パワトラ内の保護スイッチが作動し続けた時点 (E51表示)

13. 電装品故障診断要領

下記に示す以外は、2014年 冷熱ハンドブック サービス編をご覧ください。

※但し、部品生産中止に対応する為インバータ基板の再設計を実施しましたので、旧機種単相機で交換用に再設計インバータ基板を使用する場合は交換要領が変更になりますのでご注意ください。詳しくは 75 ページ（旧室外ユニット基板交換要領）を参照してください。

13.1 室外ユニット基板の交換手順

室外ユニットの故障診断は、リモコンの故障記号、室外制御基板上の点検表示灯（赤・LED）および正常表示灯（緑・LED）の点滅パターンを確認して故障の概要とその原因、部位を推定した上で点検・修理を進めてください。

室内・外マイコンによる自己診断はマイコン異常の他、電源系統の異常、据付スペース、冷媒量不適等に起因するオーバーロード等を診断でき故障の発見が円滑に行えます。

また、室外の点検表示灯は電源を遮断する以外、故障が自動復帰した後も記憶され点滅を続けます。

故障復帰後、記憶されている故障より優先度の高いモードが発生すると、そのモードに切り替えて記憶します。

〔電源のリセットについて〕

室外制御基板交換をする場合および点検をする場合、室外ユニットへの供給電源を遮断してもコントローラ内部の電解コンデンサに電圧が残っていますので、作業をされる場合は感電にご注意ください。

電源遮断後3分以上が経過し、コントローラ内部の緑LEDが10秒以上、消灯していることを確認してから作業を実施ください。電解コンデンサ（C58）の両端の電圧（DC）を測定して十分に放電した事を確認してください。

（防湿コーティングしてあるため測定できないことがありますので、感電に注意して防湿剤を剥がして測定してください。）

(1) 室外コントローラ関係の交換部品単位

室外制御基板、インバータ基板、温度センサ（室外熱交、吐出管、外気、パワトラ、吸入管）、ヒューズ（電源、制御基板）、ノイズフィルタ、コンデンサ、リアクタ

(2) 基板交換要領

安全上のご注意	
・ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。	
 警告	誤った作業を行った時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
 注意	誤った作業を行った時に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
 警告	
・基板交換はこの交換要領書に従って確実に行ってください。 交換作業に不備があると、感電や火災の原因になります。	
・基板交換時は、必ず室外ユニットの電源が切れていることを確認してから行ってください。 通電状態での基板交換は、感電の原因になります。	
・基板交換の作業終了後、電源投入前に基板と配線が正しく接続されていることを確認してください。 交換作業に不備があると、感電や火災の原因になります。	
 注意	
・配線はつっぱらないように結束してください。感電の原因になることがあります。	

(a) 制御基板

下記の要領で制御基板の交換を行ってください。

(i) 交換作業は、電源を切って3分後に実施してください。

（図2. インバータ基板のファストンタブの位置を参照し T26, T27 の電圧（DC）を測定し十分に放電（10V 以下まで）したことを確認してください。）

(ii) 制御基板のコネクタを外してください。

(iii) 新しい基板の設定スイッチ（SW4）の設定を交換前の基板に合わせてください。

(iv) 制御基板へコネクタを接続してください。（接続後、半挿しが無い様確認してください。）

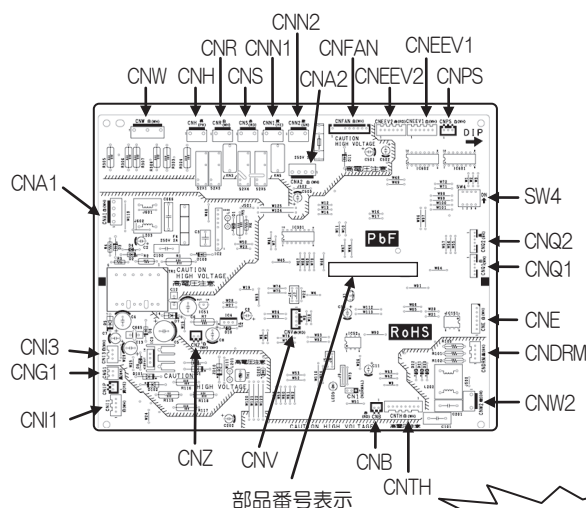
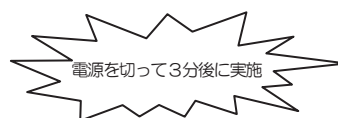


図1. 部品配置図



電圧測定箇所(T26(アカ), T27(アオ))

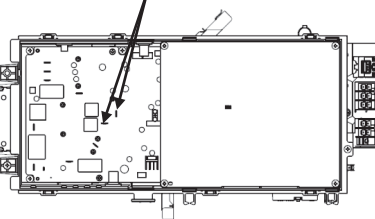


図2. ファストンタブの位置

※電装部品の有無, 形状及び位置は, 機種によって異なる場合があります。

PCAO12DO49A

(b) インバータ基板

下記の要領でインバータ基板(図1)の交換を行ってください。

(i) 交換作業は、**電源を切って3分後に実施**してください。

(電源オフ直後はコンデンサが放電されておらず高電圧状態で危険な為、コントローラに触らないでください。)

ハーネスが接続されている状態で図2に示すT26, T27間の**DC電源電圧を測定し, 10V以下(コンデンサ放電後の電圧)である**ことを確認してください。

(ii) 図1で示すインバータ基板上的コネクタおよびファストン端子を外してください。

(iii) 新しいインバータ基板のJ SW10, 11のON/OFF設定を交換前の状態に設定してください。

(iv) コントローラのハーネスバンド3か所を取外し, 放熱フィンの固定ねじ4か所を外してください。(図3参照)

(v) インバータ基板を放熱フィンごとコントローラから取外し, 新しいインバータ基板と交換してください。

交換の際に, ハーネスが放熱フィンなどに噛み込まない様注意してください。

(vi) 放熱フィンをねじで締めてコントローラと固定してください。その後, コネクタおよびファストン端子を元通り接続してください。(コネクタ接続後に**半挿しが無い様**確認してください。)

(vii) 付属のハーネスバンドを元の位置に取付け(3か所), ハーネスをバンドで元通り固定してください。

(viii) 付属のハーネスクリップを図4に従ってインバータ基板に取付け, ハーネスを固定してください。

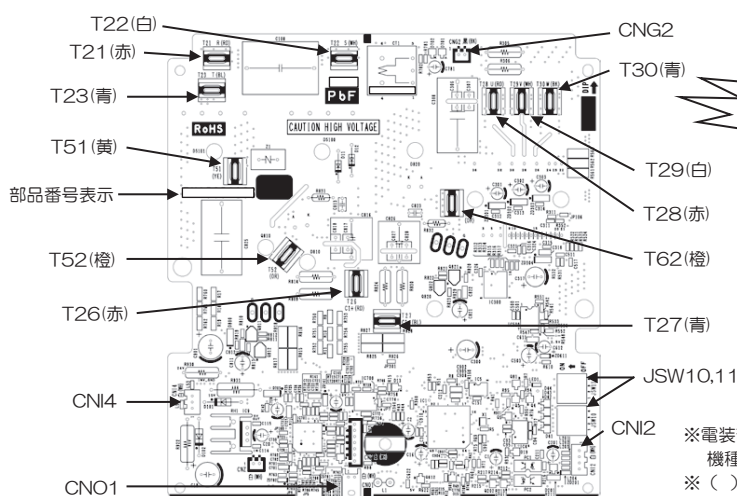


図1. 部品配置図

※電装部品の有無および形状は, 機種によって異なる場合があります。
※()内は接続配線色を示します。

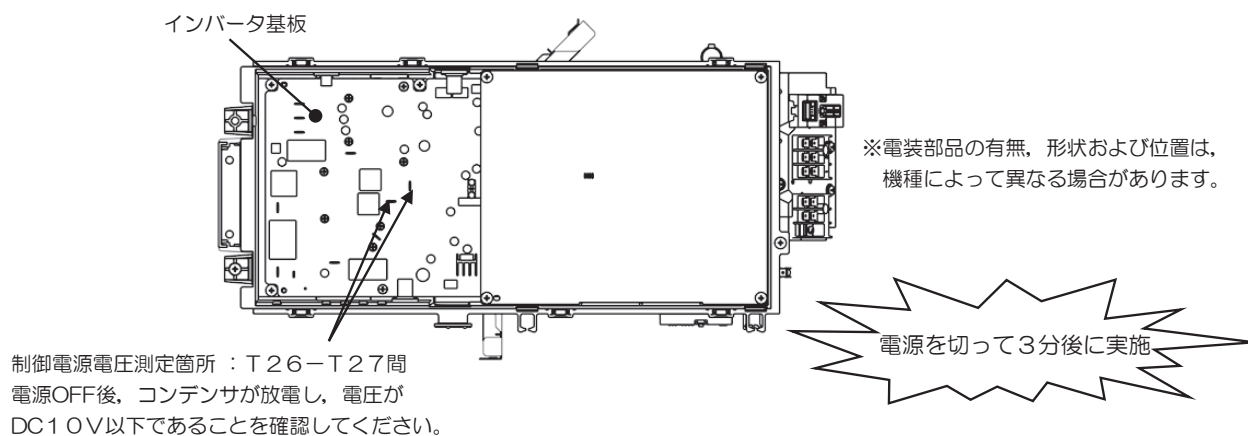


図2. 電圧測定箇所

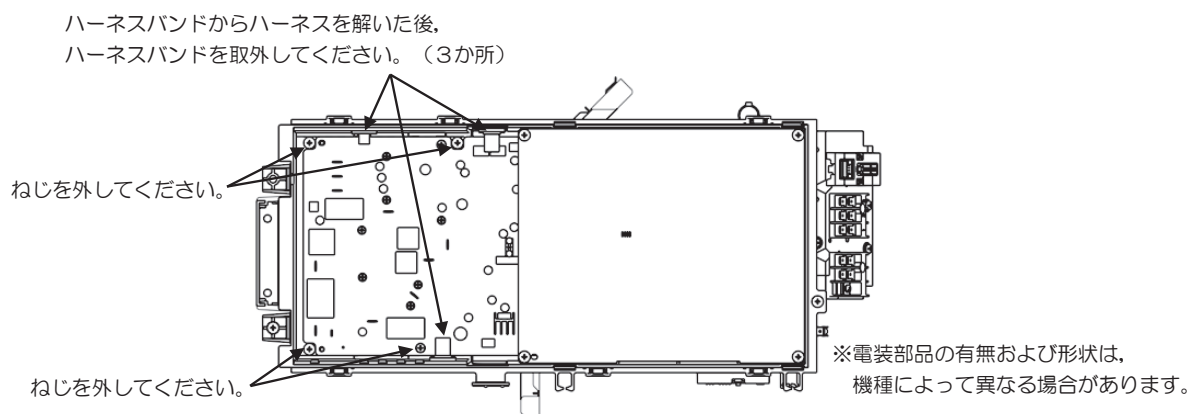


図3. 取外し箇所

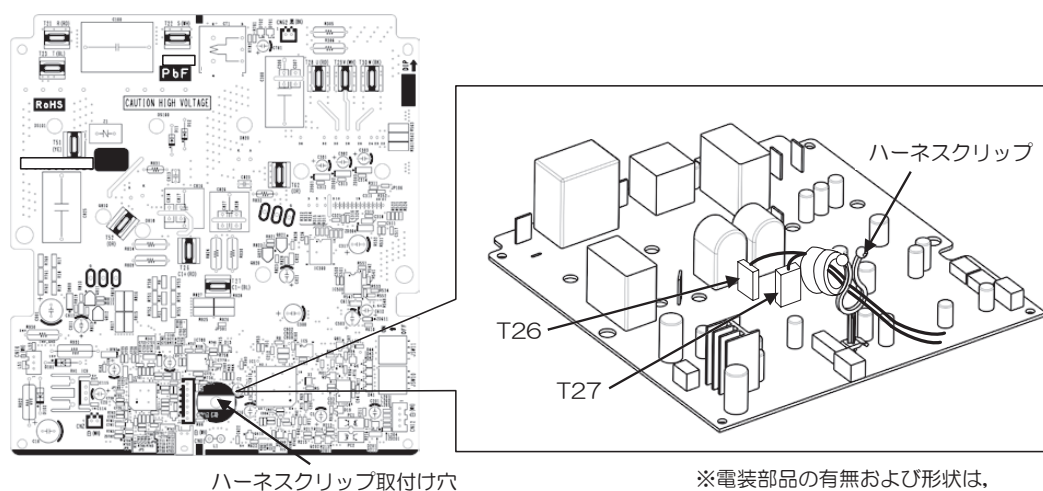


図4. ハーネス固定図

PCA012D067B

(c) リアクタ基板 (FDCVP804HKAG/A 形のみ)

下記の要領でリアクタ (図1) の交換を行ってください。

(i) 交換作業は、電源を切って3分後に実施してください。

(電源オフ直後はコンデンサが放電されておらず、高電圧状態で危険なため、コントローラに触らないでください。また、リアクタが高温になっていますので、この時点ではリアクタに触らないでください。)

ハーネスが接続されている状態で、図2に示すインバータ基板のT26、T27間のDC電源電圧を測定し、10V以下 (コンデンサ放電後の電圧) であることを確認してください。

(ii) サービスパネルを開けてリアクタの位置を確認し (図3参照)、図1で示すリアクタ上のコネクタ (CN1) を外してください。

(iii) リアクタの固定ねじ4か所を外してください。 (図4参照)

(iv) リアクタを取外し、新しいリアクタと交換してください。

(v) リアクタ交換後、コネクタを元通り接続してください。 (コネクタ接続後に半挿しが無い様確認してください。)

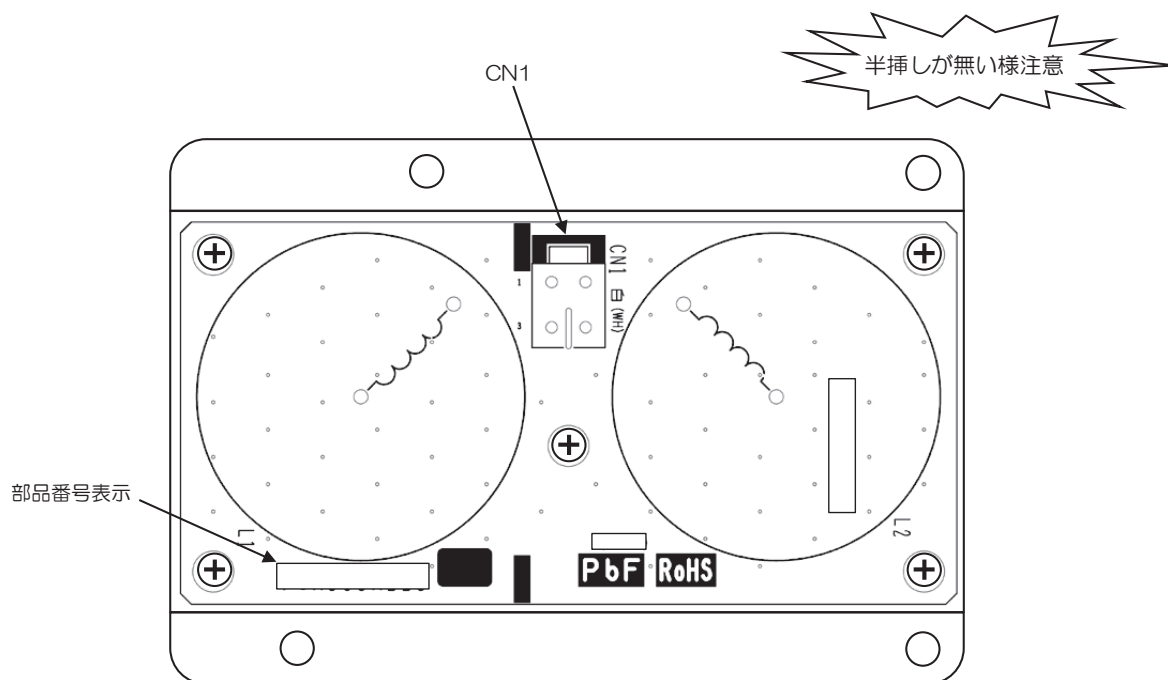


図1. 部品配置図

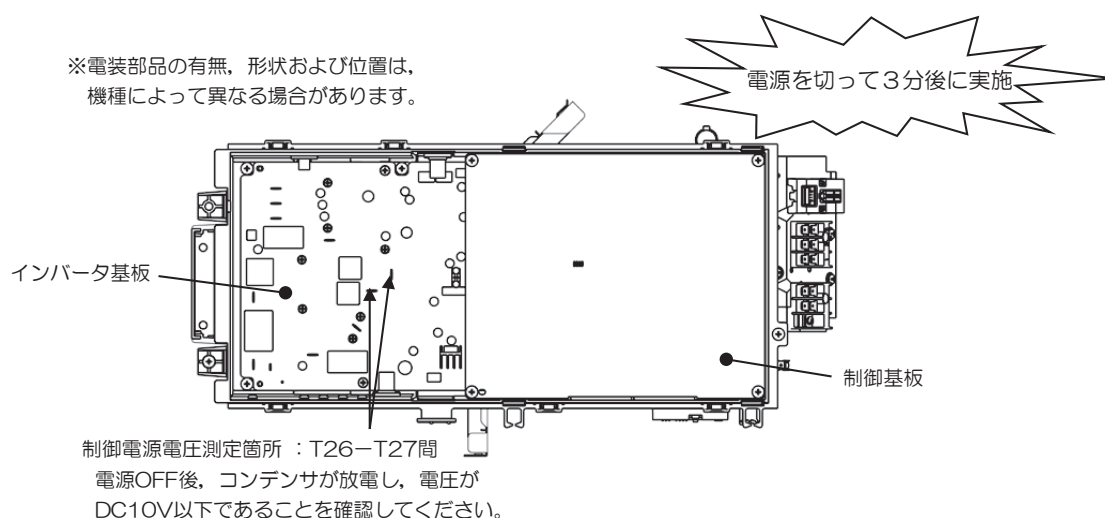
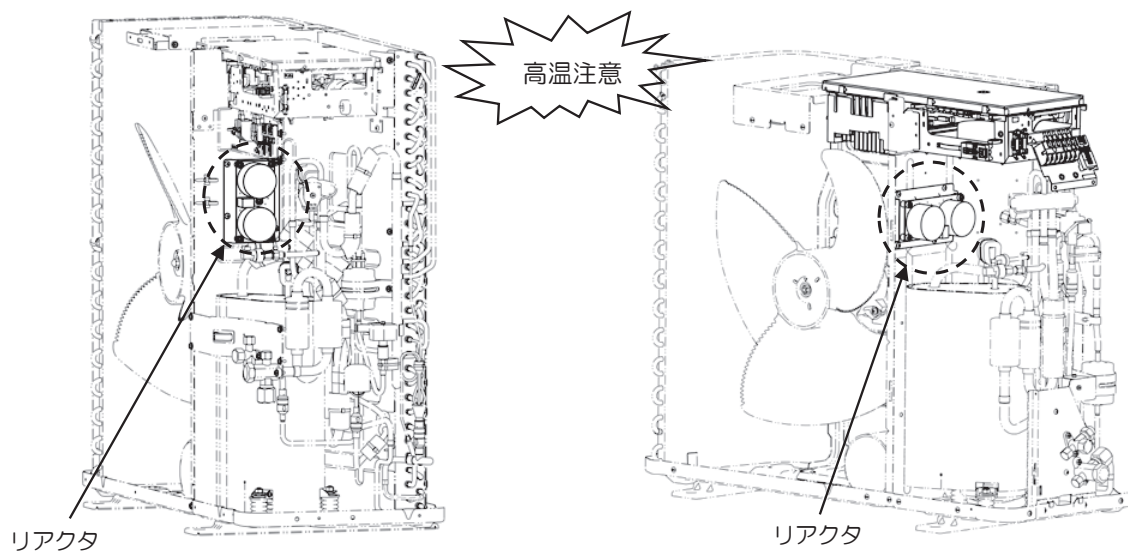


図2. 電圧測定箇所



※機種によって取付け方向が異なります。

図3. リアクタ設置箇所

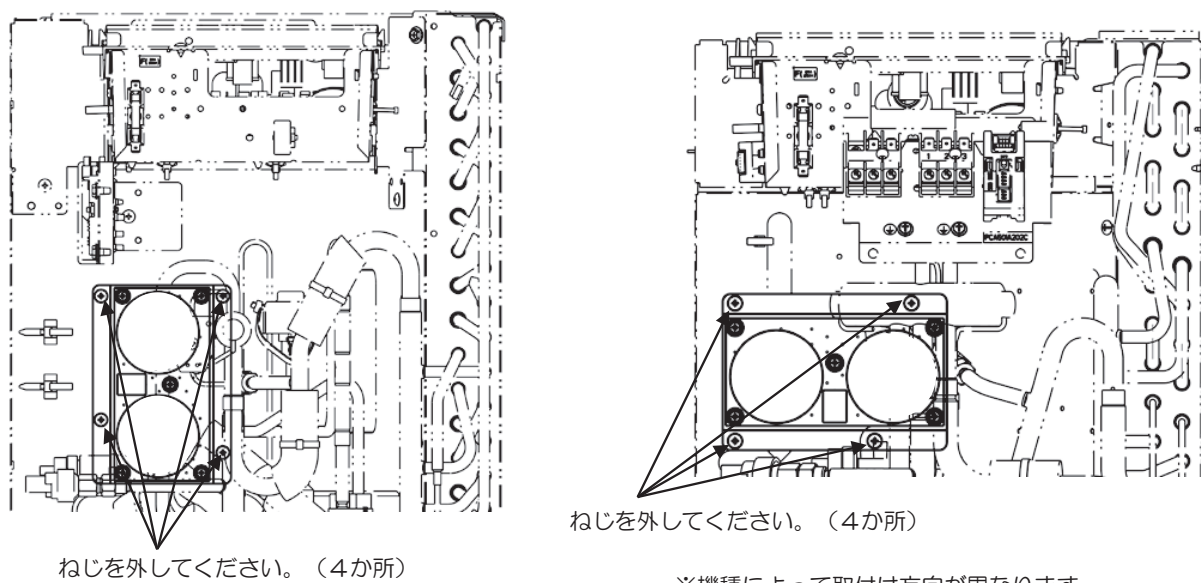


図4. 取外し箇所

PCA012D071

●ディップスイッチ設定表

(1) 制御基板

スイッチ	項目	出荷時	内容				
SW3-1	デフロスト設定切換	通常/寒冷地	OFF	OFF	通常	ON	寒冷地
SW3-2	防雪ファン制御	無/有	OFF	OFF	無	ON	有
SW3-3	機種切換	ヒーポン/冷専	OFF	OFF	ヒーポン	ON	冷専
SW3-4	デフロスト禁止時間切換	ON:37分/OFF:45分	ON	OFF	45分	ON	37分
SW4-1	機種切換	国内/輸出	表1参照	OFF	国内	ON	輸出
SW4-2	機種切換	三相/単相		OFF	三相	ON	単相
SW4-3	—		OFF				
SW4-4	—		OFF				
SW5-1	機種切換		表1参照	OFF	80	ON	—
SW5-2	機種切換	セゾン/ハイパー		OFF	セゾン	ON	ハイパー
SW5-3	試運転	通常/試運転	OFF	OFF	通常	ON	試運転
SW5-4	冷房/暖房試運転切換	冷房/暖房	OFF	OFF	冷房	ON	暖房
SW7-1	既設配管流用	通常/既設配管	OFF	OFF	通常	ON	既設配管
SW7-2	アンチフロスト制御	有効/無効	OFF	OFF	有効	ON	無効
SW7-3	—		OFF				
SW8-1	既設配管洗浄運転	通常/洗浄運転	OFF	OFF	通常	ON	洗浄運転
SW8-2	—		OFF				
SW8-3	—		OFF				
SW9	ポンプダウン制御	通常/ポンプダウン	OFF	OFF	通常	ON	ポンプダウン

表1：室外ユニット機種切換（SW3-3, SW4-1, SW4-2, SW5-1, SW5-2）

スイッチ	P804H	P804HK
SW3-3	OFF	OFF
SW4-1	OFF	OFF
SW4-2	OFF	ON
SW5-1	OFF	OFF
SW5-2	ON	ON

(2) インバータ基板

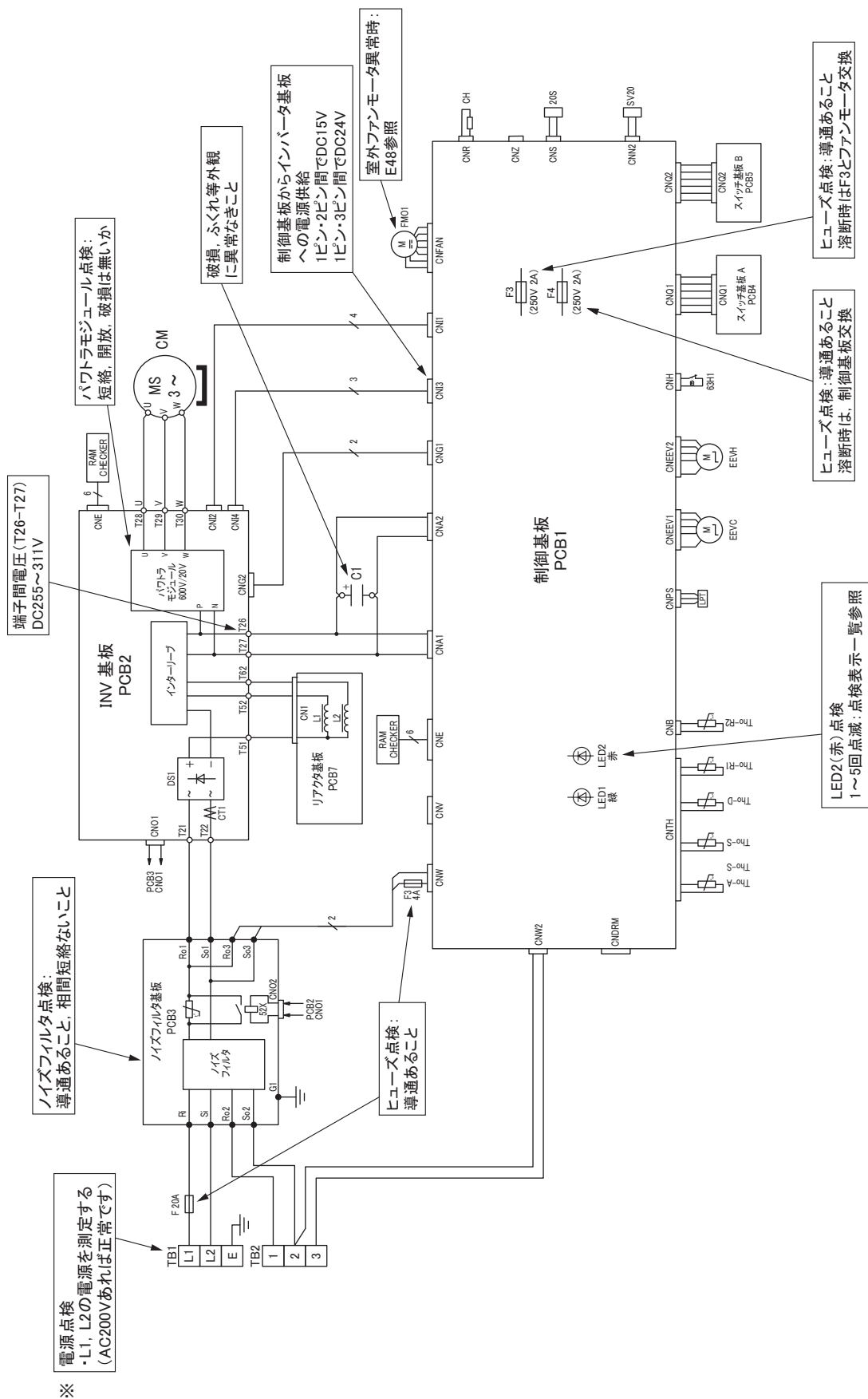
スイッチ	P804H	P804HK
JSW10-1	OFF	OFF
JSW10-2	ON	ON
JSW10-3	OFF	OFF
JSW10-4	OFF	OFF
JSW11-1	OFF	ON
JSW11-2	ON	ON
JSW11-3	OFF	OFF
JSW11-4	OFF	OFF

13.2 室外コントローラ故障診断回路図

◆FDCVP804HKAG/A

★室外ユニット点検ポイント

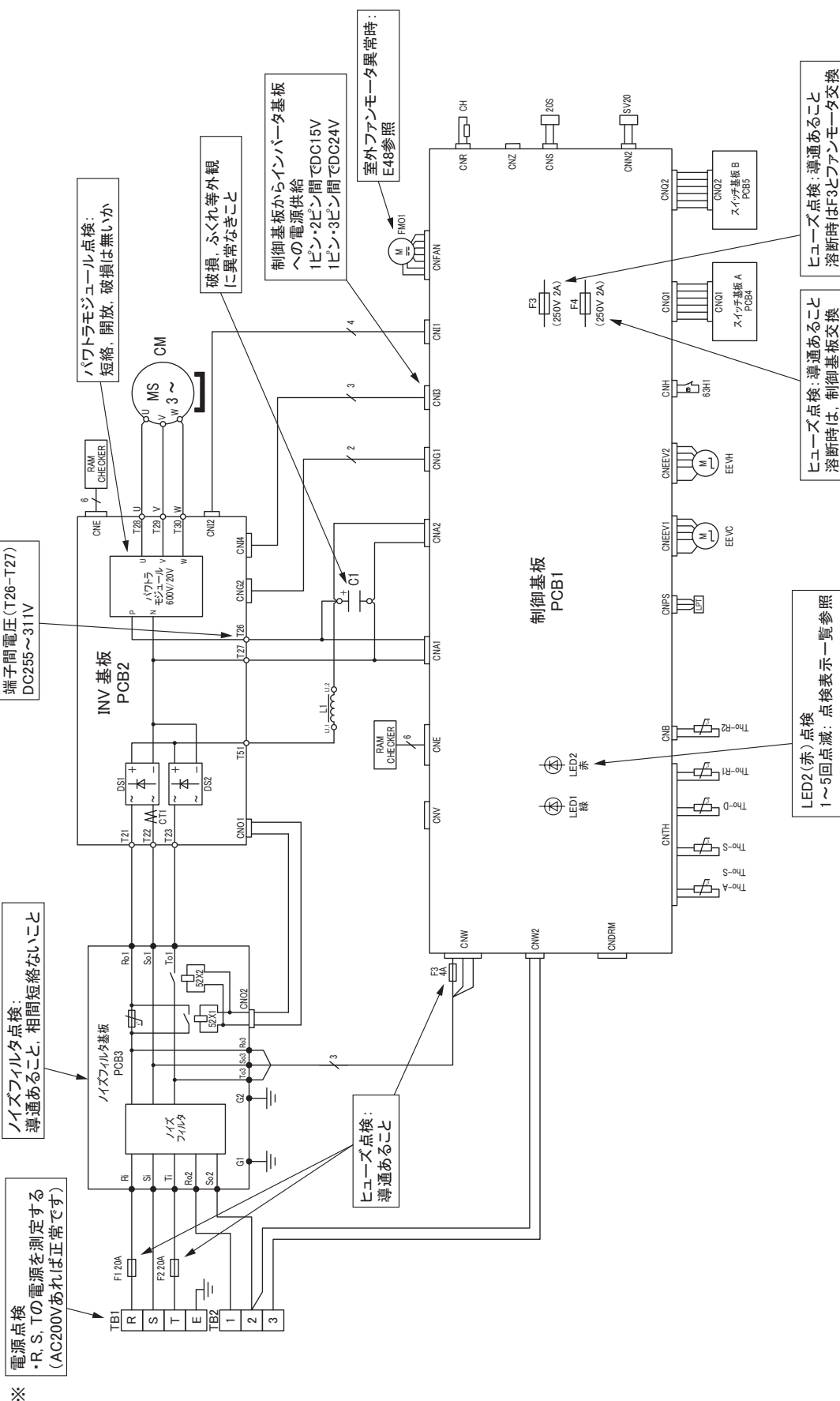
▷※印は電源ONにてチェックしてください。



◆FDCVP804HAG/A

★室外ユニット点検ポイント

▷ ※印は電源ONIにてチェックしてください。



13.3 故障診断フロー

下記に示す以外は、2014年 冷熱ハンドブック サービス編をご覧ください。

(1) 故障内容一覧

リモコン表示	故障内容	記載ページ
E47	AF異常 (FDCVP804HKAG/A形)	下記参照
E47	AF異常 (FDCVP804HAG/A形)	次ページ

(2) 故障診断

表示 リモコン: E47	LED	緑	赤	内容 AF異常 (FDCVP804HKAG/A形のみ)
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	1回点滅	

1. 対象機種	5. 故障診断と処置				
FDCVP804HKAG/A形のみ	<table> <tr> <th>診 断</th><th>処 置</th></tr> <tr> <td> 電源電圧は指定範囲内か？ (AC200±10%) YES インバータ基板とリアクタ基板間の配線接続はOKか？ YES (1) リアクタ基板は正常か？ YES インバータ基板の半田面に塵埃・汚れ等の異物はないか？ </td><td> 電源を点検してください。 配線の接続を確認する。 リアクタ基板不良→交換 異物を取り除く インバータ基板不良→交換 </td></tr> </table> 注(1) リアクタ基板確認方法 T51-T62間およびT51-T52間の抵抗が100mΩ以下であれば正常です。	診 断	処 置	電源電圧は指定範囲内か？ (AC200±10%) YES インバータ基板とリアクタ基板間の配線接続はOKか？ YES (1) リアクタ基板は正常か？ YES インバータ基板の半田面に塵埃・汚れ等の異物はないか？	電源を点検してください。 配線の接続を確認する。 リアクタ基板不良→交換 異物を取り除く インバータ基板不良→交換
診 断	処 置				
電源電圧は指定範囲内か？ (AC200±10%) YES インバータ基板とリアクタ基板間の配線接続はOKか？ YES (1) リアクタ基板は正常か？ YES インバータ基板の半田面に塵埃・汚れ等の異物はないか？	電源を点検してください。 配線の接続を確認する。 リアクタ基板不良→交換 異物を取り除く インバータ基板不良→交換				
2. 異常検出方法					
インバータ基板よりAF異常を30分間に4回検知した場合					
3. 異常発生条件					
同上。					
4. 予想原因					
・インバータ基板不良 ・リアクタ基板不良 ・接続配線不良					

注記:

表示 リモコン：E47	LED	緑	赤	内容 AF異常 (FDCVP804HAG/A形のみ)
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	1回点滅	

1. 対象機種	5. 故障診断と処置	
FDCVP804HAG/A形のみ	診 断	処 置
2. 異常検出方法	電源電圧は指定範囲以内か？ (AC200V±10%) NO 電圧を点検してください。 YES インバータ基板の 半田面に塵埃・汚れ等の 異物はないか？ YES 異物を取り除く。 NO インバータ基板不良 →交換	
3. 異常発生条件		
同上。		
4. 予想原因		
・インバータ基板不良 ・インバータ基板の塵埃 ・電源電圧異常		

注記：

14. 耐重塩害仕様室外ユニット

耐重塩害仕様室外ユニットを受注生産品としてシリーズ化しています。商品ご注文時、耐重塩害仕様室外ユニットとしてご注文してください。

●形式記号 (例) FDCV**S**P804HAG/A
└── 耐重塩害仕様

(1) 形 式

FDCVSP804HAG/A, 804HKAG/A

(2) 仕 様

耐重塩害仕様室外ユニットは離島・沖縄地区等の海岸線に近く直接潮風の当たらない場所に設置できる仕様ですが、設置に当っては下記の事項に留意してください。

(3) 据付時のご注意

- (a) 建物の風下や軒下等に設置してください。
- (b) 海岸線に設置する場合は、直接潮風が当たらないように防風板等を設けてください。
- (c) 水はけのよい場所に設置してください。
- (d) 据付時についた傷は補修してください。
- (e) 取外したサービスパネルの取付ねじは、作業終了後に確実に締付けられていることを確認してください。

(4) メンテナンス時のご注意

シーズンオフなどで長期間ユニットを停止する場合は、ユニットにカバーを掛ける等の処置をしてください。

部 品 名		仕 様
外 板		塗装用亜鉛メッキ鋼板＋塗装（総合塗膜厚さ70μ以上） 下塗：カチオン電着塗装 上塗：ポリエステル系塗料粉体塗装 ※塗装色 スタッコホワイト（マンセル4.2Y7.5/1.1近似）
		Zn-Al-Mg合金メッキ銅板＋塗装（総合塗膜厚さ70μ以上） 下塗：カチオン電着塗装 上塗：ポリエステル系塗料粉体塗装 ※塗装色 スタッコホワイト（マンセル4.2Y7.5/1.1近似）
フィンガード, ファンガード		鉄線＋樹脂コーティング
フ ァ ン		プラスチック
フ ァ ン モ ー タ		亜鉛メッキ銅板＋プラスチック＋防錆剤塗布
モ ー タ ー		外板と同じ
熱 交 換 器	フ ィ ン	高耐食仕様ブレコートアルミ（青色）
	配 管	銅管＋防錆剤塗布
	側 板	亜鉛メッキ銅板＋防錆剤塗布
圧 縮 機		銅管・銅管＋焼付塗装＋防錆剤塗布
ア キ ュ ム レ ー タ, レ シ ー バ		銅管・銅管＋焼付塗装＋防錆剤塗布
基 板		制御、ノイズフィルタ基板 紙フェノール銅張積層板＋防湿材塗布 インバータ基板 CEM3銅張積層板＋防湿材塗布
電 装 品		箱 外板と同じ
仕 切		板 外板と同じ
操 作 弁 フ ラ ケ ッ ト		外板と同じ
ね じ	外 側	ステンレス＋亜鉛コーティング＋クロメート処理＋フッ素コーティング
	内 側	ステンレス＋亜鉛コーティング＋クロメート処理＋フッ素コーティング
		鉄鋼＋亜鉛コーティング＋クロメート処理 ステンレス＋ニッケルメッキ＋三価クロムメッキ
他（機能品、銘板など）		標準機と同じ

注(1)「耐重塩害仕様」は、日本冷凍空調工業会標準規格 JRA9002 に基づいています。

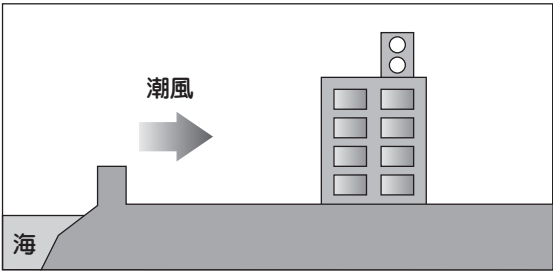
(2) 上表にて____下線は、標準機仕様と異なる点を示します。

PCA001Z746

(5) 据付上の注意(維持管理)

- (a) 海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。また、波しぶき等が直接かかる場所への設置は避けてください。
- (b) 外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるようにしてください。室外ユニットには日除け等を取付けないなど配慮してください。
- (c) 室外ユニット底板内への水の滞留は、著しく腐食状態を促進するため、底板内の水抜け性を損なわないように、傾き等に注意してください。
- (d) 海岸地帯への据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
- (e) 据付、メンテナンス等付いた傷は、補修してください。
- (f) 機器の状態を定期的に点検してください。必要に応じて再防錆処理や部品交換等を実施してください。
- (g) 基礎部分の排水性を確保してください。

(6) 据付場所について

	耐重塩害仕様
据付場所	潮風の影響を受ける場所 ただし、塩分を含んだ水が直接室外ユニットにかからない場所 
設置場所条件	・室外ユニットに雨があまりかからない場所 ・潮風が直接当たる場所 ・室外ユニットの設置場所から海までの距離が約300m以内にある場所 ・室外ユニットが建物の表（海岸面）になる場所 ・室外ユニット設置場所付近のトタン屋根、ベランダの鉄製部の塗り替え等が多い場所

(7) 設置距離目安

直接風が当たるところ(設置環境により条件が変わります)

設置する地域	設置距離目安		
	300m	500m	1km
内海に面する地域 ※1	H	L	—
外洋に面する地域	H	L	L
沖縄・離島	H	H	L

H:耐重塩害仕様 L:耐塩害仕様 ※1 瀬戸内海等

直接風が当たらないところ(設置環境により条件が変わります)

設置する地域	設置距離目安		
	300m	500m	1km
内海に面する地域 ※1	L	—	—
外洋に面する地域	H	L	L
沖縄・離島	H	H	L

H:耐重塩害仕様 L:耐塩害仕様 ※1 瀬戸内海等

15. 旧室外ユニット基板交換要領

※インバータ基板の生産中止にともない、新インバータ基板（補用品）の交換手順を記載します。単相機で新インバータ基板に交換する場合は、以下のとおり交換手順が変更になっていますのでご注意ください。

(1) 該当室外ユニット形式

■セゾンインバータシリーズ

FDCX (S) P803HD, 803HG, 803HKD, 803HKG

■ハイパーインバータシリーズ

- FDCV (S) P633HD, 633HG, 633HKD, 633HKG
P803HD, 803HG, 803HKD, 803HKG
- FDCV (S) P804H, 804HK

(2) インバータ基板交換要領

PCA012D067

安全上のご注意	
・ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。	
 警告	誤った作業を行った時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
 注意	誤った作業を行った時に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
⚠ 警告	
・基板交換はこの交換要領書に従って確実に行ってください。 交換作業に不備があると、感電や火災の原因になります。 ・基板交換時は、必ず室外ユニットの電源が切れている事を確認してから行ってください。 通電状態での基板交換は、感電や火災の原因になります。 ・基板交換の作業終了後、電源投入前に基板と配線が正しく接続されていることを確認してください。 交換作業に不備があると、感電や火災の原因になります。	
⚠ 注意	
・配線はつっぱらないように結束してください。感電の原因になることがあります。	

下記の要領でインバータ基板（図1）の交換を行ってください。

- 交換作業は、**電源を切って3分後**に実施してください。
（電源オフ直後はコンデンサが放電されておらず、高電圧状態で危険な為、コントローラに触らないでください。また、リアクタが高温になっています。この時点でリアクタに触らないでください。（図3参照））
ハーネスが接続されている状態で、図2に示すT26, T27間のDC電源電圧を測定し、10V以下（コンデンサ放電後の電圧）であることを確認してください。
- 図1で示すインバータ基板上のコネクタおよびファストン端子を外してください。また、図2で示す制御基板のコネクタ1か所（CNIP）を取外してください。
- サービスパネルを開けて、図3で示すリアクタを確認してください。
図3で示すリアクタが（A）の場合は、(d)項へ進んでください。
図3で示すリアクタが（B）の場合は、リアクタの交換は行わず (f)項へ進んでください。
- リアクタへ接続されているハーネスおよび取付けねじ（3か所）を外し、リアクタをユニットから取外してください。そして付属のブラケットを、リアクタを固定していたねじで取付けてください。
取り付けたブラケットに新しいリアクタを差し込み、付属のねじで2か所を固定してください。
（図4参照）
- 付属のリアクタ接続用ハーネスを新しいリアクタのCN1に接続してください。
（コネクタ接続後に**半挿しが無い様**確認してください。）
リアクタ接続用ハーネスは、元のリアクタの配線と同じ経路で配線してください。
- 新しいインバータ基板のJSW10, 11のON/OFF設定を交換前の状態に設定してください。
- コントローラのハーネスバンド3か所を取外し、放熱フィンの固定ねじ4か所を外してください。
（図5参照）
- インバータ基板を放熱フィンごとコントローラから取外し、新しいインバータ基板と交換してください。
交換の際に、ハーネスが放熱フィンなどに噛み込まない様注意してください。

- (i) 放熱フィンをねじで締めてコントローラと固定してください。その後、コネクタおよびファストン端子を元通り接続してください。
- ※接続先の位置が交換前と変わっているものがあります。図1を参照して同じ記号の箇所へ接続してください。
- ※リアクタの交換作業を行った場合は、付属のリアクタ接続用ハーネスのファストン端子を交換後のインバータ基板のT51（黄），T52（橙），T62（橙）へ接続してください。
- 尚、交換後のインバータ基板には、T24およびT25の接続はありません。
- （コネクタ接続後に半挿しが無い様確認してください。）
- （注）交換後のインバータ基板には、パワートランジスタ温度センサがありません。制御基板のCNIPコネクタの接続は必要ありません。
- (j) 付属のハーネスバンドを元の位置に取付け（3か所），ハーネスをバンドで元通り固定してください。
- (k) 付属のハーネスクリップを図6に従ってインバータ基板に取付け、ハーネスを固定してください。

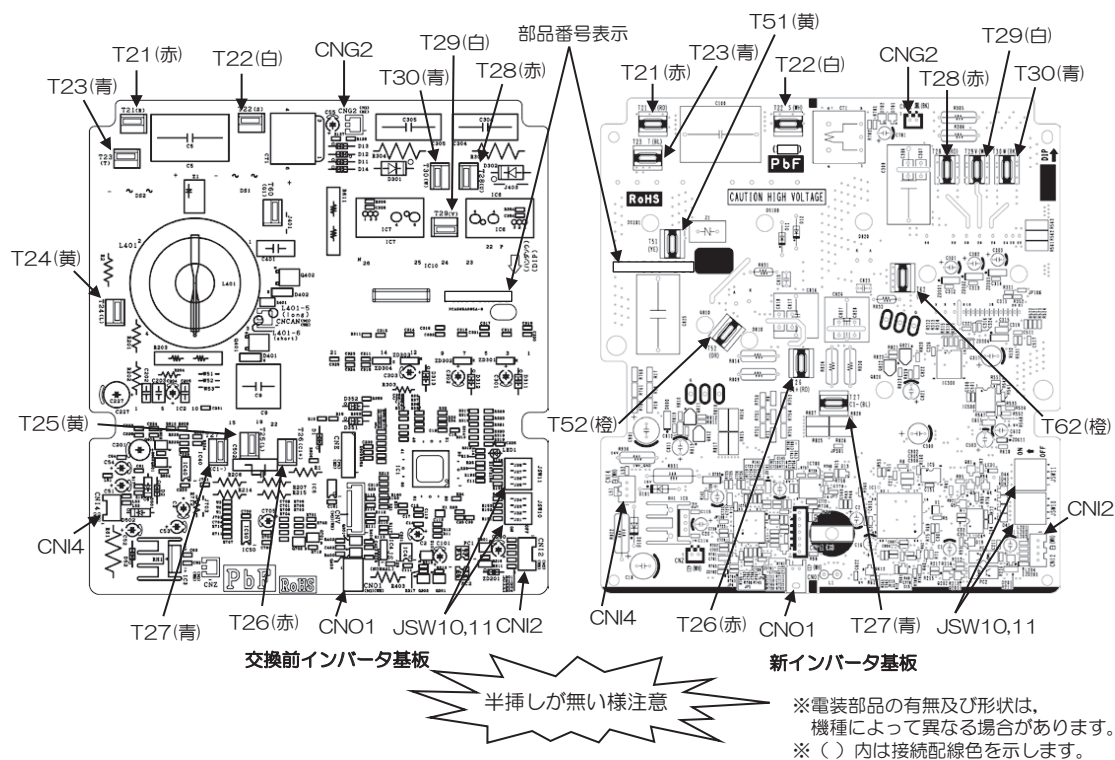


図1. 部品配置図

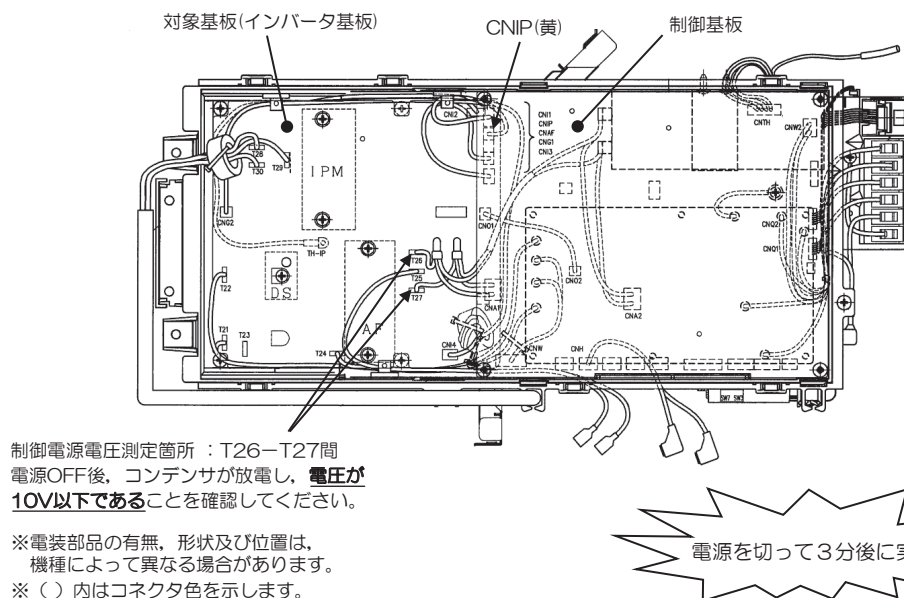


図2. 電圧測定箇所及び制御基板CNIPコネクタ位置

※電装部品の有無及び形状は、機種によって異なる場合があります。

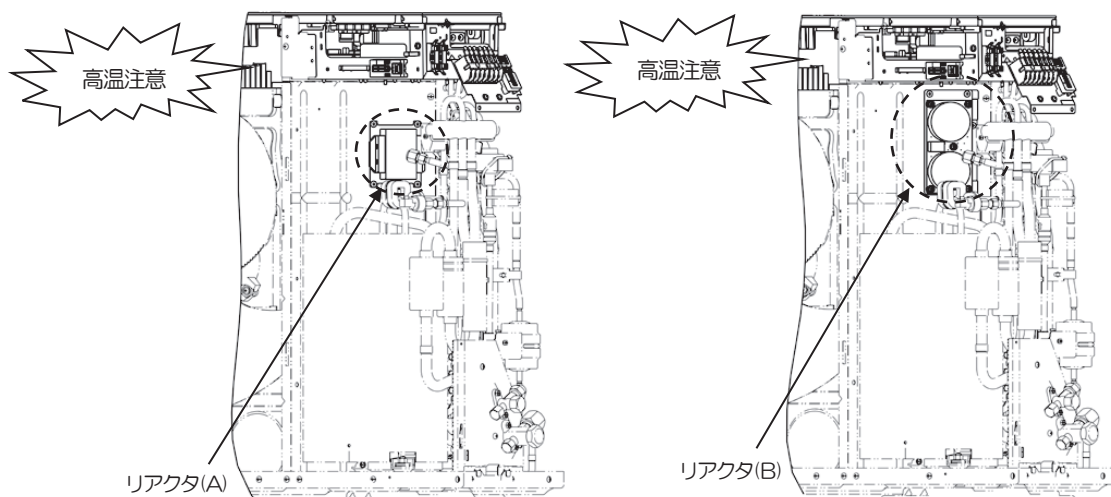


図3. リアクタ位置およびリアクタ形状

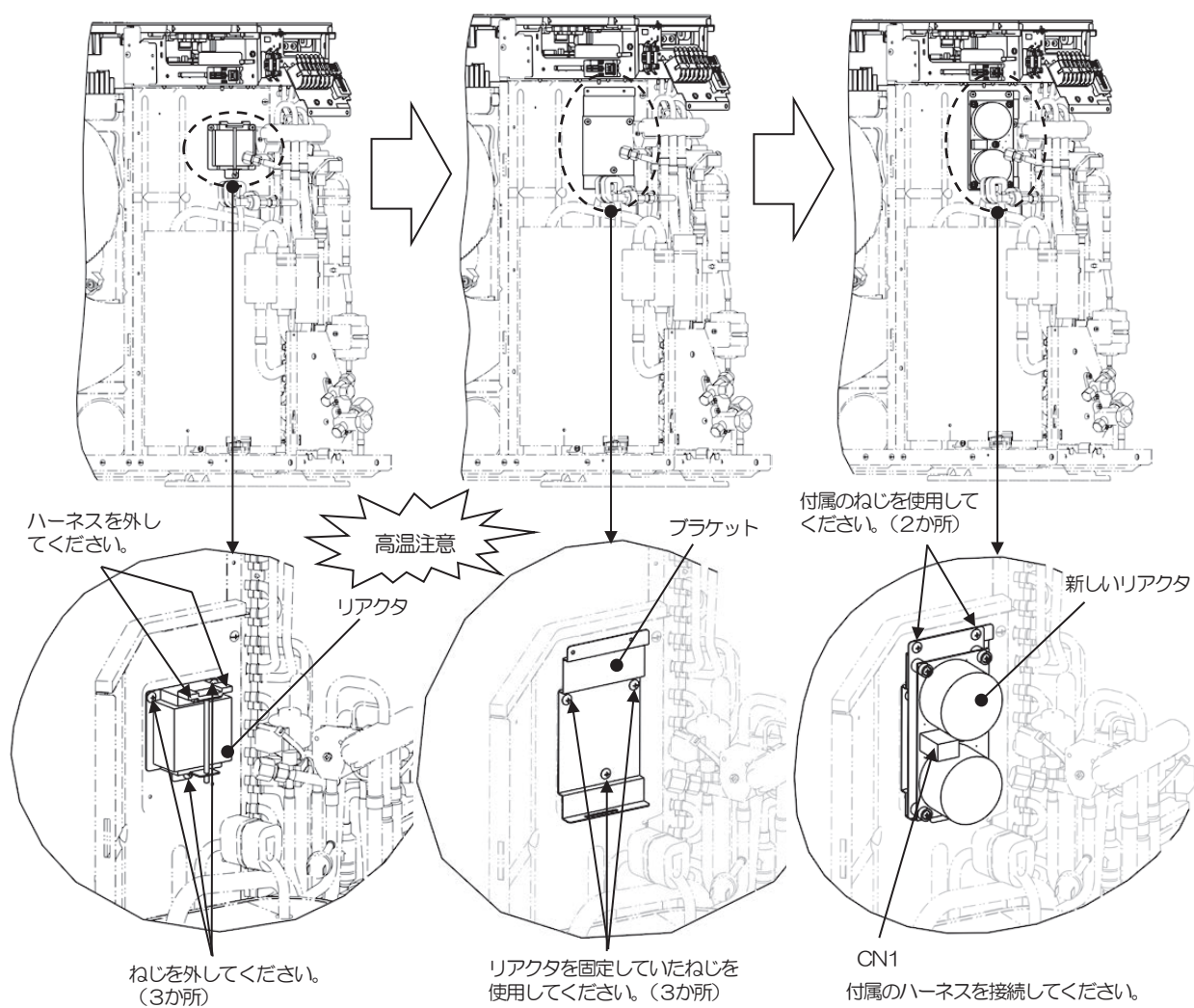


図4. リアクタの交換

ハーネスバンドからハーネスを解いた後、
ハーネスバンドを取外してください。（3か所）

※電装部品の有無及び形状は、
機種によって異なる場合があります。

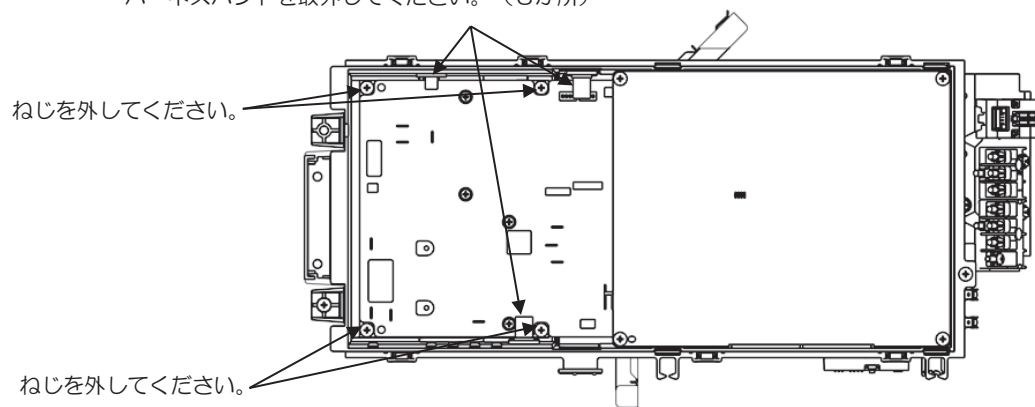
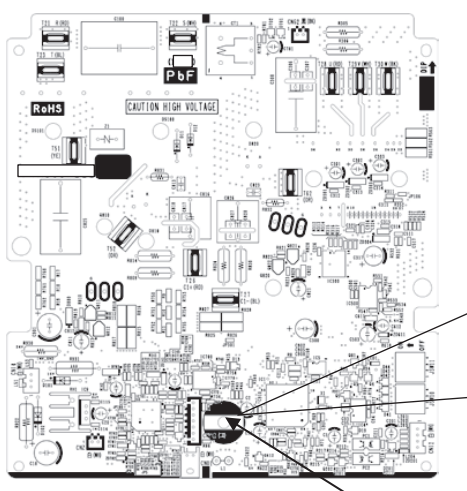
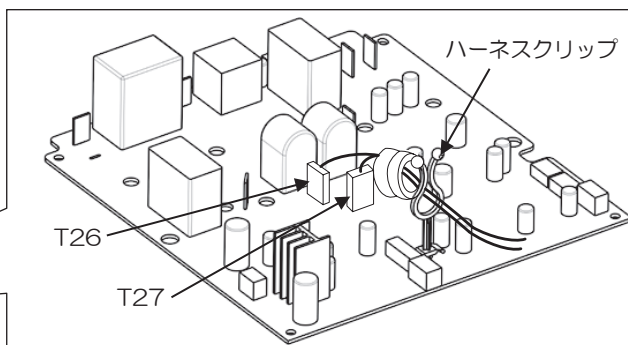


図5. 取外し箇所



ハーネスクリップ取付け穴



※電装部品の有無及び形状は、
機種によって異なる場合があります。

図6. ハーネス固定図

三菱重工業株式会社 冷熱事業部 〒452-8561 愛知県清須市西枇杷島町旭三丁目1番地
三菱重工冷熱株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦2-11-5

●製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。